

大多喜町 住民意識調査 結果報告書

令和 7 年 3 月
大多喜町

目 次

第1章 調査及び報告書の概要	1
1. 調査の実施概要	1
2. 報告書の留意点	2
第2章 調査結果	3
1. あなた自身について	3
2. 大多喜町の現状について	9
3. 今後のまちづくりの方向について	30
4. 生活環境整備のあり方について	36
5. 保健・医療・福祉について	40
6. 土地利用について	45
7. 観光振興について	47
8. 定住の促進について	52
9. 行財政改革について	56
10. 地域活動への参加について	63
11. 防災について	69
12. 結婚・出産・子育てについて	74
13. 自由意見	77
第3章 参考資料	87

第1章 調査及び報告書の概要

1. 調査の実施概要

調査の目的

本調査は、「大多喜町第4次総合計画」「大多喜町人口ビジョン・第3期総合戦略」の策定にあたり、まちづくりに対する町民の意見や要望をうかがい、計画策定のための基礎資料を得ることで、今後のまちづくりに役立てることを目的に実施したものです。

実施概要

調査地域： 大多喜町全域

調査対象者： ①一般町民

②中学生・高校生等

住民基本台帳より無作為抽出*

調査期間： 令和6年9月20日～10月9日

調査方法： 郵送配付・郵送回収（専用フォームからの回答も可能）

回収結果

調査種類	配付件数	回収件数	回収率
①	1,800 件	761 件	42.3%
②	437 件	186 件	42.6%
合計	2,237 件	947 件	42.3%

*補足 【①一般町民】抽出の階層について

年代	抽出人数
10・20 歳代	600 人
30 歳代	
40 歳代	
50 歳代	600 人
60 歳代	
70 歳代	600 人
80 歳代	
90 歳代	

2. 報告書の留意点

- ◇「n(number of cases)」は、集計対象者数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数)を表しています。
- ◇回答結果の割合「%」は集計対象者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇集計対象者数(n)が少ない(10件未満)クロス集計については、分析文の記載を省略しています。
- ◇設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇表中において「その他」「不明・無回答」を除き、回答の割合が高いものの第1位に網掛けをしています。

第2章 調査結果

1. あなた自身について

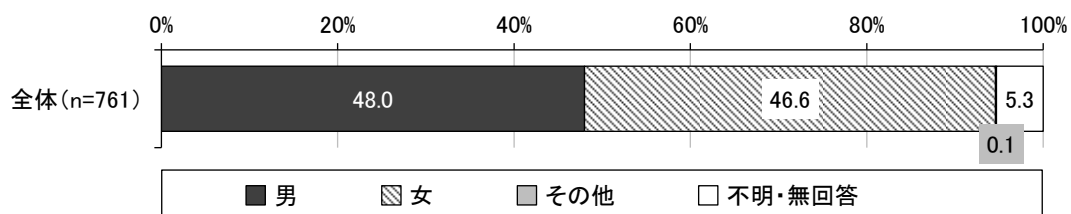
【問 27（一般町民調査）】

あなた自身に関する次の①～⑧についてお答えください。

一般町民調査

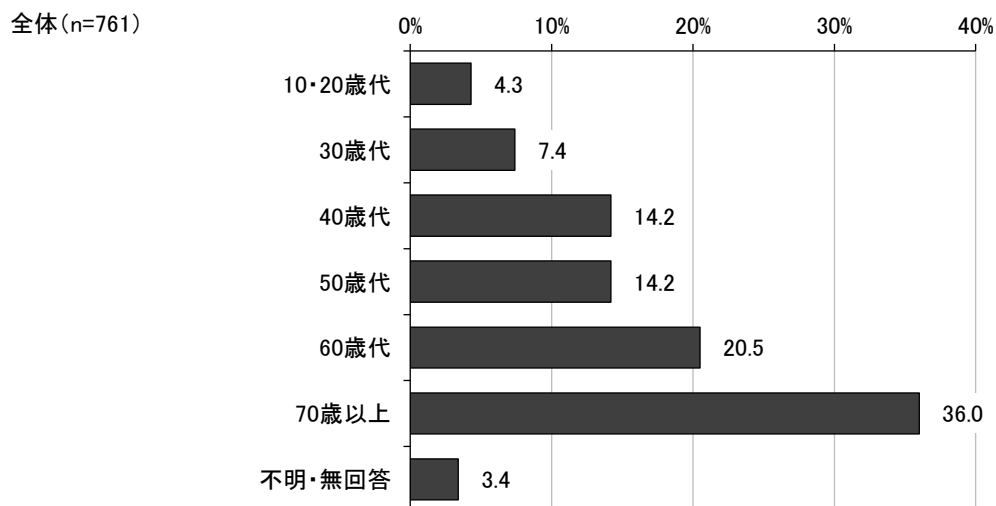
①性別

性別についてみると、「男」が48.0%、「女」が46.6%となっています。



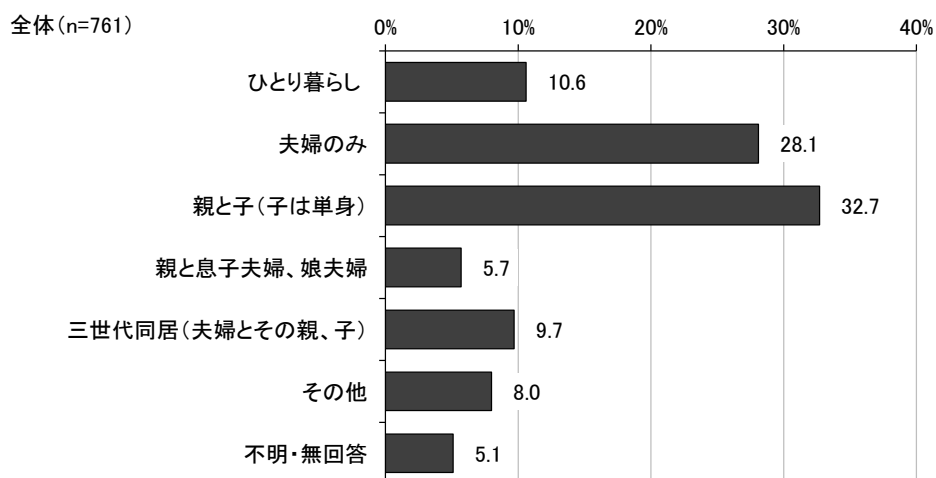
②年齢

年齢についてみると、「70 歳以上」が 36.0%と最も高く、次いで「60 歳代」が 20.5%となっています。



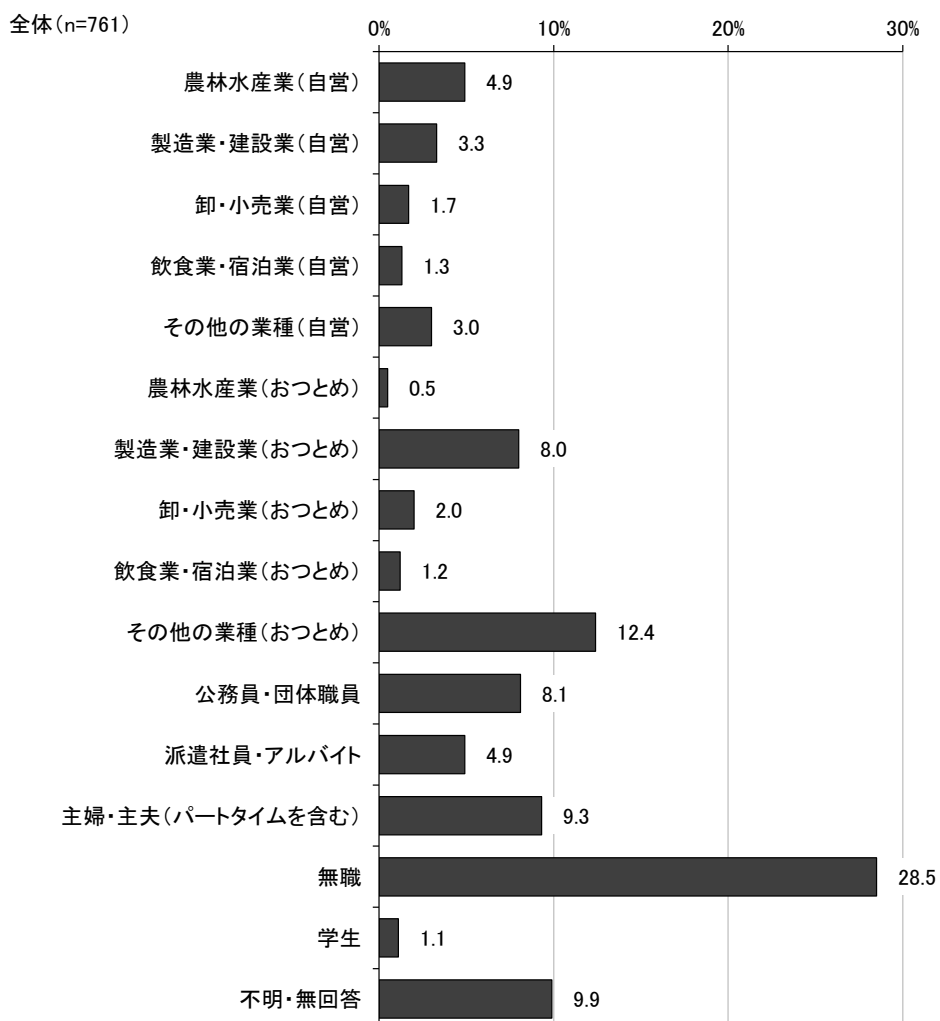
③家族構成

家族構成についてみると、「親と子(子は単身)」が 32.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 28.1%となっています。



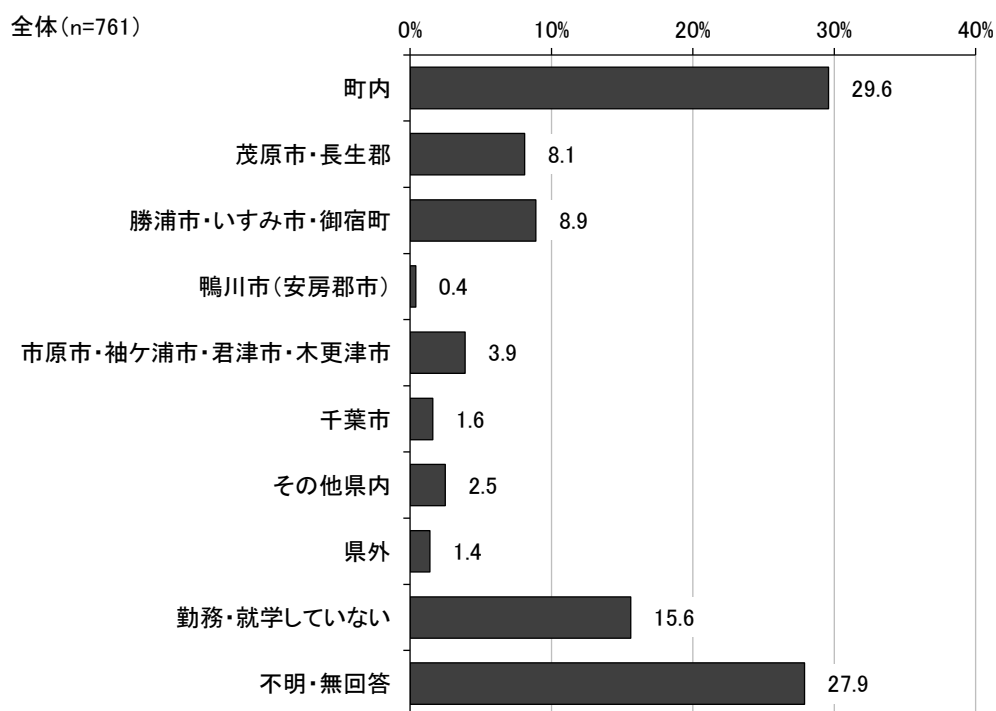
④職業

職業についてみると、「無職」が 28.5%と最も高く、次いで「その他の業種(おつとめ)」が 12.4%となっています。



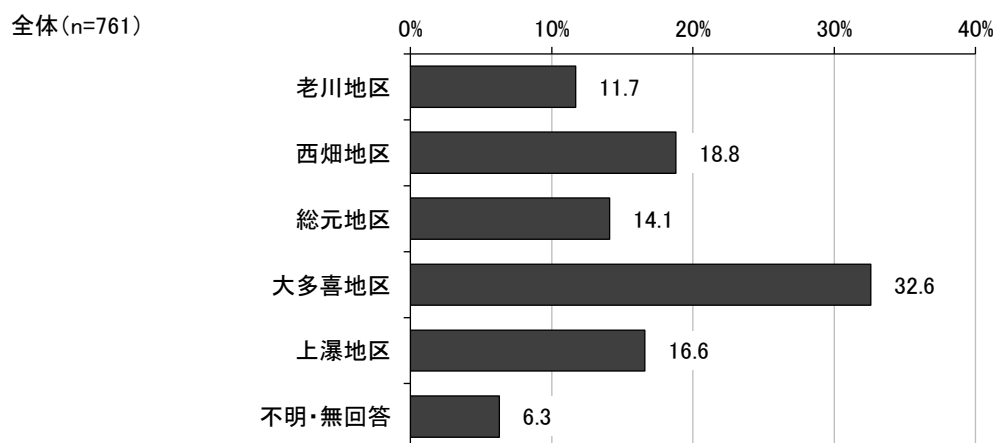
⑤勤務地・就学地

勤務地・就学地についてみると、「町内」が 29.6%と最も高く、次いで「勤務・就学していない」が 15.6%となっています。



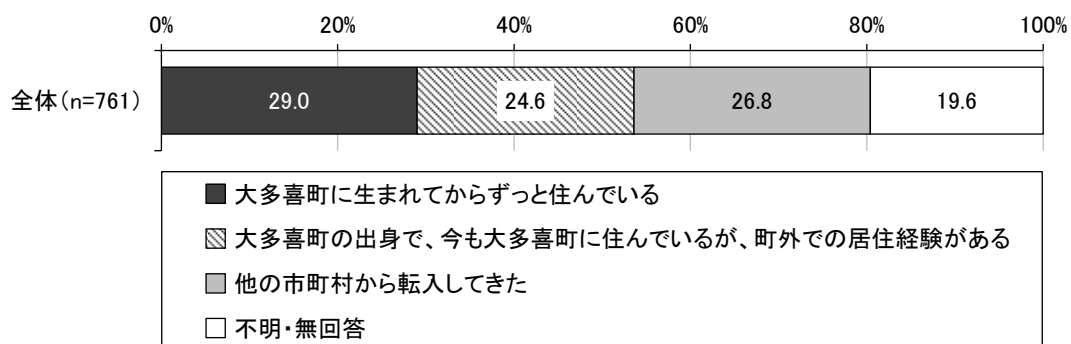
⑥居住地区

居住地区についてみると、「大多喜地区」が 32.6%と最も高く、次いで「西畑地区」が 18.8%となっています。



⑦居住経験

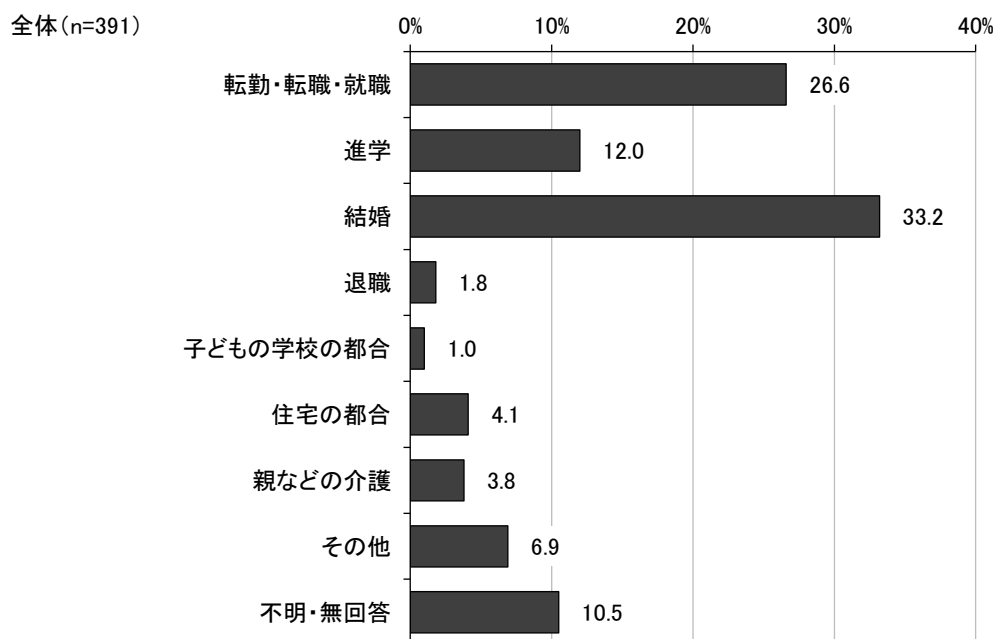
居住経験についてみると、「大多喜町に生まれてからずっと住んでいる」が 29.0%と最も高く、次いで「他の市町村から転入してきた」が 26.8%となっています。



「大多喜町の出身で、今も大多喜町に住んでいるが、町外での居住経験がある」「他の市町村から転入してきた」と答えた方

⑧町外に居住したきっかけ又は転入のきっかけ

町外に居住したきっかけ又は転入のきっかけについてみると、「結婚」が 33.2%と最も高く、次いで「転勤・転職・就職」が 26.6%となっています。



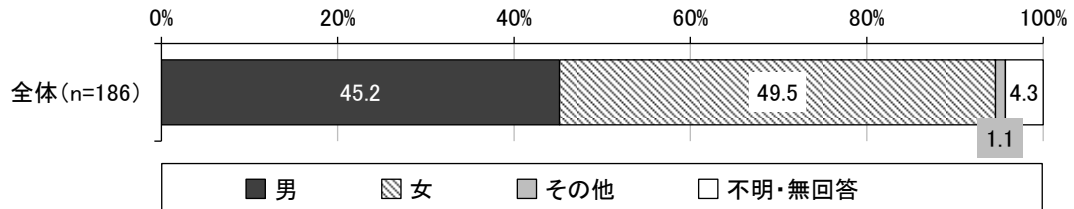
【問 15（中学生・高校生等調査）】

あなた自身に関する次の①～⑤についてお答えください。

中学生・高校生等調査

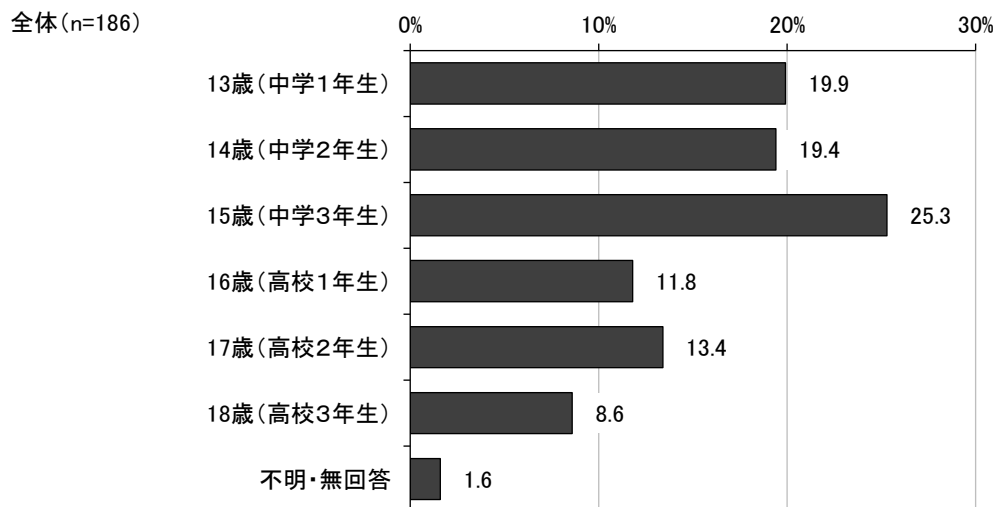
①性別

性別についてみると、「男」が 45.2%、「女」が 49.5%となっています。



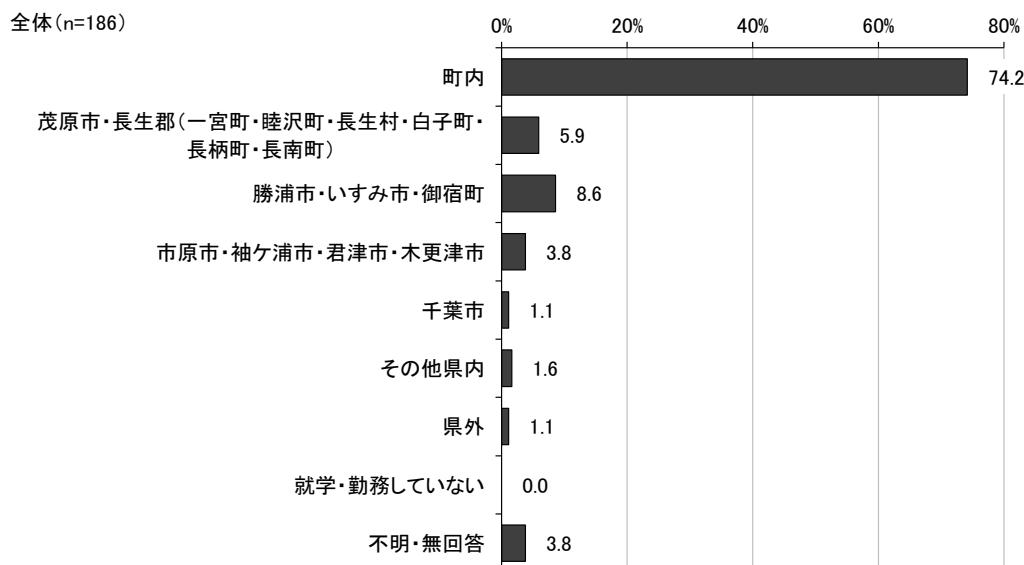
②年齢（学年）

年齢(学年)についてみると、「15 歳(中学 3 年生)」が 25.3%と最も高く、次いで「13 歳(中学 1 年生)」が 19.9%となっています。



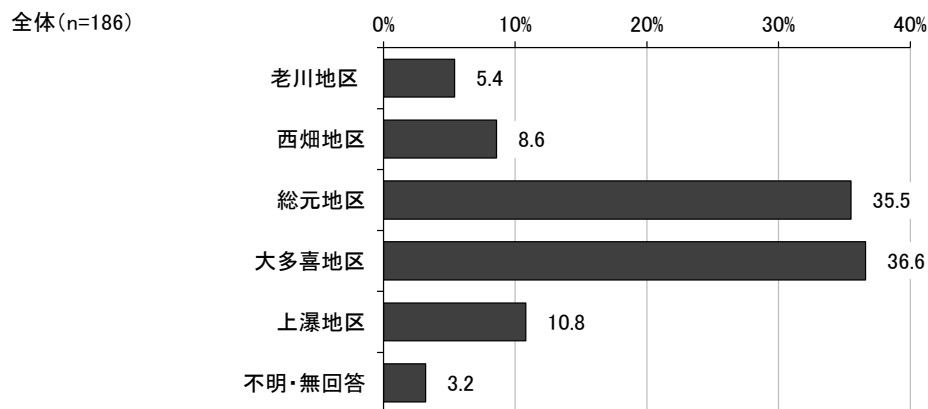
③通学先・勤務地

通学先・勤務地についてみると、「町内」が74.2%と最も高く、次いで「勝浦市・いすみ市・御宿町」が8.6%となっています。



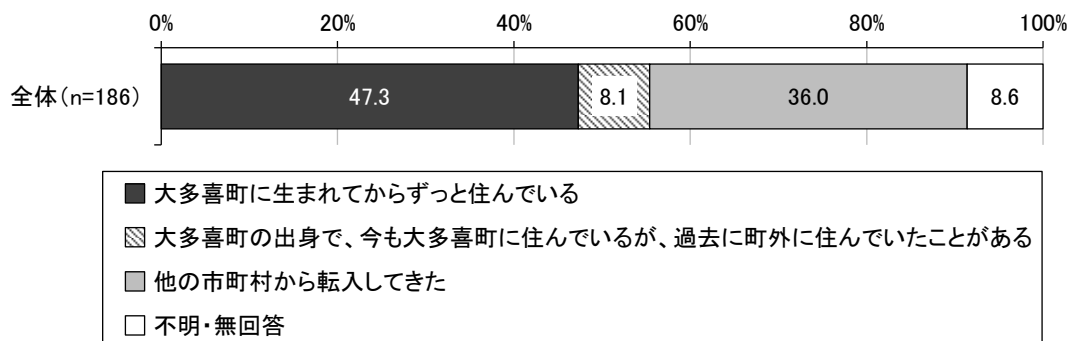
④居住地区

居住地区についてみると、「大多喜地区」が36.6%と最も高く、次いで「総元地区」が35.5%となっています。



⑤居住経験

居住経験についてみると、「大多喜町に生まれてからずっと住んでいる」が47.3%と最も高く、次いで「他の市町村から転入してきた」が36.0%となっています。



2. 大多喜町の現状について

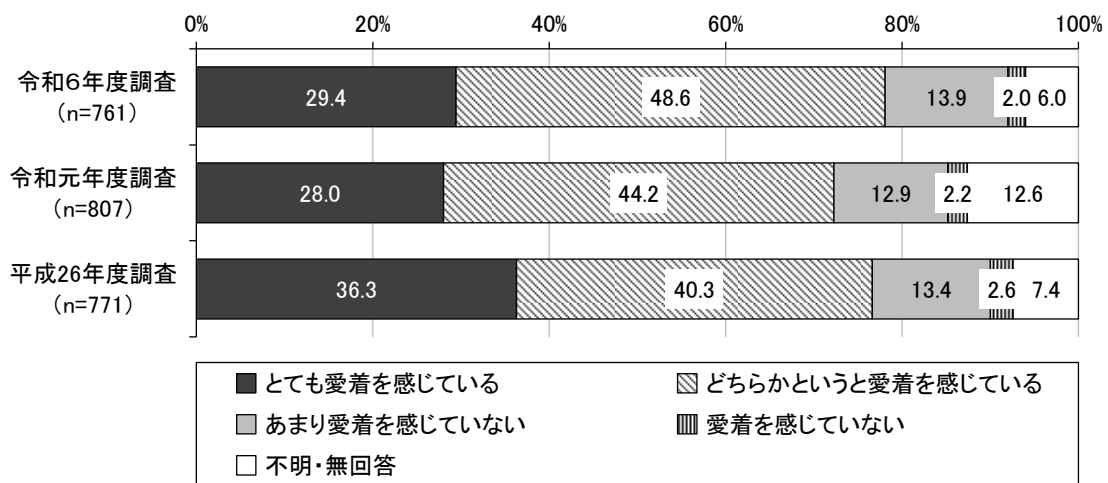
【問 1（一般町民調査）／問 1（中学生・高校生等調査）】

あなたは、大多喜町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

一般町民調査

愛着をどの程度感じているかについてみると、「どちらかという愛着を感じている」が 48.6%と最も高く、次いで「とても愛着を感じている」が 29.4%となっています。

前回調査と比較すると、『愛着を感じている』（「とても愛着を感じている」と「どちらかという愛着を感じている」の合計）が 5.8 ポイント増加しています。



■年齢別・地区別

年齢別にみると、いずれも「どちらかというと愛着を感じている」が最も高くなっています。

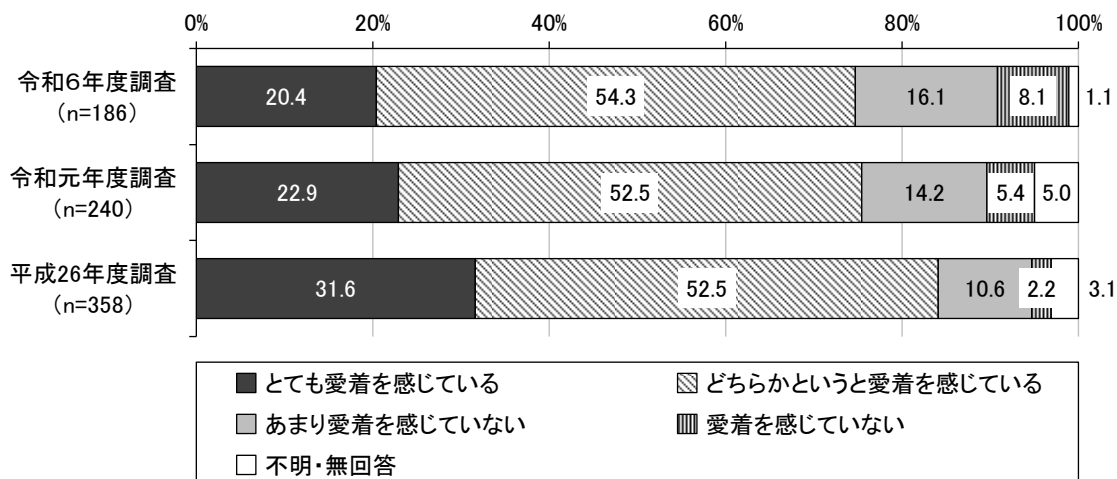
地区別にみると、いずれも「どちらかというと愛着を感じている」が最も高くなっています。

単位：%		とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じ ている	あまり愛着を感じて いない	愛着を感じて いない	不明・無回答	『愛着を感じて いる』
全体 (n=761)		29.4	48.6	13.9	2.0	6.0	78.0
年 齢 別	10・20歳代 (n=33)	27.3	45.5	21.2	3.0	3.0	72.8
	30歳代 (n=56)	25.0	44.6	23.2	5.4	1.8	69.6
	40歳代 (n=108)	25.0	50.9	18.5	2.8	2.8	75.9
	50歳代 (n=108)	27.8	49.1	15.7	3.7	3.7	76.9
	60歳代 (n=156)	27.6	52.6	14.7	1.9	3.2	80.2
	70歳以上 (n=274)	34.3	46.7	8.4	0.4	10.2	81.0
地 区 別	老川地区 (n=89)	29.2	49.4	12.4	2.2	6.7	78.6
	西畑地区 (n=143)	30.1	47.6	13.3	3.5	5.6	77.7
	総元地区 (n=107)	29.0	51.4	10.3	1.9	7.5	80.4
	大多喜地区 (n=248)	29.8	48.4	15.7	1.6	4.4	78.2
	上瀑地区 (n=126)	31.7	48.4	15.1	0.8	4.0	80.1

中学生・高校生等調査

愛着をどの程度感じているかについてみると、「どちらかという愛着を感じている」が 54.3%と最も高く、次いで「とても愛着を感じている」が 20.4%となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられませんが、「とても愛着を感じている」の割合は過去の調査を通して減少傾向にあります。



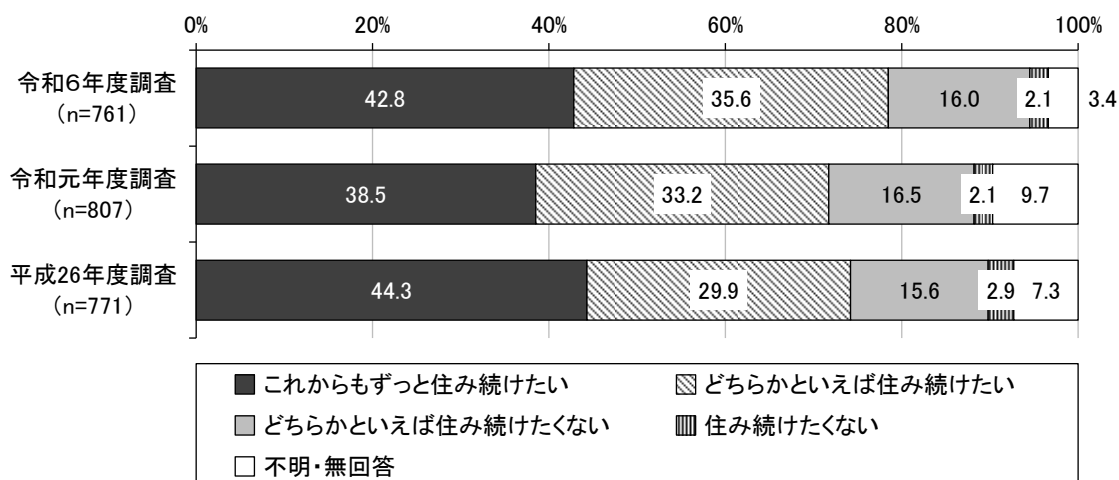
【問2（一般町民調査）／問6（中学生・高校生等調査）】

あなたは、これからも大多喜町に住み続けたいと思いますか。

一般町民調査

住み続けたいと思うかについてみると、「これからもずっと住み続けたい」が 42.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 35.6%となっています。

前回調査と比較すると、『住み続けたい』（「これからもずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）が 6.7 ポイント増加しています。



※前回・前々回調査の選択肢では、「どちらかといえば住み続けたくない⇒どちらかといえば住みたくない」「住み続けたくない⇒住みたくない」

■年齢別

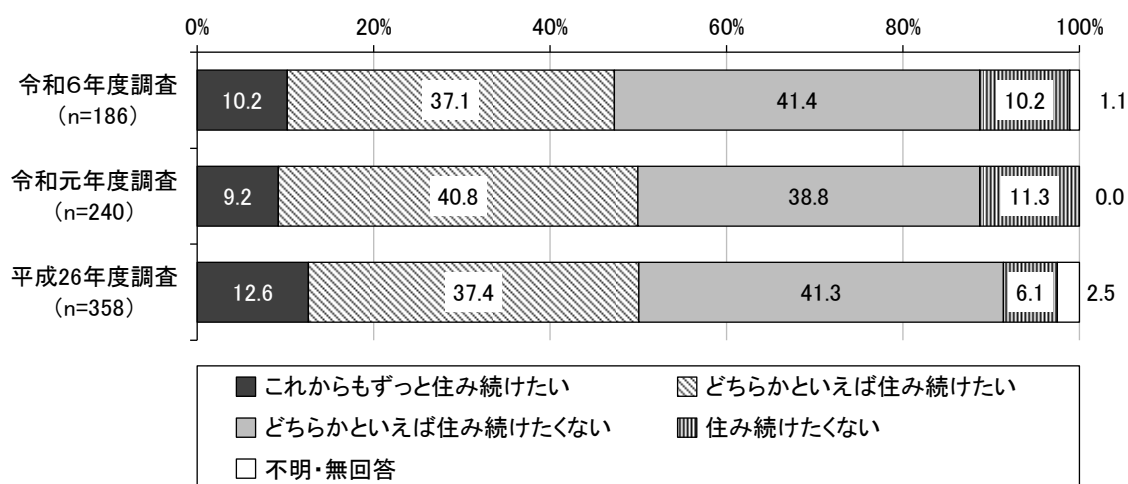
年齢別にみると、60 歳代以上では「これからもずっと住みたい」、50 歳代以下では「どちらかといえば住みたい」が最も高くなっています。

単位：%		い こ れ か ら も ず つ と 住 み 続 け た	い ど ち ら か と い え ば 住 み 続 け た	く ど ち ら か と い え ば 住 み 続 け た	住 み 続 け た く ない	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=761)		42.8	35.6	16.0	2.1	3.4
年 齢 別	10・20歳代(n=33)	9.1	45.5	39.4	3.0	3.0
	30歳代(n=56)	23.2	41.1	30.4	3.6	1.8
	40歳代(n=108)	23.1	49.1	24.1	2.8	0.9
	50歳代(n=108)	30.6	50.0	14.8	2.8	1.9
	60歳代(n=156)	43.6	33.3	16.7	2.6	3.8
	70歳以上(n=274)	62.8	24.1	7.7	1.1	4.4

中学生・高校生等調査

住みたいと思うかについてみると、「どちらかといえば住みたい」が 41.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」が 37.1%となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。



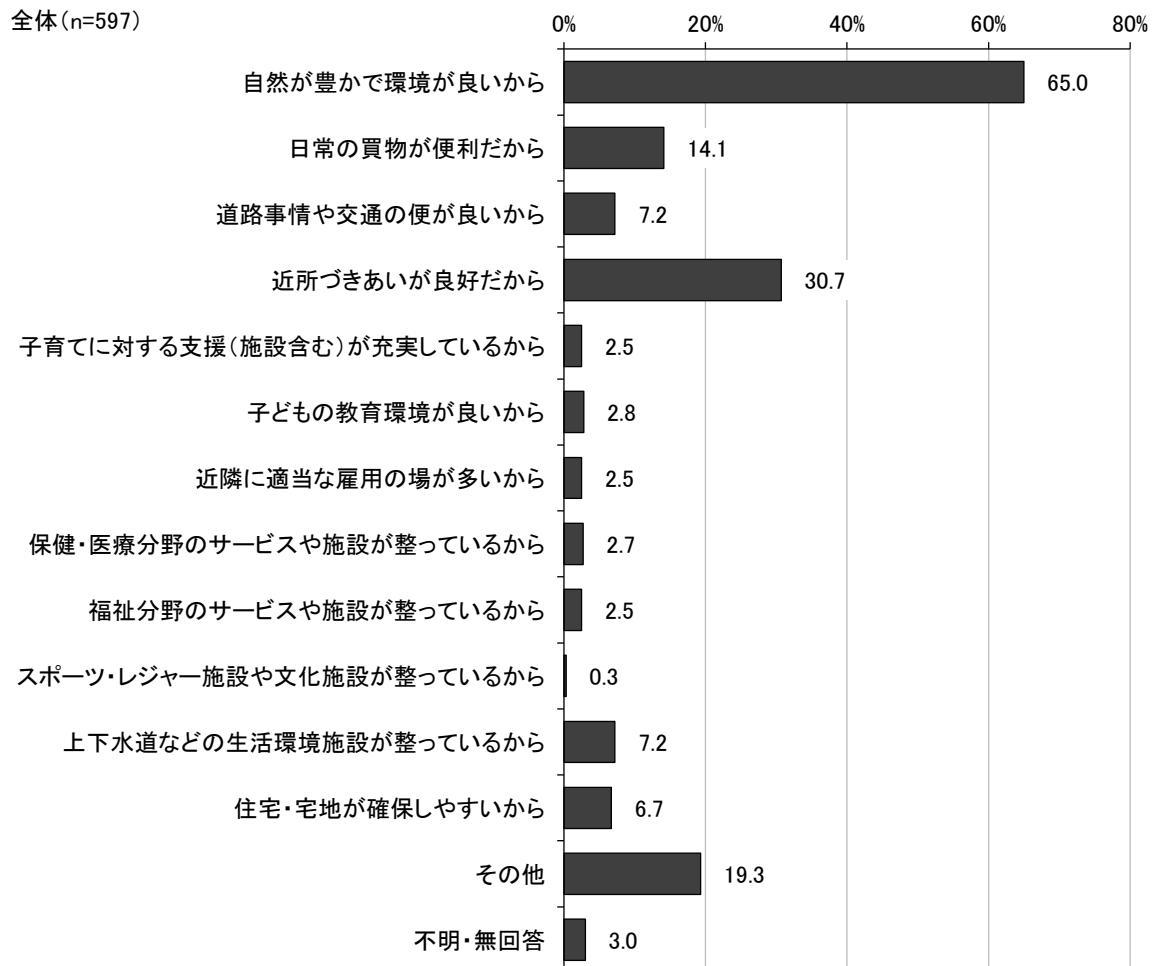
※前回・前々回調査の選択肢では、「どちらかといえば住み続けたくない⇒どちらかといえば住みたくない」「住み続けたくない⇒住みたくない」

【付問 2 - 1（一般町民調査）／付問 6 - 1（中学生・高校生等調査）】

「これからもずっと住みたい」「どちらかといえば住みたい」と答えた方
住みたい理由は何ですか。

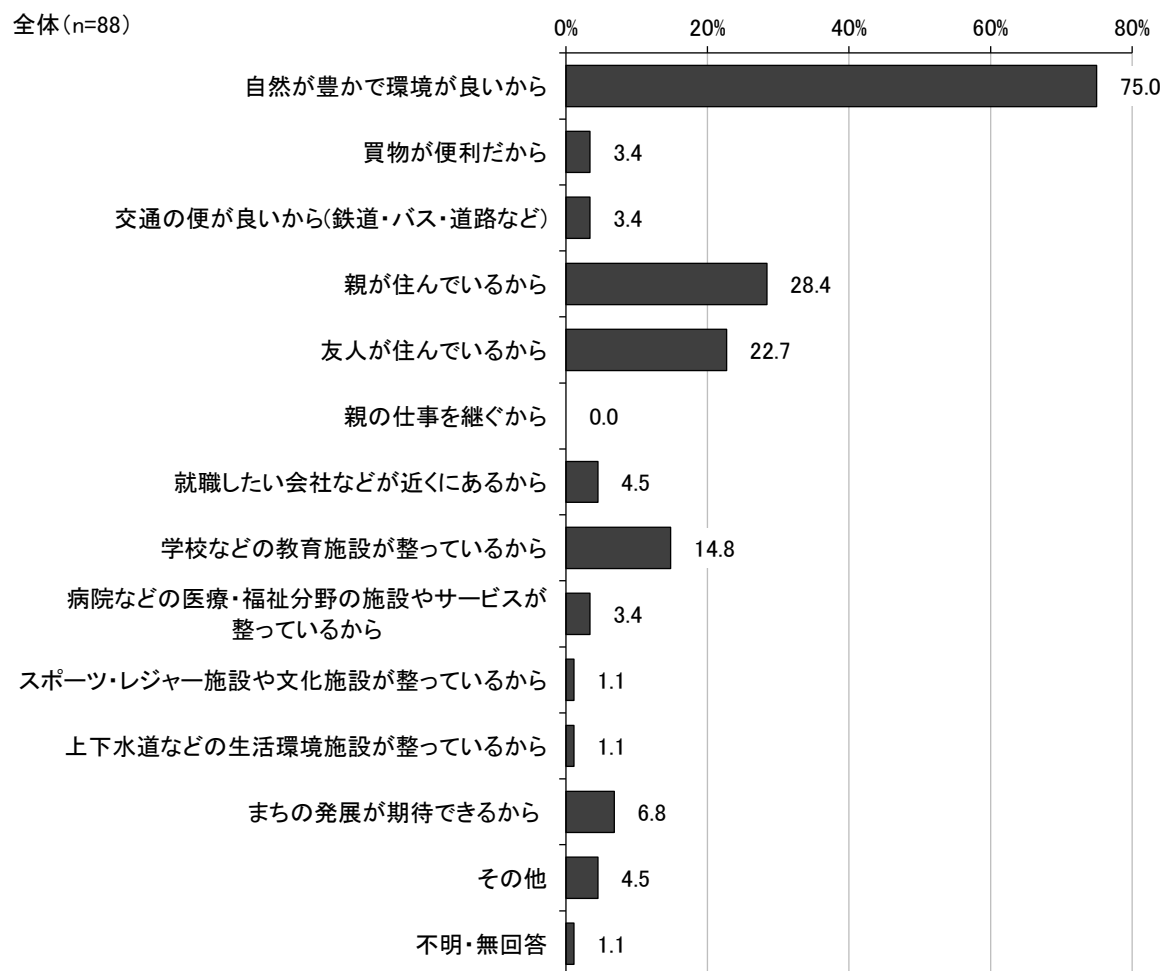
一般町民調査

住みたい理由についてみると、「自然が豊かで環境が良いから」が 65.0%と最も高く、次いで「近所づきあいが良好だから」が 30.7%となっています。



中学生・高校生等調査

住み続けたい理由についてみると、「自然が豊かで環境が良いから」が 75.0%と最も高く、次いで「親が住んでいるから」が 28.4%となっています。

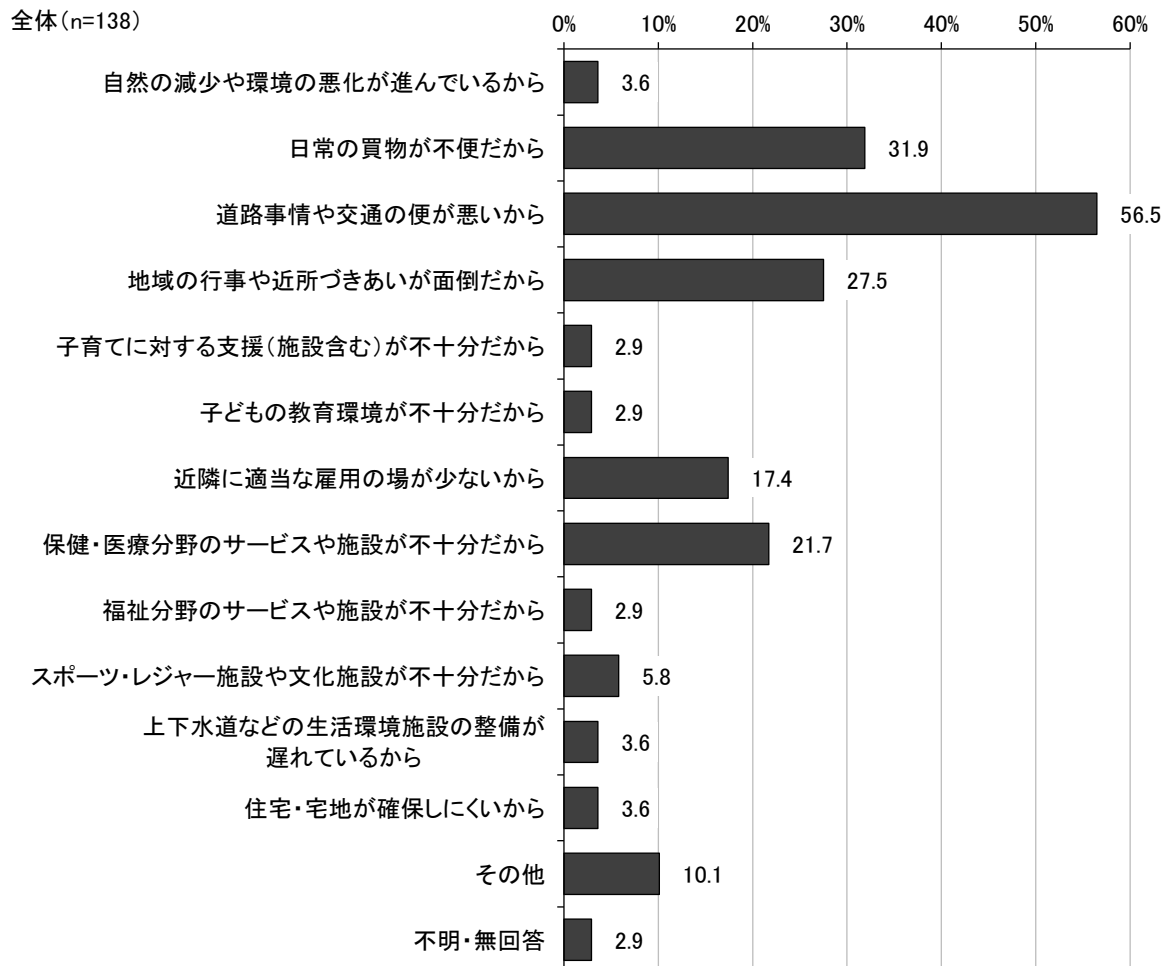


【付問 2 - 2（一般町民調査）／付問 6 - 2（中学生・高校生等調査）】

「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と答えた方
住み続けたくない理由は何ですか。

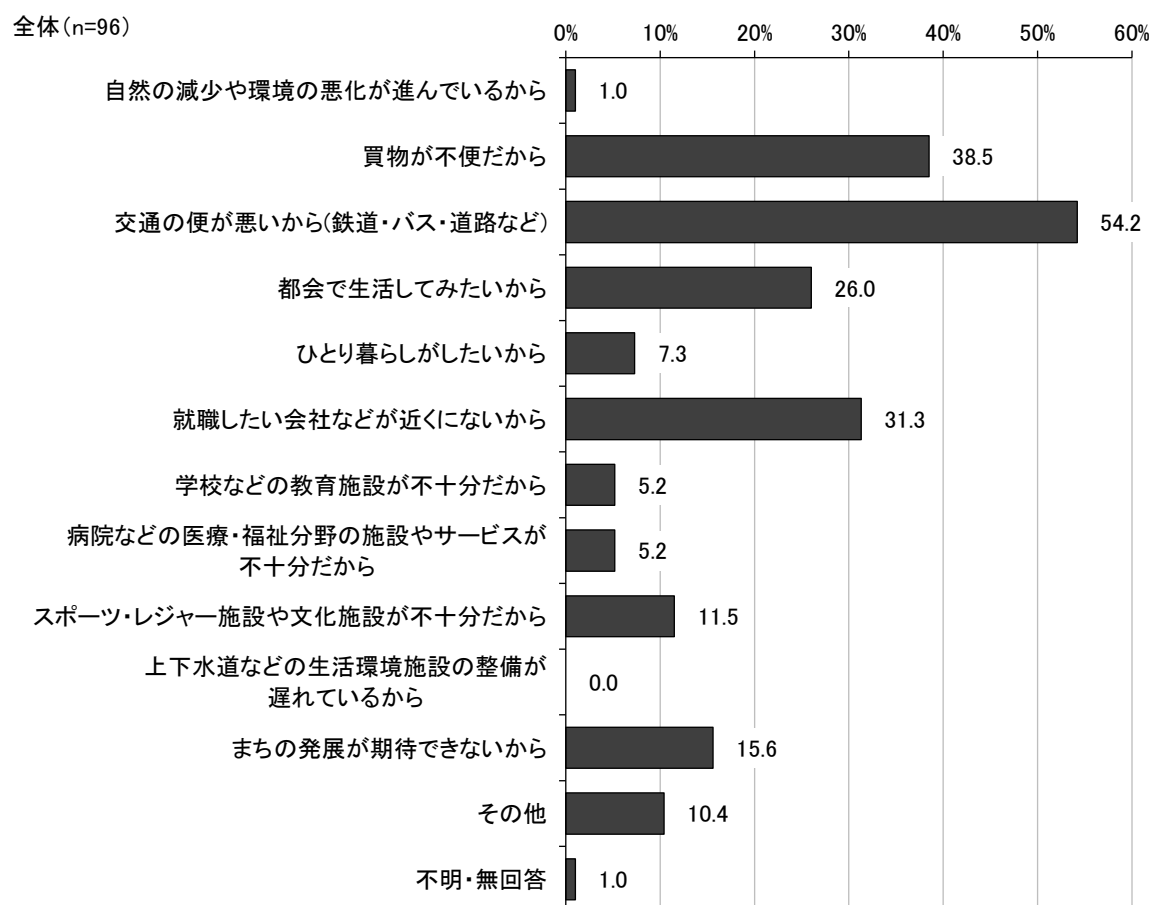
一般町民調査

住み続けたくない理由についてみると、「道路事情や交通の便が悪いから」が 56.5%と最も高く、次いで「日常の買物が不便だから」が 31.9%となっています。



中学生・高校生等調査

住み続けたくない理由についてみると、「交通の便が悪いから(鉄道・バス・道路など)」が 54.2%と最も高く、次いで「買物が不便だから」が 38.5%となっています。



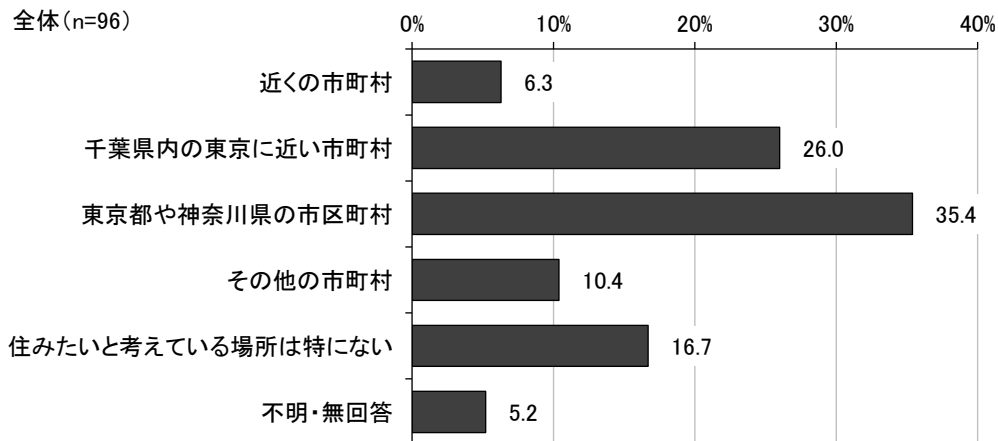
【付問 6-3（中学生・高校生等調査）】

「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と答えた方は、将来どこに住みたいと考えていますか。

中学生・高校生等調査

将来どこに住みたいと考えているかについてみると、「東京都や神奈川県市区町村」が 35.4%と最も高く、次いで「千葉県内の東京に近い市町村」が 26.0%となっています。

具体的に住みたいと考えている市区町村では、【千葉市】【横浜市】等の意見が多くなっています。



【問 3（一般町民調査）】

あなたは、次の 1～35 の各項目について、現状に対する「満足度」と、これからまちづくりを進めていく上での「重要度」をどのように考えますか。

一般町民調査

満足度についてみると、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）では「4. 水道施設の整備充実」が 78.3%と最も高く、次いで「6. ごみ処理体制やリサイクル体制の強化及び施設の整備充実」が 66.7%となっています。

一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）では「2. 交通の便の充実（鉄道、バス路線の充実等）」が 72.9%と最も高く、次いで「33. 有害鳥獣対策の充実」が 66.1%となっています。

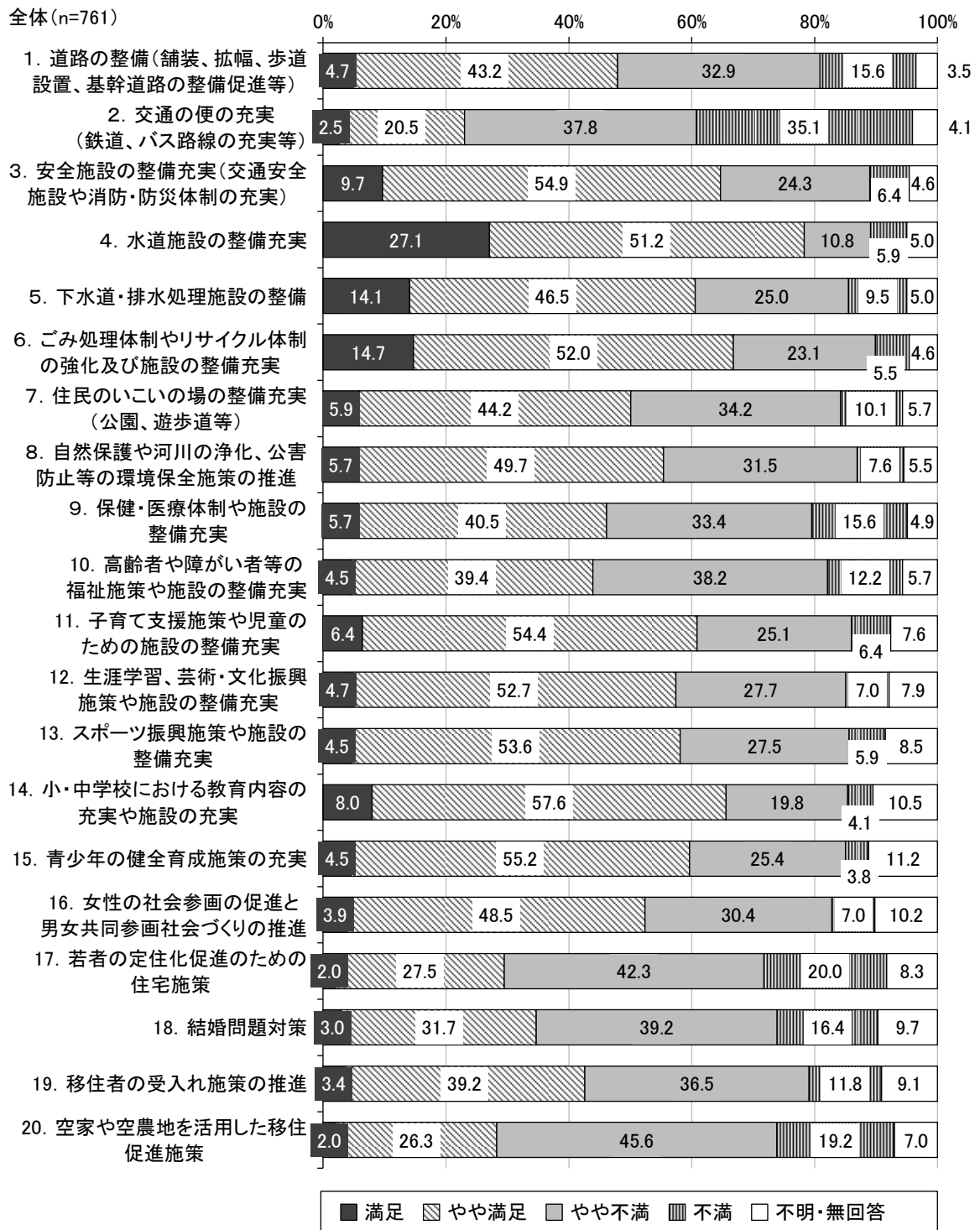
満足度の結果のグラフについては 18～19 ページに掲載しています。

重要度についてみると、『重要』（「重要である（優先すべき）」と「やや重要」の合計）では「9. 保健・医療体制や施設の整備充実」が 90.8%と最も高く、次いで「33. 有害鳥獣対策の充実」が 87.7%となっています。

一方、『重要ではない』（「あまり重要ではない」と「重要ではない（縮小すべき）」の合計）では「29. 色彩・デザインなどを考えた景観づくり」が 39.1%と最も高く、次いで「26. 国際交流や地域間交流の促進・充実」が 33.2%となっています。

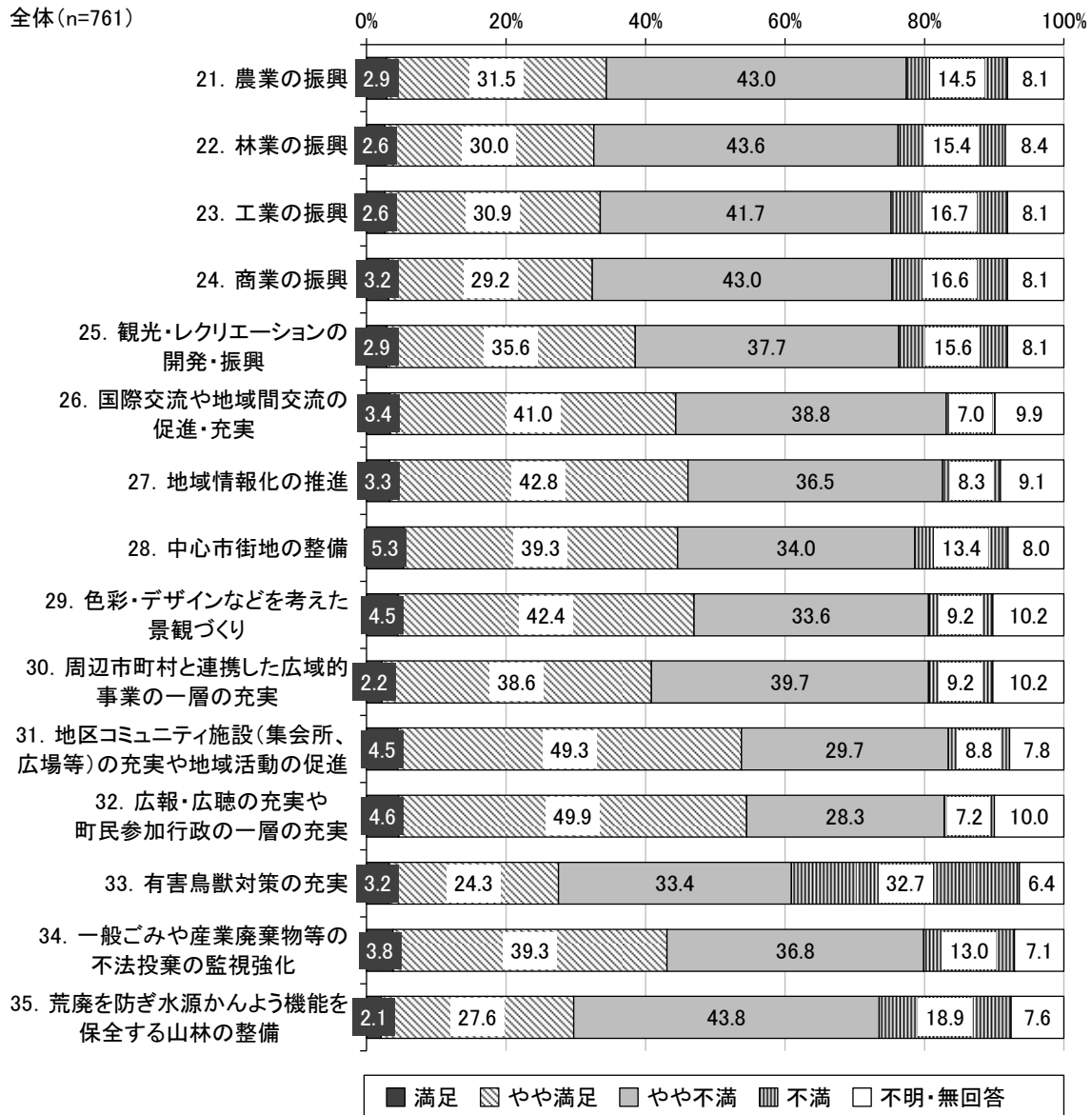
重要度の結果のグラフについては 20～21 ページに掲載しています。

【満足度】



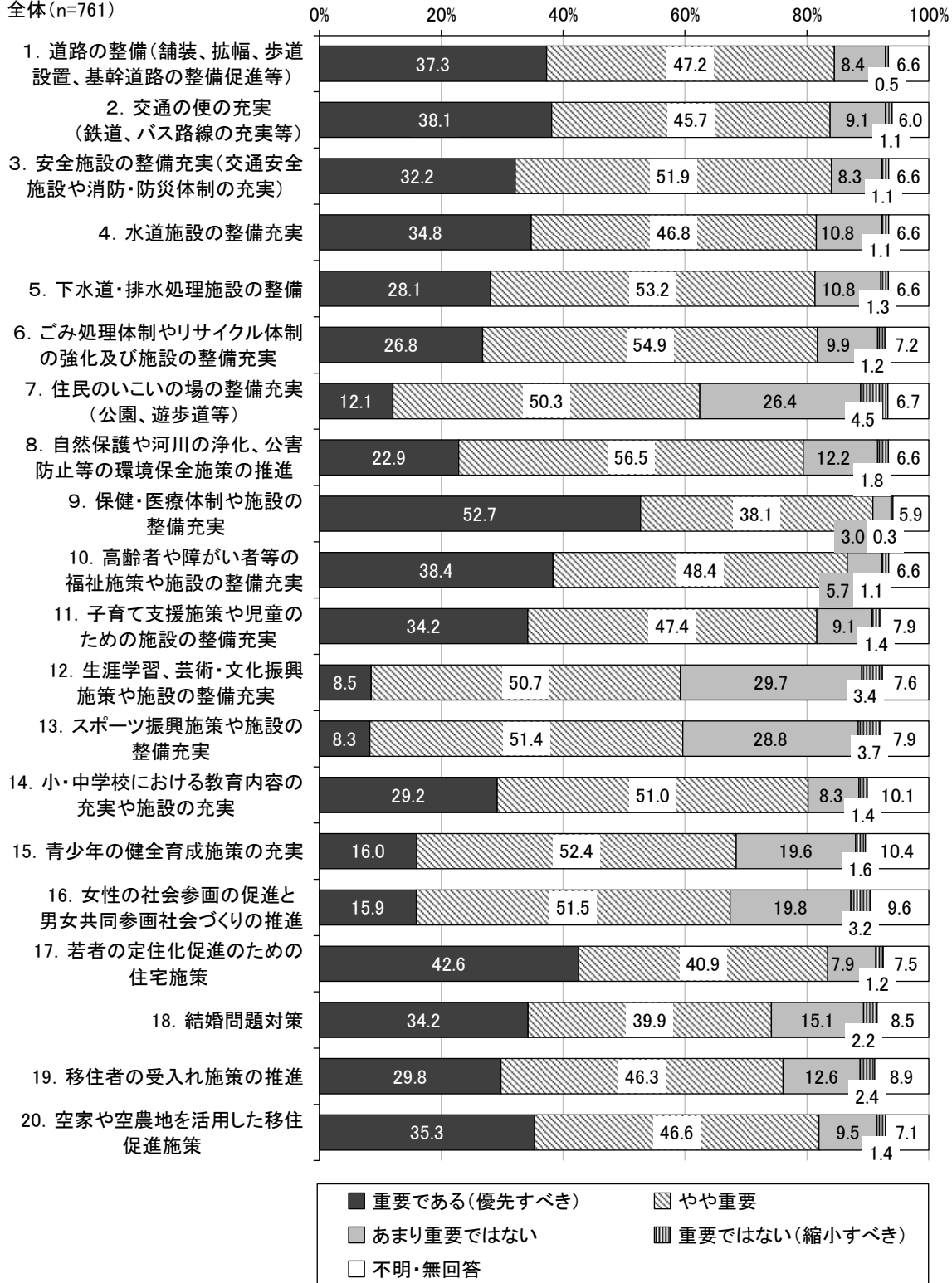
【満足度】

全体(n=761)



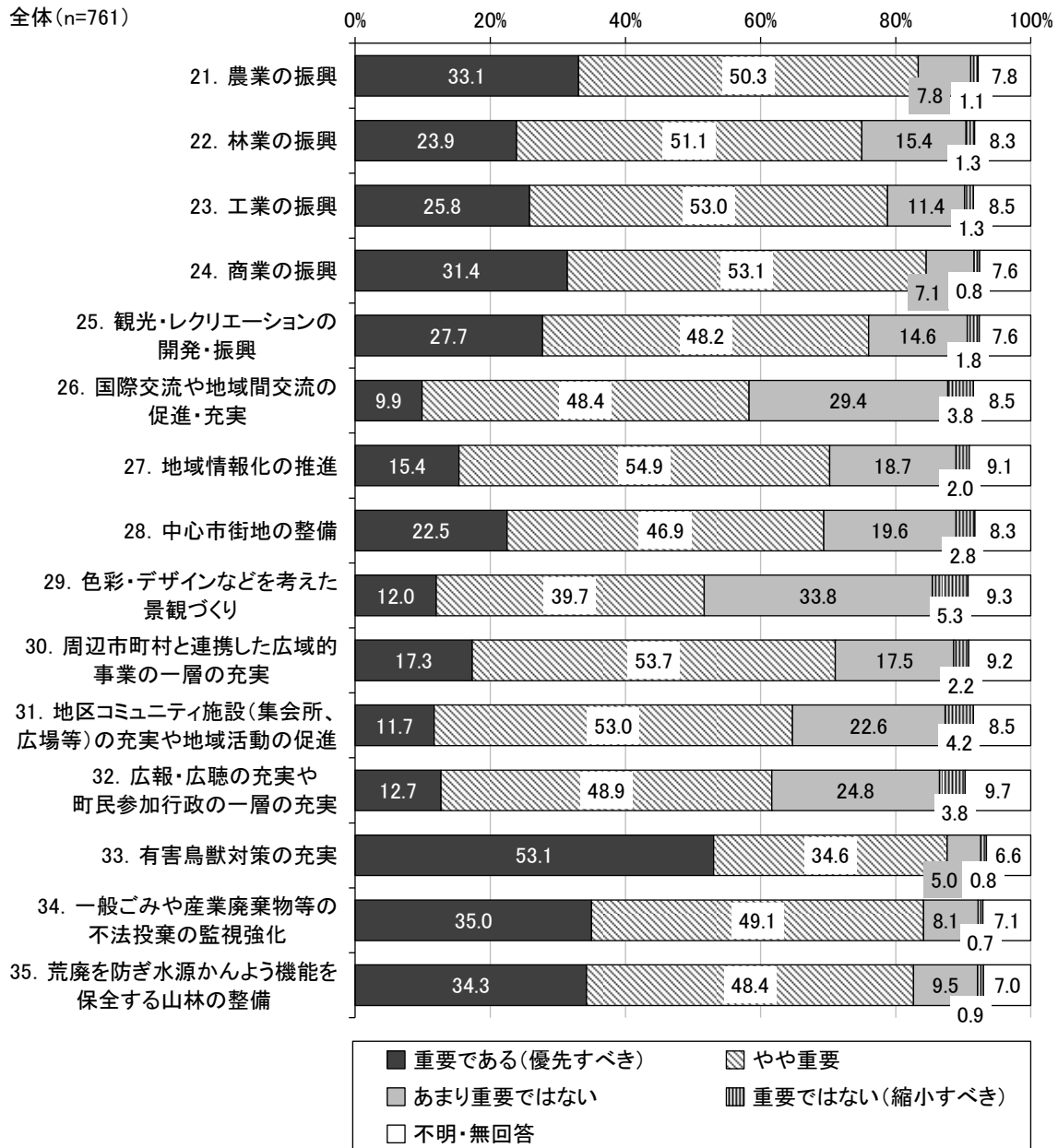
【重要度】

全体(n=761)



【重要度】

全体(n=761)



●満足度指数・重要度指数

町の取り組みの満足度及び重要度について指数化するため、次のとおり回答に重みづけを行いました。
以下ではこの指数を使い、町の取り組みについて評価・分析を行います。

■満足度指数

「満足」の回答数 × 2点

「やや満足」の回答数 × 1点

「やや不満」の回答数 × -1点

「不満」の回答数 × -2点

÷ 「不明・無回答」を除く全体の回答数

■重要度指数

「重要である」の回答数 × 2点

「やや重要」の回答数 × 1点

「あまり重要ではない」の回答数 × -1点

「重要ではない」の回答数 × -2点

÷ 「不明・無回答」を除く全体の回答数

満足度指数・重要度指数ともに、上限は「2」(満足／重要)、下限は「-2」(不満／重要ではない)となります。

「満足度指数」についてみると、「4. 水道施設の整備充実」が 0.87 と最も高く、次いで「14. 小・中学校における教育内容の充実や施設の充実」が 0.51 となっています。

一方、「2. 交通の便の充実(鉄道、バス路線の充実等)」が-0.86 と最も低く、次いで「33. 有害鳥獣対策の充実」が-0.73 となっています。

平均点については、-0.07 となっています。

「重要度指数」についてみると、「9. 保健・医療体制や施設の整備充実」が 1.49 と最も高く、次いで「33. 有害鳥獣対策の充実」が 1.44 となっています。

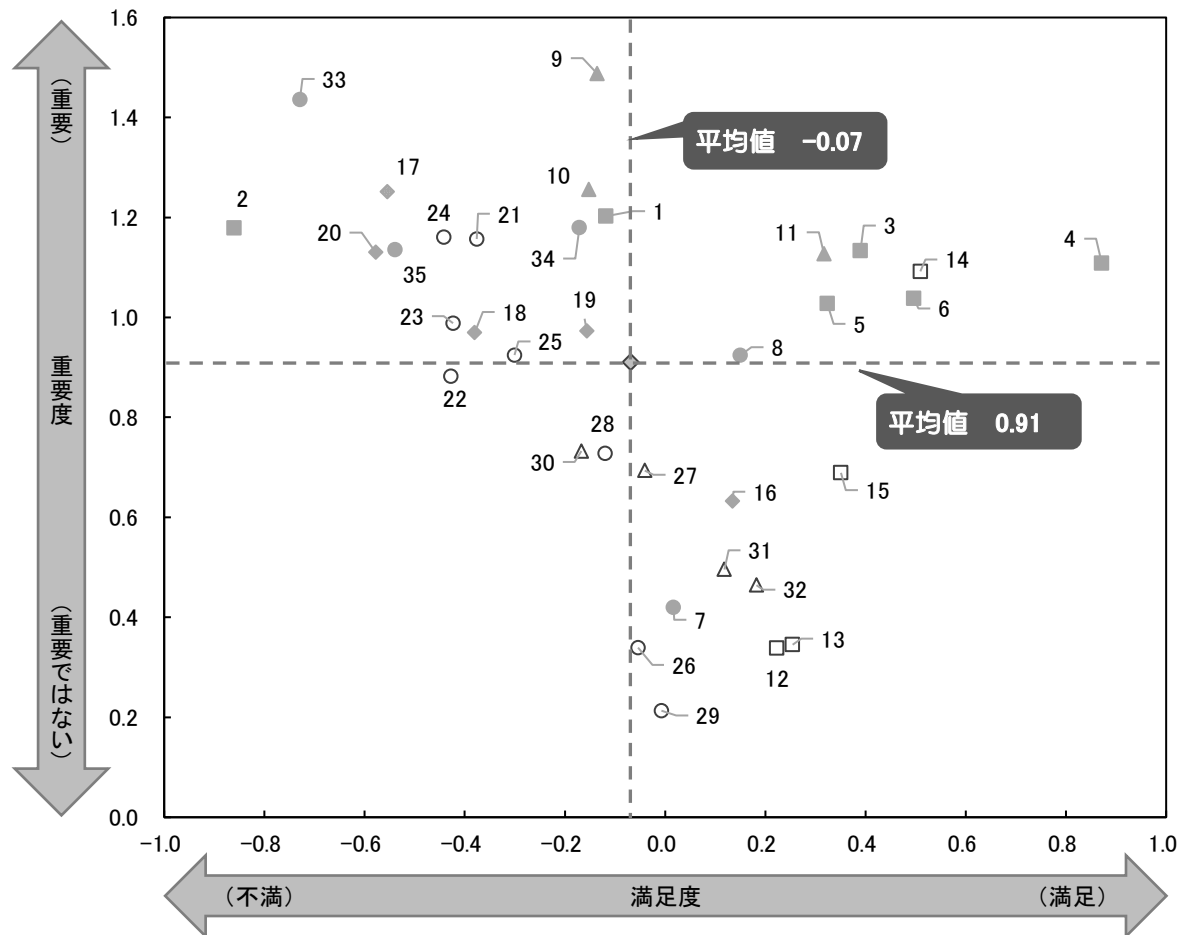
平均点については、0.91 となっています。

満足度指数・重要度指数の結果については次のページに掲載しています。

【満足度指数・重要度指数】

	Ave.	平均値		-0.07	0.91	
分類	No.	項目		満足度指数	重要度指数	
生活 基盤	1	道路の整備(舗装、拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等)		-0.12	1.20	
	2	交通の便の充実(鉄道、バス路線の充実等)		-0.86	1.18	
	3	安全施設の整備充実(交通安全施設や消防・防災体制の充実)	0.39		1.13	
	4	水道施設の整備充実	0.87		1.11	
	5	下水道・排水処理施設の整備	0.32		1.03	
	6	ごみ処理体制やリサイクル体制の強化及び施設の整備充実	0.50		1.04	
生活 環境	7	住民のいきいきの場の整備充実(公園、遊歩道等)	0.02		0.42	
	8	自然保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進	0.15		0.92	
	33	有害鳥獣対策の充実		-0.73	1.44	
	34	一般ごみや産業廃棄物等の不法投棄の監視強化		-0.17	1.18	
	35	荒廃を防ぎ水源かんよう機能を保全する山林の整備		-0.54	1.14	
健康 ・ 福祉	9	保健・医療体制や施設の整備充実		-0.14	1.49	
	10	高齢者や障がい者等の福祉施策や施設の整備充実		-0.15	1.26	
	11	子育て支援施策や児童のための施設の整備充実	0.32		1.13	
教育 ・ 文化	12	生涯学習、芸術・文化振興施策や施設の整備充実	0.22		0.34	
	13	スポーツ振興施策や施設の整備充実	0.25		0.35	
	14	小・中学校における教育内容の充実や施設の充実	0.51		1.09	
	15	青少年の健全育成施策の充実	0.35		0.69	
定住 促進	16	女性の社会参画の促進と男女共同参画社会づくりの推進	0.13		0.63	
	17	若者の定住化促進のための住宅施策		-0.55	1.25	
	18	結婚問題対策		-0.38	0.97	
	19	移住者の受入れ施策の推進		-0.16	0.97	
	20	空家や空農地を活用した移住促進施策		-0.58	1.13	
産業 ・ 経済	21	農業の振興		-0.38	1.16	
	22	林業の振興		-0.43	0.88	
	23	工業の振興		-0.42	0.99	
	24	商業の振興		-0.44	1.16	
	25	観光・レクリエーションの開発・振興		-0.30	0.92	
	26	国際交流や地域間交流の促進・充実		-0.05	0.34	
	28	中心市街地の整備		-0.12	0.73	
	29	色彩・デザインなどを考えた景観づくり		-0.01	0.21	
行政経営 ・ 地域自治	27	地域情報化の推進		-0.04	0.69	
	30	周辺市町村と連携した広域的事業の一層の充実		-0.17	0.73	
	31	地区コミュニティ施設(集会所、広場等)の充実や地域活動の促進	0.12		0.50	
	32	広報・広聴の充実や町民参加行政の一層の充実	0.18		0.46	

●クロス集計 満足度指数 × 重要度指数



■各象限について

満足度が「低く」、重要度が「高い」(左上)

現状の満足度が低く、今後重要との認識が高い
対策への町民ニーズ「大」

満足度が「高く」、重要度も「高い」(右上)

現状の満足度が高く、今後重要との認識も高い

満足度が「低く」、重要度も「低い」(左下)

現状の満足度が低く、今後重要との認識も低い

満足度が「高く」、重要度が「低い」(右下)

現状の満足度が高く、今後重要との認識は低い

満足度が低く、重要度が高い、対策への町民ニーズが大きいとみられる項目としては、「33. 有害鳥獣対策の充実」「2. 交通の便の充実」があげられます。

また、満足度も重要度も高い、まちの強みともいえる分野としては、「4. 水道施設の整備充実」「14. 小・中学校における教育内容の充実や施設の充実」があげられます。

分類	No.	項目	分類	No.	項目
生活基盤	1	道路の整備 (舗装、拡幅、歩道設置、 基幹道路の整備促進等)	教育・文化	12	生涯学習、芸術・文化振興施策や 施設の整備充実
	2	交通の便の充実 (鉄道、バス路線の充実等)		13	スポーツ振興施策や 施設の整備充実
	3	安全施設の整備充実 (交通安全施設や 消防・防災体制の充実)		14	小・中学校における 教育内容の充実や施設の充実
	4	水道施設の整備充実		15	青少年の健全育成施策の充実
	5	下水道・排水処理施設の整備		16	女性の社会参画の促進と 男女共同参画社会づくりの推進
	6	ごみ処理体制や リサイクル体制の強化 及び施設の整備充実	定住促進	17	若者の定住化促進のための 住宅施策
生活環境	7	住民のいこいの場の整備充実 (公園、遊歩道等)		18	結婚問題対策
	8	自然保護や河川の浄化、 公害防止等の環境保全施策の推進		19	移住者の受け入れ施策の推進
	33	有害鳥獣対策の充実		20	空き家や空き地を活用した 移住促進施策
	34	一般ごみや産業廃棄物等の 不法投棄の監視強化	産業・経済	21	農業の振興
	35	荒廃を防ぎ水源かんよう機能を 保全する山林の整備		22	林業の振興
健康・福祉	9	保健・医療体制や 施設の整備充実		23	工業の振興
	10	高齢者や障がい者等の 福祉施策や 施設の整備充実		24	商業の振興
	11	子育て支援施策や児童のための 施設の整備充実		25	観光・レクリエーションの 開発・振興
				26	国際交流や地域間交流の 促進・充実
			行政経営・地域自治	28	中心市街地の整備
				29	色彩・デザインなどを考えた 景観づくり
				27	地域情報化の推進
				30	周辺市町村と連携した 広域的事業の一層の充実
				31	地区コミュニティ施設 (集会所、広場等)の充実や 地域活動の促進
				32	広報・広聴の充実や 町民参加行政の一層の充実

●分野別の結果まとめ

分野	記号	傾向
1. 生活基盤	■	「2. 交通の便の充実」については、満足度が低く、重要度が高くなっています。 その他の項目については、満足度は平均程度もしくはそれ以上、重要度は平均以上となっています。
2. 生活環境	●	「33. 有害鳥獣対策の充実」については、満足度が低く、また重要度が高くなっています。 その他の項目も、「7. 住民のいこいの場の整備充実」を除いて、重要度が平均以上となっています。
3. 健康・福祉	▲	3項目すべてについて重要度が高くなっています。 満足度については、「11. 子育て支援施策や児童のための施設の整備充実」では高くなっていますが、「9. 保健・医療体制や施設の整備充実」「10. 高齢者や障がい者等の福祉施策や施設の整備充実」については平均以下となっています。
4. 教育・文化	□	「14. 小・中学校における教育内容の充実や施設の充実」については満足度・重要度ともに平均を上回っています。 その他の3項目については、満足度は高く、重要度は低くなっています。
5. 定住促進	◆	「16. 女性の社会参画の促進と男女共同参画社会づくりの推進」については、満足度は高く、重要度は低くなっています。 その他の4項目については、満足度は平均以下、重要度は平均以上となっており、対策への町民ニーズが高い分野となっています。
6. 産業・経済	○	8項目すべてについて、満足度が平均程度もしくはそれ以下となっています。 「21. 農業の振興」「24. 商業の振興」では特に重要度が高くなっています。
7. 行政経営・地域自治	△	「27. 地域情報化の推進」「30. 周辺市町村と連携した広域的事業の一層の充実」については、満足度が平均程度、重要度が低くなっています。 「31. 地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進」「32. 広報・広聴の充実や町民参加行政の一層の充実」については、満足度は高く、重要度は低くなっています。

●分野・年齢別の傾向

◇分野1「生活基盤」

「2. 交通の便の充実」については、すべての年齢で満足度がマイナスとなっており、特に30歳代から60歳代では-0.9以下と低くなっています。また、「3. 安全施設の整備充実」については、年齢が上がるほど、重要度が高くなる傾向がみられます。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
1	道路の整備 (舗装、拡幅、歩道設置、 基幹道路の整備促進等)	10・20歳代	0.41	1.24	4	水道施設の整備充実	10・20歳代	1.34	0.41
		30歳代	-0.19	1.25			30歳代	0.76	1.08
		40歳代	-0.44	1.13			40歳代	0.88	0.84
		50歳代	-0.05	1.06			50歳代	0.81	0.93
		60歳代	-0.29	1.18			60歳代	0.75	1.11
		70歳以上	0.00	1.29			70歳以上	0.92	1.38
2	交通の便の充実 (鉄道、バス路線の充実等)	10・20歳代	-0.73	1.31	5	下水道・排水処理施設の 整備	10・20歳代	1.00	0.69
		30歳代	-0.93	1.28			30歳代	0.50	0.96
		40歳代	-1.12	1.15			40歳代	0.63	0.80
		50歳代	-1.06	1.27			50歳代	0.39	0.91
		60歳代	-0.95	1.06			60歳代	0.10	1.03
		70歳以上	-0.62	1.17			70歳以上	0.12	1.21
3	安全施設の整備充実 (交通安全施設や 消防・防災体制の充実)	10・20歳代	0.94	0.72	6	ごみ処理体制や リサイクル体制の強化 及び施設の整備充実	10・20歳代	0.81	0.91
		30歳代	0.53	0.96			30歳代	0.33	0.91
		40歳代	0.30	1.03			40歳代	0.68	0.65
		50歳代	0.29	1.10			50歳代	0.27	1.03
		60歳代	0.28	1.15			60歳代	0.35	1.00
		70歳以上	0.41	1.26			70歳以上	0.56	1.27

◇分野2「生活環境」

「8. 自然保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進」「33. 有害鳥獣対策の充実」「35. 荒廃を防ぎ水源かんよう機能を保全する山林の整備」については、年齢が上がるほど、満足度が低くなる傾向がみられます。また、「33. 有害鳥獣対策の充実」については、すべての年齢で重要度が1.1以上となっています。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
7	住民のいこいの場の 整備充実 (公園、遊歩道等)	10・20歳代	0.39	0.50	34	一般ごみや 産業廃棄物等の 不法投棄の監視強化	10・20歳代	0.39	1.13
		30歳代	-0.24	0.58			30歳代	-0.06	1.08
		40歳代	0.05	0.33			40歳代	0.07	0.86
		50歳代	-0.09	0.38			50歳代	-0.31	1.17
		60歳代	-0.08	0.36			60歳代	-0.41	1.19
		70歳以上	0.10	0.43			70歳以上	-0.19	1.32
8	自然保護や河川の浄化、 公害防止等の 環境保全施策の推進	10・20歳代	0.72	0.94	35	荒廃を防ぎ 水源かんよう機能を 保全する山林の整備	10・20歳代	0.45	1.06
		30歳代	0.39	0.98			30歳代	-0.02	1.08
		40歳代	0.35	0.55			40歳代	-0.21	0.72
		50歳代	0.12	1.02			50歳代	-0.69	1.18
		60歳代	0.11	0.88			60歳代	-0.80	1.12
		70歳以上	-0.01	1.04			70歳以上	-0.67	1.31
33	有害鳥獣対策の充実	10・20歳代	0.00	1.39					
		30歳代	-0.17	1.23					
		40歳代	-0.43	1.14					
		50歳代	-0.71	1.38					
		60歳代	-1.05	1.59					
		70歳以上	-0.87	1.55					

◇分野3「健康・福祉」

各項目において、10・20 歳代では満足度が他の年齢に比べて高くなる傾向がみられます。また、「9. 保健・医療体制や施設の整備充実」については、すべての年齢で重要度が1.3 以上となっています。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
9	保健・医療体制や施設の整備充実	10・20歳代	0.34	1.31	11	子育て支援施策や児童のための施設の整備充実	10・20歳代	0.75	1.09
		30歳代	-0.62	1.59			30歳代	0.09	1.28
		40歳代	-0.44	1.49			40歳代	0.28	1.00
		50歳代	-0.29	1.47			50歳代	0.42	1.05
		60歳代	-0.23	1.48			60歳代	0.25	1.16
		70歳以上	0.14	1.49			70歳以上	0.33	1.18
10	高齢者や障がい者等の福祉施策や施設の整備充実	10・20歳代	0.50	0.81					
		30歳代	-0.04	1.11					
		40歳代	-0.21	1.05					
		50歳代	-0.17	1.30					
		60歳代	-0.30	1.28					
		70歳以上	-0.16	1.40					

◇分野4「教育・文化」

各項目において、10・20 歳代では満足度が他の年齢に比べて高くなる傾向がみられます。また、「12. 生涯学習、芸術・文化振興施策や施設の整備充実」「15. 青少年の健全育成施策の充実」については、10・20 歳代を除いて年齢が上がるほど重要度が高くなる傾向がみられます。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
12	生涯学習、芸術・文化振興施策や施設の整備充実	10・20歳代	0.59	0.44	14	小・中学校における教育内容の充実や施設の充実	10・20歳代	0.91	1.13
		30歳代	0.13	0.06			30歳代	0.24	1.04
		40歳代	0.07	0.06			40歳代	0.41	1.10
		50歳代	0.17	0.27			50歳代	0.43	0.92
		60歳代	0.15	0.29			60歳代	0.52	1.07
		70歳以上	0.33	0.54			70歳以上	0.62	1.21
13	スポーツ振興施策や施設の整備充実	10・20歳代	0.59	0.31	15	青少年の健全育成施策の充実	10・20歳代	0.78	0.72
		30歳代	0.00	0.22			30歳代	0.45	0.37
		40歳代	0.03	0.15			40歳代	0.32	0.40
		50歳代	0.10	0.38			50歳代	0.35	0.54
		60歳代	0.32	0.19			60歳代	0.31	0.68
		70歳以上	0.38	0.55			70歳以上	0.31	0.97

◇分野5「定住促進」

「17. 若者の定住化促進のための住宅施策」「18. 結婚問題対策」「20. 空家や空農地を活用した移住促進施策」については、すべての年齢で満足度がマイナスとなっています。

10・20 歳代では「17. 若者の定住化促進のための住宅施策」の重要度が 1.6 以上と、他の年齢に比べて高くなっています。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
16	女性の社会参画の促進と男女共同参画社会づくりの推進	10・20歳代	0.47	0.75	19	移住者の受入れ施策の推進	10・20歳代	0.00	1.26
		30歳代	0.19	0.40			30歳代	0.11	0.87
		40歳代	0.32	0.25			40歳代	-0.09	0.70
		50歳代	0.01	0.65			50歳代	-0.27	0.90
		60歳代	-0.04	0.59			60歳代	-0.27	1.05
		70歳以上	0.16	0.87			70歳以上	-0.11	1.07
17	若者の定住化促進のための住宅施策	10・20歳代	-0.56	1.66	20	空家や空農地を活用した移住促進施策	10・20歳代	-0.42	1.45
		30歳代	-0.58	1.22			30歳代	-0.10	0.89
		40歳代	-0.64	1.11			40歳代	-0.42	1.08
		50歳代	-0.56	1.12			50歳代	-0.69	1.12
		60歳代	-0.67	1.28			60歳代	-0.76	1.17
		70歳以上	-0.41	1.32			70歳以上	-0.58	1.14
18	結婚問題対策	10・20歳代	-0.06	0.78					
		30歳代	-0.08	0.54					
		40歳代	-0.19	0.48					
		50歳代	-0.30	0.86					
		60歳代	-0.59	1.01					
		70歳以上	-0.46	1.34					

◇分野6「産業・経済」

「24. 商業の振興」については、すべての年齢で満足度がマイナスとなっています。また、各項目において、30 歳代・40 歳代を境に、満足度が平均より低くなる傾向がみられます。

「23. 工業の振興」については、年齢が上がるほど満足度が低くなり、重要度が高くなる傾向がみられます。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
21	農業の振興	10・20歳代	0.39	1.35	25	観光・レクリエーションの開発・振興	10・20歳代	0.03	1.32
		30歳代	0.19	1.06			30歳代	0.13	0.67
		40歳代	-0.09	1.07			40歳代	-0.49	0.94
		50歳代	-0.38	1.01			50歳代	-0.38	0.96
		60歳代	-0.68	1.15			60歳代	-0.34	0.89
		70歳以上	-0.52	1.25			70歳以上	-0.25	0.92
22	林業の振興	10・20歳代	0.35	0.97	26	国際交流や地域間交流の促進・充実	10・20歳代	0.48	0.61
		30歳代	0.08	0.79			30歳代	-0.02	0.27
		40歳代	-0.10	0.77			40歳代	-0.04	0.14
		50歳代	-0.49	0.79			50歳代	-0.13	0.24
		60歳代	-0.67	0.95			60歳代	-0.18	0.13
		70歳以上	-0.58	0.92			70歳以上	-0.01	0.56
23	工業の振興	10・20歳代	0.52	0.71	28	中心市街地の整備	10・20歳代	0.13	1.06
		30歳代	0.17	0.67			30歳代	0.13	0.96
		40歳代	-0.14	0.83			40歳代	-0.16	0.77
		50歳代	-0.47	0.97			50歳代	-0.09	0.70
		60歳代	-0.62	1.01			60歳代	-0.21	0.58
		70歳以上	-0.62	1.12			70歳以上	-0.13	0.70
24	商業の振興	10・20歳代	-0.03	1.32	29	色彩・デザインなどを考えた景観づくり	10・20歳代	0.23	0.77
		30歳代	-0.33	1.22			30歳代	0.37	0.26
		40歳代	-0.52	1.00			40歳代	0.08	0.10
		50歳代	-0.47	1.21			50歳代	-0.12	0.29
		60歳代	-0.45	1.19			60歳代	-0.12	0.14
		70歳以上	-0.46	1.15			70歳以上	-0.03	0.20

◇分野 7 「行政経営・地域自治」

「31.地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進」「32.広報・広聴の充実や町民参加行政の一層の充実」については、40 歳代以上では年齢が上がるほど、重要度が高くなる傾向がみられます。

No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数	No.	項目	年齢	満足度指数	重要度指数
27	地域情報化の推進	10・20歳代	0.19	0.74	31	地区コミュニティ施設 (集会所、広場等)の 充実や地域活動の促進	10・20歳代	0.42	0.19
		30歳代	0.15	0.81			30歳代	0.28	0.31
		40歳代	-0.13	0.63			40歳代	0.11	0.10
		50歳代	-0.14	0.57			50歳代	0.05	0.42
		60歳代	-0.13	0.52			60歳代	0.03	0.58
		70歳以上	0.05	0.82			70歳以上	0.18	0.68
30	周辺市町村と 連携した広域的事業の 一層の充実	10・20歳代	0.10	0.88	32	広報・広聴の充実や 町民参加行政の 一層の充実	10・20歳代	0.58	0.06
		30歳代	0.19	0.81			30歳代	0.19	0.39
		40歳代	-0.09	0.42			40歳代	0.27	0.17
		50歳代	-0.32	0.81			50歳代	0.16	0.30
		60歳代	-0.27	0.74			60歳代	0.16	0.46
		70歳以上	-0.18	0.78			70歳以上	0.18	0.73

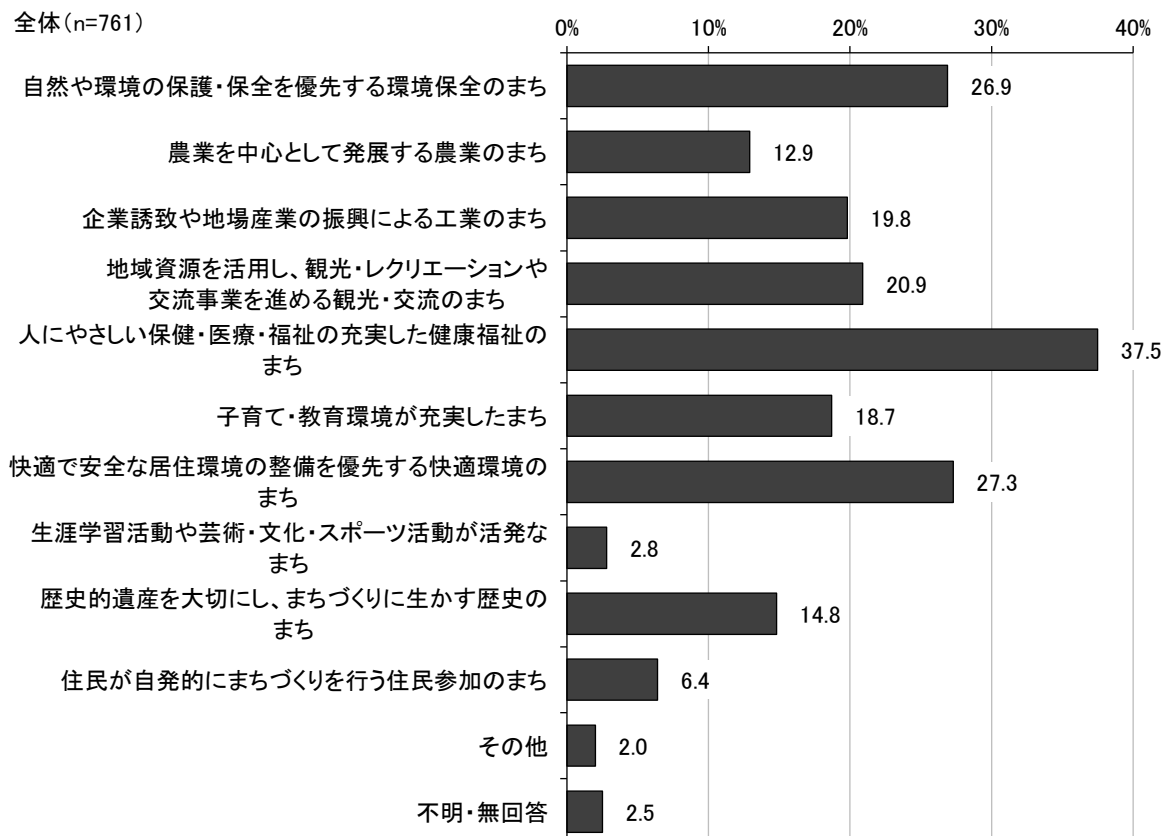
3. 今後のまちづくりの方向について

【問4（一般町民調査）／問7（中学生・高校生等調査）】

あなたは今後のまちづくりにおいて大多喜町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。

一般町民調査

今後どのような特色あるまちづくりをすべきだと考えるかについてみると、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康福祉のまち」が37.5%と最も高く、次いで「快適で安全な居住環境の整備を優先する快適環境のまち」が27.3%となっています。



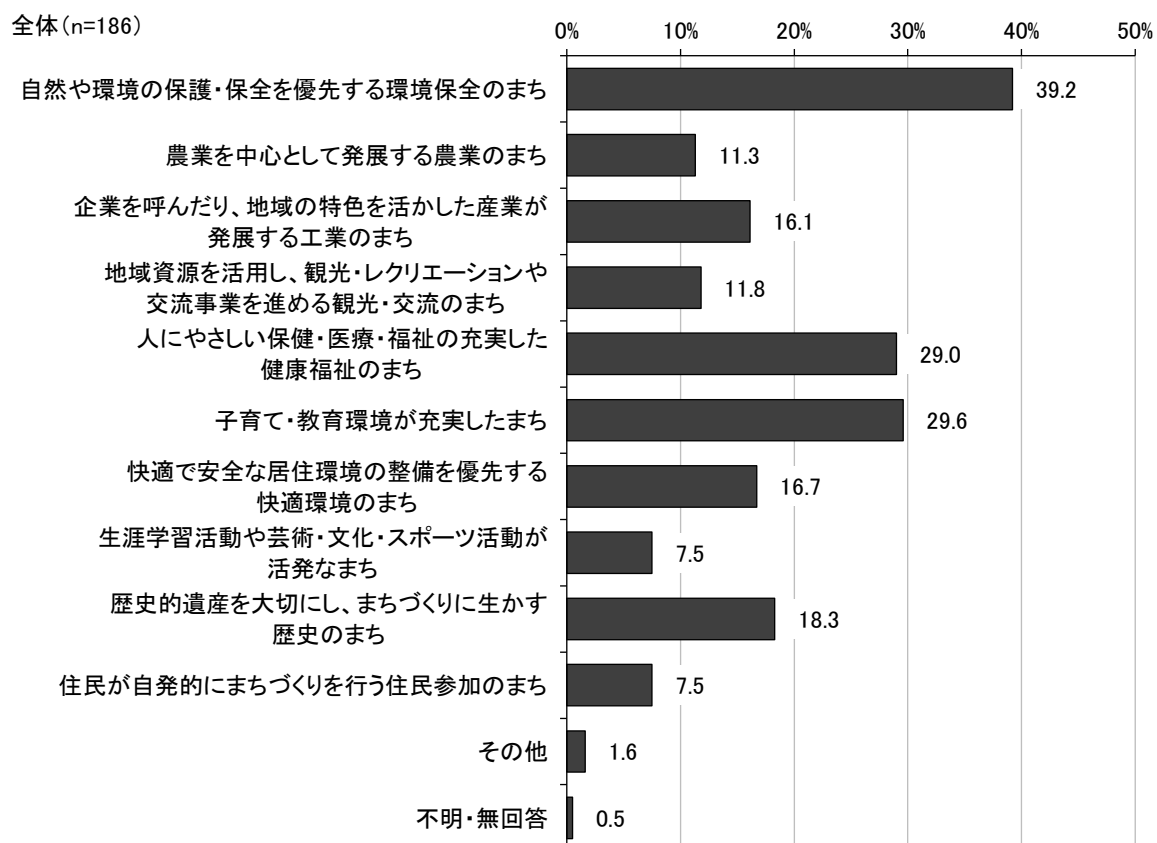
■年齡別

年齢別にみると、10・20 歳代では「自然や環境の保護・保全を優先する環境保全のまち」、50 歳代では「地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち」「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康福祉のまち」、その他の年齢では「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康福祉のまち」が最も高くなっています。また、10・20 歳代では「歴史的遺産を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち」において、その他の年齢に比べて高くなっています。

単位: %		先ず自然や環境保全のまち	農業のまち	企業誘致や地場産業の振興による工業のまち	地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康福祉のまち	子育て・教育環境が充実したまち	快適で安全な居住環境の整備を優先する快適環境のまち	生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発なまち	歴史的遺産を大切にし、まちづくり	住民が自発的にまちづくりを行う住民参加のまち	その他	不明・無回答
全体(n=761)		26.9	12.9	19.8	20.9	37.5	18.7	27.3	2.8	14.8	6.4	2.0	2.5
年齢別	10・20歳代(n=33)	36.4	12.1	18.2	24.2	15.2	27.3	33.3	0.0	21.2	0.0	0.0	3.0
	30歳代(n=56)	17.9	14.3	21.4	16.1	41.1	35.7	23.2	3.6	12.5	3.6	1.8	1.8
	40歳代(n=108)	16.7	12.0	19.4	25.0	33.3	31.5	26.9	3.7	16.7	5.6	1.9	0.9
	50歳代(n=108)	22.2	12.0	20.4	31.5	31.5	17.6	28.7	4.6	11.1	8.3	2.8	1.9
	60歳代(n=156)	29.5	10.9	21.8	17.9	39.7	17.3	34.0	1.9	12.8	4.5	1.9	1.3
	70歳以上(n=274)	32.1	14.6	19.0	17.5	40.5	11.3	23.7	2.6	17.2	9.1	2.2	3.3

中学生・高校生等調査

今後どのような特色あるまちづくりをすべきだと考えてみるかについてみると、「自然や環境の保護・保全を優先する環境保全のまち」が 39.2%と最も高く、次いで「子育て・教育環境が充実したまち」が 29.6%となっています。

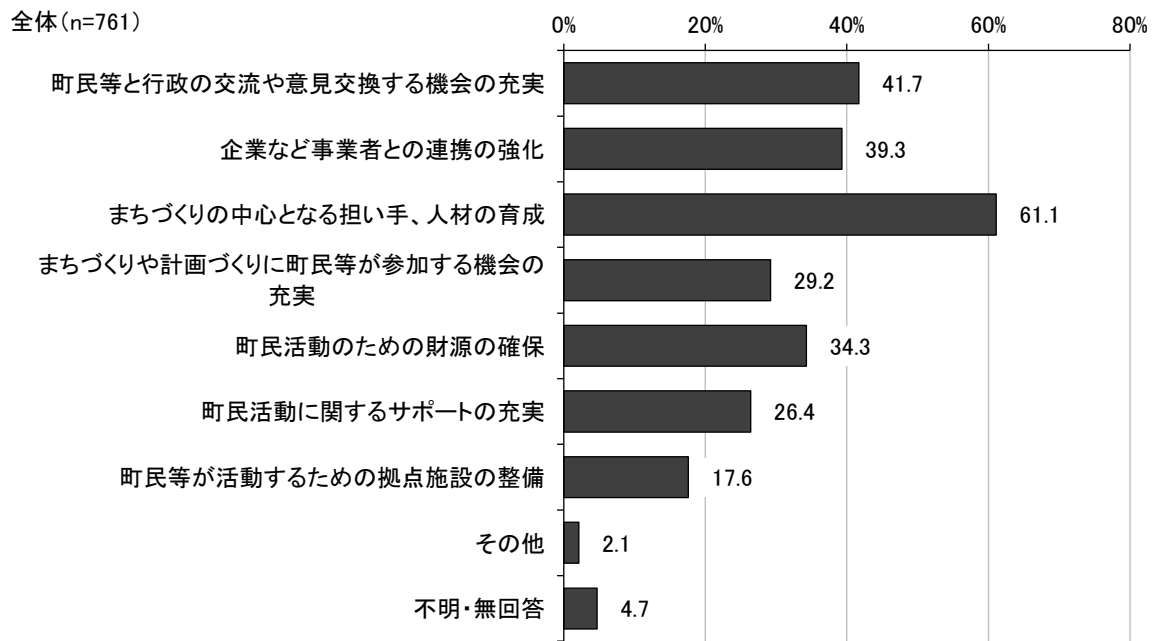


【問5（一般町民調査）】

町民や企業、団体と行政が協働してまちづくりを行う上で必要だと思うことは何ですか。

一般町民調査

町民や企業、団体と行政が協働してまちづくりを行う上で必要だと思うことについてみると、「まちづくりの中心となる担い手、人材の育成」が61.1%と最も高く、次いで「町民等と行政の交流や意見交換する機会の充実」が41.7%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、いずれも「まちづくりの中心となる担い手、人材の育成」が最も高くなっています。

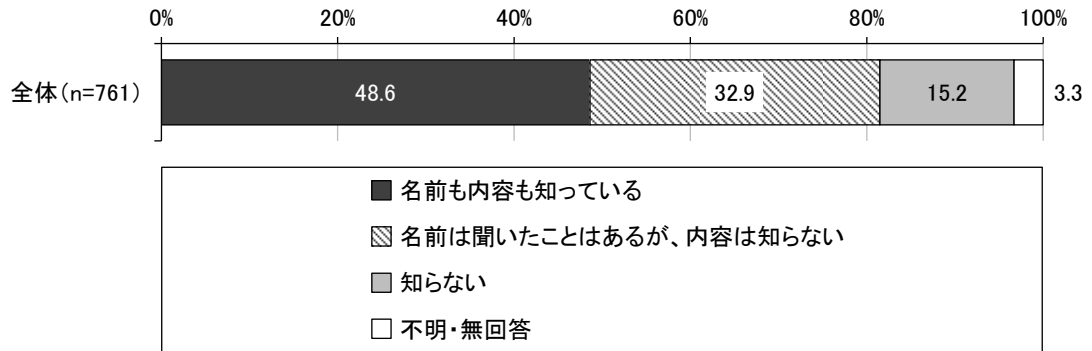
単位: %		町民等と行政の交流や意見交換する機会の充実	企業など事業者との連携の強化	まちづくりの中心となる担い手、人材の育成	まちづくりや計画づくりに町民等が参加する機会の充実	町民活動のための財源の確保	町民活動に関するサポートの充実	町民等が活動するための拠点施設の整備	その他	不明・無回答
全体(n=761)		41.7	39.3	61.1	29.2	34.3	26.4	17.6	2.1	4.7
年齢別	10・20歳代(n=33)	27.3	39.4	54.5	21.2	30.3	33.3	12.1	0.0	6.1
	30歳代(n=56)	39.3	46.4	51.8	32.1	33.9	21.4	14.3	1.8	3.6
	40歳代(n=108)	37.0	49.1	59.3	29.6	34.3	28.7	14.8	2.8	1.9
	50歳代(n=108)	38.9	42.6	61.1	27.8	42.6	29.6	19.4	0.9	3.7
	60歳代(n=156)	39.1	38.5	68.6	30.1	34.0	28.2	14.7	2.6	2.6
	70歳以上(n=274)	48.9	34.7	61.7	29.6	32.1	24.5	19.7	2.6	6.6

【問 6（一般町民調査）／問 9（中学生・高校生等調査）】

あなたは「SDGs」を知っていますか。

一般町民調査

「SDGs」を知っているかについてみると、「名前も内容も知っている」が 48.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」が 32.9%となっています。



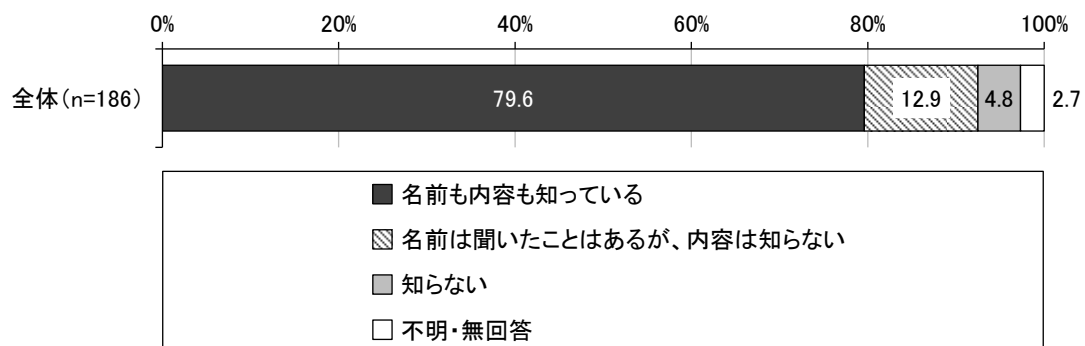
■年齢別

年齢別にみると、70 歳以上では「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」、60 歳代以下では「名前も内容も知っている」が最も高くなっています。また、年齢が下がるほど、「知らない」が低くなる傾向があります。

単位：%		名前も内容も知っている	名前は聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	不明・無回答
全体 (n=761)		48.6	32.9	15.2	3.3
年齢別	10・20歳代 (n=33)	69.7	21.2	6.1	3.0
	30歳代 (n=56)	57.1	37.5	3.6	1.8
	40歳代 (n=108)	69.4	25.0	4.6	0.9
	50歳代 (n=108)	66.7	24.1	7.4	1.9
	60歳代 (n=156)	53.8	31.4	13.5	1.3
	70歳以上 (n=274)	28.1	40.5	25.9	5.5

中学生・高校生等調査

「SDGs」を知っているかについてみると、「名前も内容も知っている」が 79.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」が 12.9%となっています。



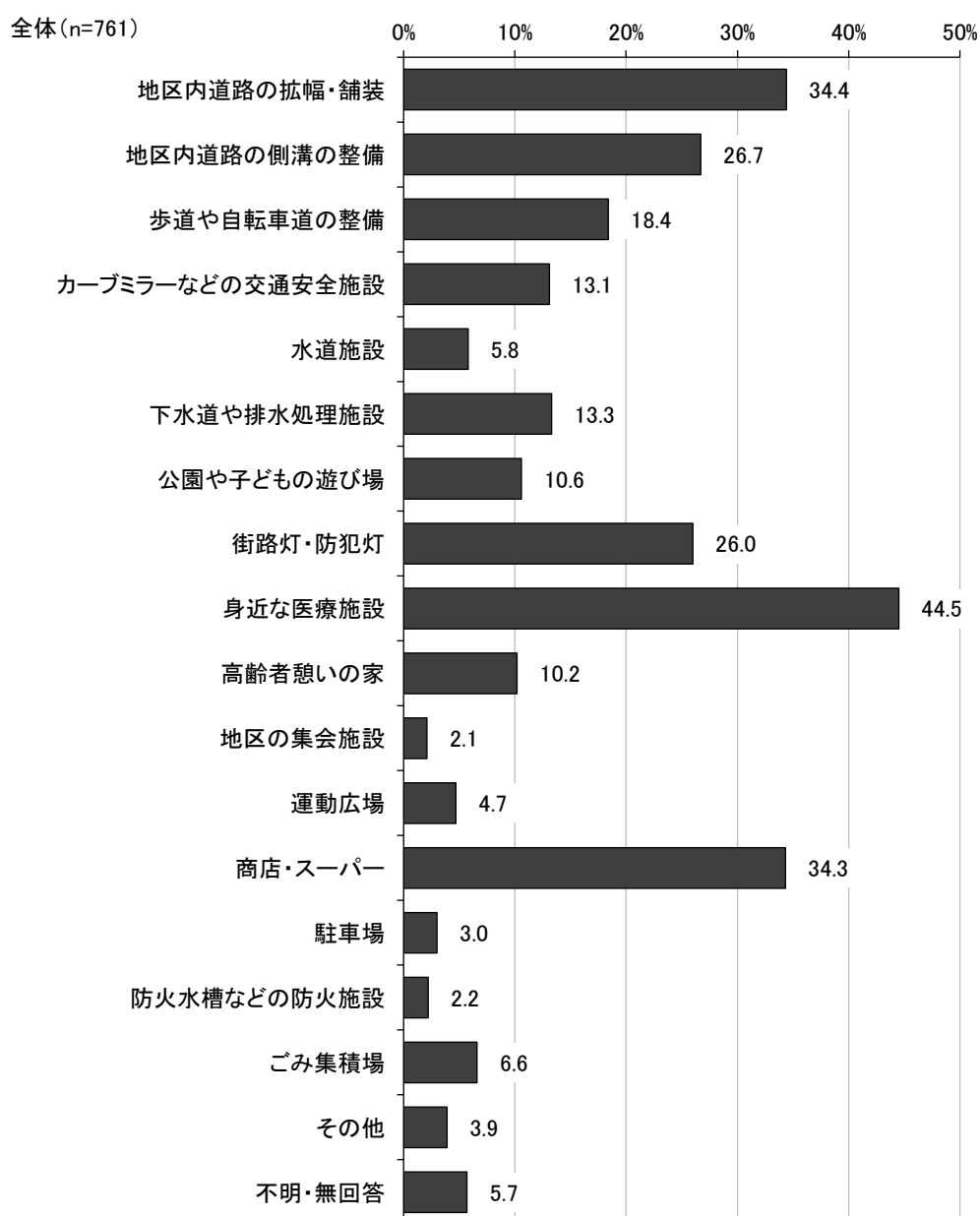
4. 生活環境整備のあり方について

【問7（一般町民調査）】

あなたのまわりの身近な生活環境を改善しようとする場合、特にどのような施設整備が必要だと思いますか。

一般町民調査

身近な生活環境の改善に必要な施設整備についてみると、「身近な医療施設」が 44.5%と最も高く、次いで「地区内道路の拡幅・舗装」が 34.4%となっています。



■年齢別・地区別

年齢別にみると、10・20 歳代では「街路灯・防犯灯」、30 歳代以上では「身近な医療施設」が最も高くなっています。また、30 歳代では「公園や子どもの遊び場」「商店・スーパー」において、その他の年齢に比べて高くなっています。

地区別にみると、西畑地区では「商店・スーパー」、その他の地区では「身近な医療施設」が最も高くなっています。

単位：％		地区内道路の 拡幅・舗装	地区内道路の 側溝の整備	歩道や自転車 道の整備	安全施設 カーブミラー などの交通	水道施設	下水道や排水 処理施設	公園や子ども の遊び場	街路灯・防 犯灯	身近な医療 施設
全体(n=761)		34.4	26.7	18.4	13.1	5.8	13.3	10.6	26.0	44.5
年 齢 別	10・20歳代(n=33)	36.4	12.1	36.4	18.2	3.0	9.1	24.2	39.4	21.2
	30歳代(n=56)	23.2	23.2	16.1	16.1	3.6	8.9	32.1	25.0	58.9
	40歳代(n=108)	35.2	18.5	25.0	11.1	6.5	7.4	19.4	32.4	49.1
	50歳代(n=108)	29.6	30.6	20.4	13.0	8.3	16.7	3.7	30.6	44.4
	60歳代(n=156)	40.4	18.6	17.3	13.5	6.4	12.2	9.0	26.3	45.5
	70歳以上(n=274)	35.8	35.4	14.2	13.1	5.1	16.1	4.7	21.2	42.7
地 区 別	老川地区(n=89)	52.8	31.5	9.0	13.5	11.2	4.5	2.2	22.5	53.9
	西畑地区(n=143)	44.8	24.5	10.5	10.5	4.2	11.2	7.0	25.9	45.5
	総元地区(n=107)	32.7	32.7	12.1	15.0	1.9	14.0	16.8	24.3	40.2
	大多喜地区(n=248)	23.4	24.2	29.0	14.1	6.5	13.7	13.3	27.0	44.4
	上瀑地区(n=126)	34.9	27.0	16.7	13.5	5.6	21.4	10.3	30.2	39.7

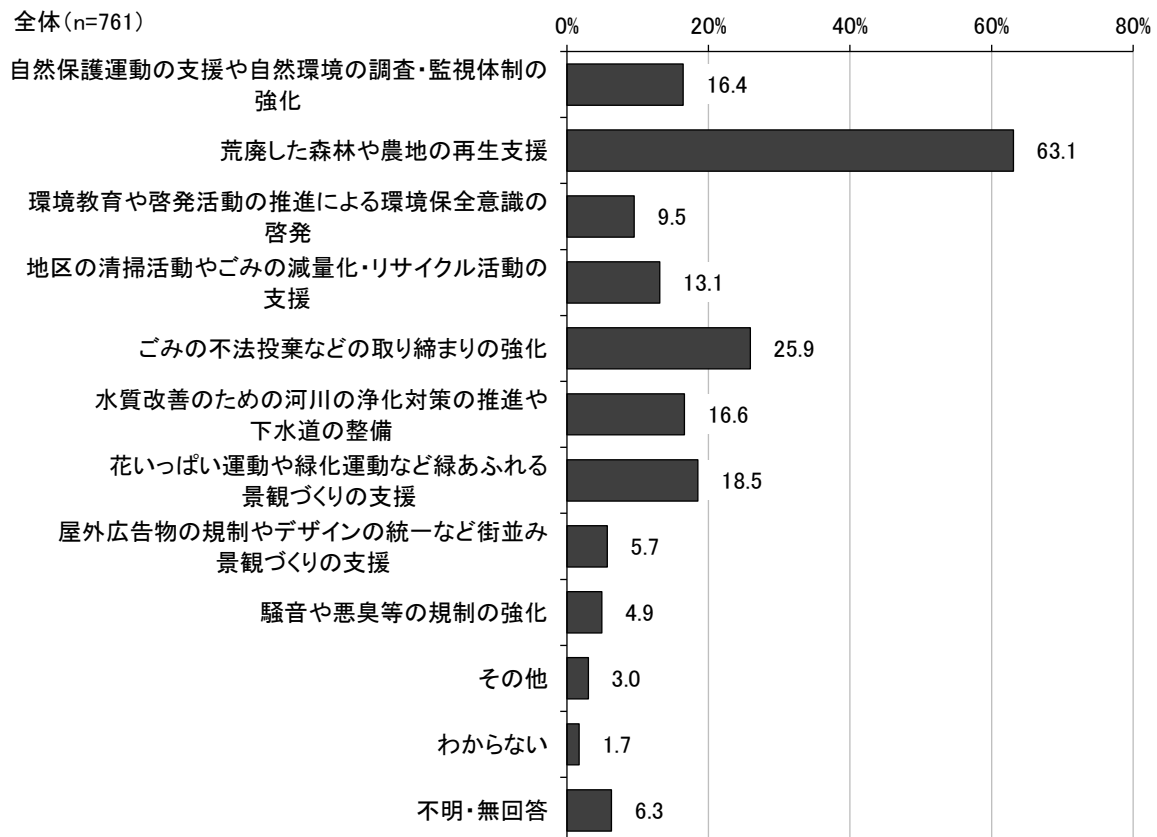
単位：％		高齢者憩いの 家	地区の集会 施設	運動広場	商店・スー パー	駐 車 場	防火水槽な どの防火施 設	ごみ集積 場	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=761)		10.2	2.1	4.7	34.3	3.0	2.2	6.6	3.9	5.7
年 齢 別	10・20歳代(n=33)	3.0	6.1	9.1	24.2	9.1	0.0	6.1	6.1	3.0
	30歳代(n=56)	5.4	0.0	7.1	50.0	0.0	1.8	3.6	1.8	3.6
	40歳代(n=108)	9.3	0.9	8.3	38.9	1.9	1.9	2.8	4.6	4.6
	50歳代(n=108)	8.3	3.7	2.8	34.3	4.6	0.0	11.1	4.6	2.8
	60歳代(n=156)	10.3	1.3	2.6	39.1	3.2	3.2	8.3	2.6	5.1
	70歳以上(n=274)	11.7	1.8	4.4	28.1	2.6	3.3	6.6	4.0	7.3
地 区 別	老川地区(n=89)	5.6	2.2	5.6	36.0	2.2	2.2	5.6	3.4	4.5
	西畑地区(n=143)	7.0	1.4	4.2	46.9	0.7	2.8	7.0	4.2	6.3
	総元地区(n=107)	12.1	2.8	4.7	29.0	7.5	1.9	2.8	3.7	8.4
	大多喜地区(n=248)	10.9	1.2	5.6	36.3	3.2	2.0	10.1	3.2	3.6
	上瀑地区(n=126)	11.9	2.4	2.4	22.2	2.4	3.2	2.4	4.0	4.8

【問 8（一般町民調査）】

あなたは、地域の自然環境や生活環境を美しくするためのまちづくりとして、特に何が必要だと考えますか。

一般町民調査

地域の自然環境や生活環境を美しくするためのまちづくりとして、特に必要なことについてみると、「荒廃した森林や農地の再生支援」が 63.1%と最も高く、次いで「ごみの不法投棄などの取り締まりの強化」が 25.9%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、いずれも「荒廃した森林や農地の再生支援」が最も高くなっています。

単位：%		自然保護・運動の調査・監視体制の強化	荒廃した森林や農地の再生支援	環境教育や啓発活動の推進による環境保全意識の啓発	地区・リサイクル活動やごみの減量化	ごみの不法投棄などの取り締まりの強化	水質改善のための河川の整備	花いっぱい運動や緑化運動など緑あふれる景観づくり運動の支援	屋外広告物の規制やデザインなどの街並み景観づくりの支援	騒音や悪臭等の規制の強化	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=761)		16.4	63.1	9.5	13.1	25.9	16.6	18.5	5.7	4.9	3.0	1.7	6.3
年齢別	10・20歳代(n=33)	12.1	48.5	9.1	24.2	33.3	18.2	30.3	12.1	3.0	3.0	0.0	3.0
	30歳代(n=56)	12.5	53.6	8.9	10.7	35.7	10.7	21.4	8.9	5.4	5.4	3.6	3.6
	40歳代(n=108)	13.0	58.3	12.0	12.0	22.2	10.2	22.2	13.0	7.4	3.7	2.8	5.6
	50歳代(n=108)	13.0	70.4	6.5	11.1	27.8	19.4	16.7	5.6	4.6	4.6	1.9	3.7
	60歳代(n=156)	18.6	69.9	8.3	12.2	25.0	21.8	17.3	3.8	4.5	4.5	0.6	3.8
	70歳以上(n=274)	19.0	63.5	10.6	13.5	24.8	15.7	16.8	2.6	4.0	1.1	1.8	8.4

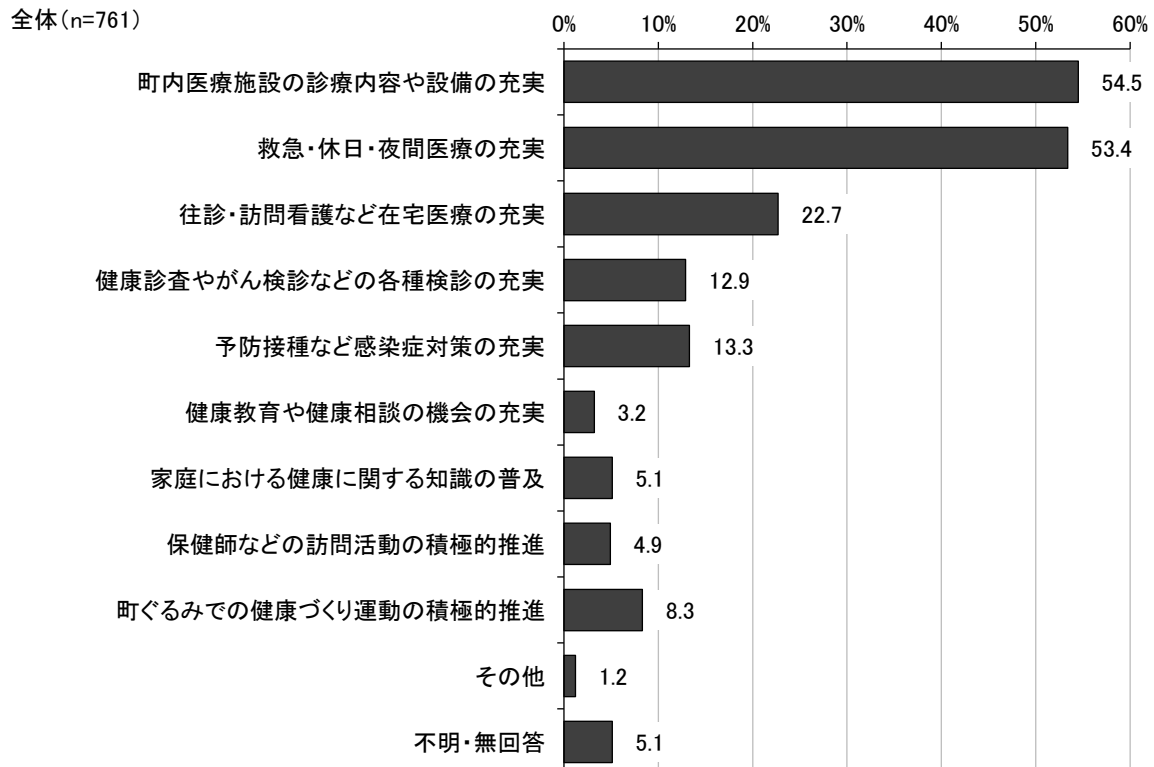
5. 保健・医療・福祉について

【問9（一般町民調査）】

あなたは、保健・医療施策について特にどのようなことを望まれますか。

一般町民調査

保健・医療施策に望むことについてみると、「町内医療施設の診療内容や設備の充実」が54.5%と最も高く、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」が53.4%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、10・20 歳代、40 歳代から 50 歳代では「救急・休日・夜間医療の充実」、30 歳代、60 歳代以上では「町内医療施設の診療内容や設備の充実」が最も高くなっています。また、年齢が上がるほど、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」が高くなっています。

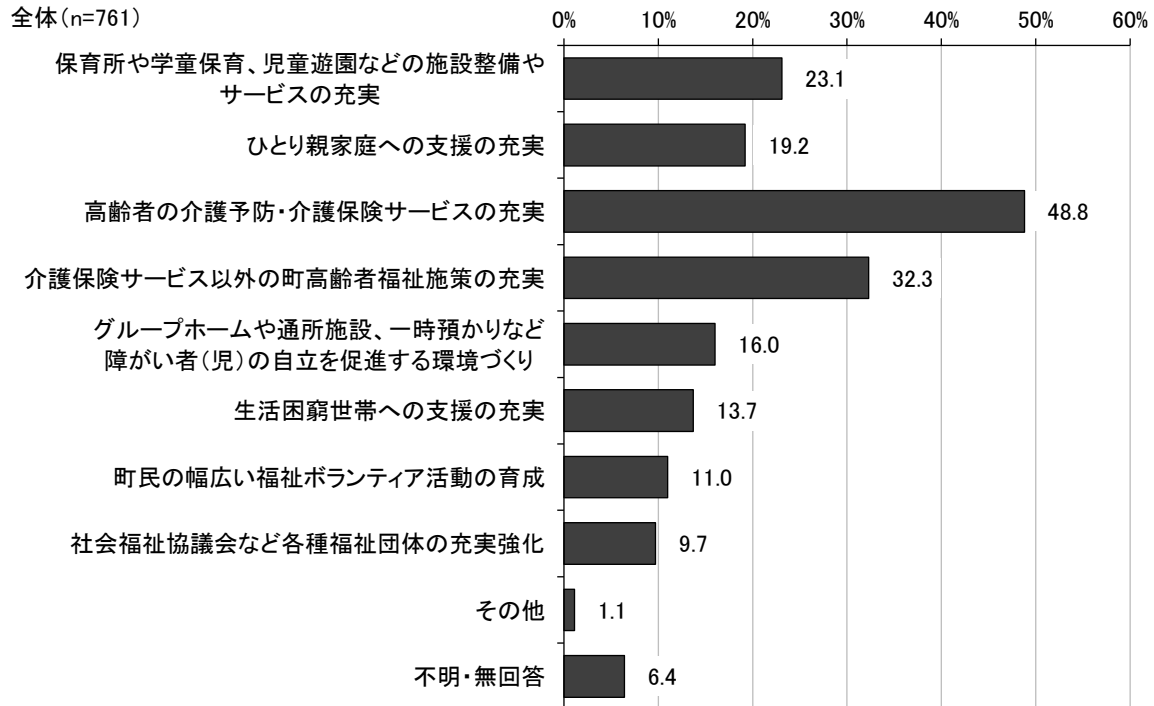
単位：％		町内医療施設の診療内容や設備の充実	救急・休日・夜間医療の充実	往診・訪問看護など在宅医療の充実	健康診査やがん検診などの各種検診の充実	予防接種など感染症対策の充実	健康教育や健康相談の機会の充実	家庭における健康に関する知識の普及	保健師などの訪問活動の積極的推進	町ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進	その他	不明・無回答
全体(n=761)		54.5	53.4	22.7	12.9	13.3	3.2	5.1	4.9	8.3	1.2	5.1
年齢別	10・20歳代(n=33)	60.6	63.6	3.0	12.1	21.2	6.1	9.1	3.0	0.0	3.0	3.0
	30歳代(n=56)	69.6	62.5	8.9	8.9	14.3	5.4	0.0	5.4	3.6	3.6	3.6
	40歳代(n=108)	60.2	75.0	19.4	10.2	7.4	0.9	3.7	0.9	3.7	1.9	3.7
	50歳代(n=108)	58.3	59.3	19.4	12.0	13.9	1.9	1.9	3.7	10.2	2.8	2.8
	60歳代(n=156)	59.0	45.5	25.6	18.6	13.5	3.2	5.1	3.8	8.3	0.0	3.2
	70歳以上(n=274)	45.3	44.5	29.6	11.3	13.9	3.3	7.7	8.0	10.9	0.4	7.7

【問 10（一般町民調査）】

福祉施策をさらに充実させるためには、どのような施策が特に重要だと思いますか。

一般町民調査

福祉施策の充実に重要な施策についてみると、「高齢者の介護予防・介護保険サービスの充実」が 48.8%と最も高く、次いで「介護保険サービス以外の町高齢者福祉施策の充実」が 32.3%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、10・20 歳代では「ひとり親家庭への支援の充実」、30 歳代では「保育所や学童保育、児童遊園などの施設整備やサービスの充実」、40 歳代以上では「高齢者の介護予防・介護保険サービスの充実」が最も高くなっています。

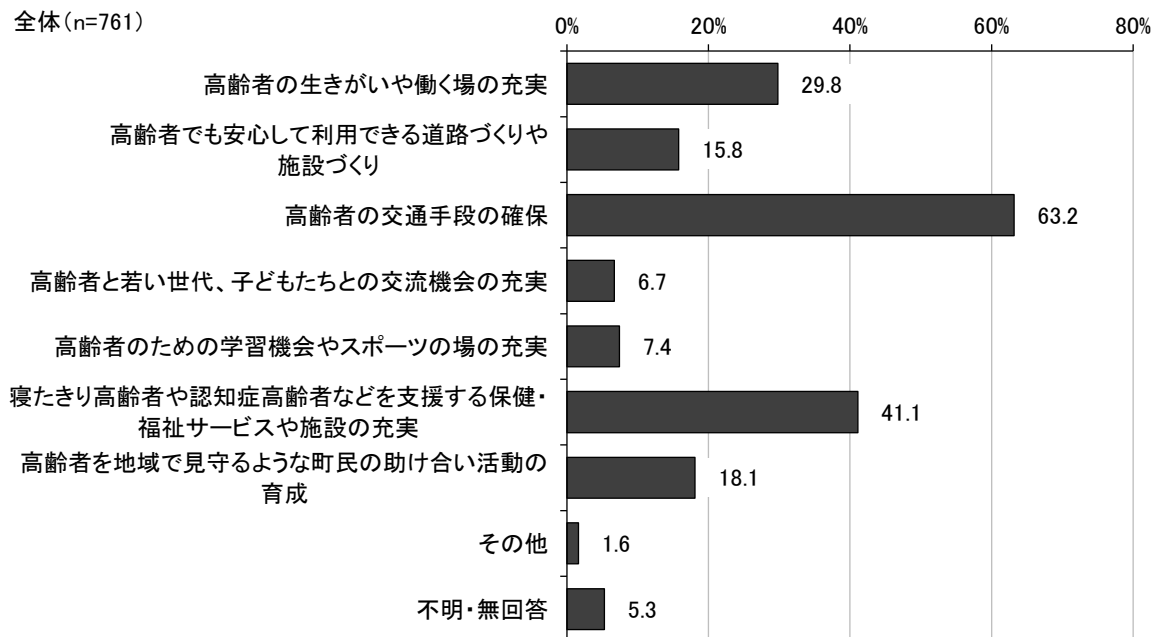
単位：％		の施設整備やサービスの充実	ひとり親家庭への支援の充実	高齢者の介護予防・介護保険サービスの充実	福祉施設策の充実	グループホームや通所施設、一時預かりなど障がい者（児）の自立を促進する環境づくり	生活困窮世帯への支援の充実	町民の幅広い福祉ボランティア活動の育成	社会福祉協議会など各種福祉団体の充実強化	その他	不明・無回答
全体（n=761）		23.1	19.2	48.8	32.3	16.0	13.7	11.0	9.7	1.1	6.4
年齢別	10・20歳代（n=33）	30.3	42.4	36.4	9.1	18.2	18.2	12.1	9.1	0.0	3.0
	30歳代（n=56）	51.8	23.2	28.6	14.3	19.6	10.7	12.5	7.1	5.4	5.4
	40歳代（n=108）	38.0	16.7	48.1	31.5	17.6	10.2	6.5	7.4	0.9	3.7
	50歳代（n=108）	15.7	15.7	48.1	38.0	15.7	17.6	13.0	9.3	1.9	5.6
	60歳代（n=156）	19.9	16.7	52.6	37.2	21.8	14.7	9.6	11.5	0.0	3.2
	70歳以上（n=274）	15.0	19.0	52.2	35.8	12.4	12.4	12.4	10.6	0.7	9.9

【問 11（一般町民調査）】

これからの本格的な高齢化社会に対応していくため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

一般町民調査

高齢化社会に対応していくために力を入れるべきことについてみると、「高齢者の交通手段の確保」が63.2%と最も高く、次いで「寝たきり高齢者や認知症高齢者などを支援する保健・福祉サービスや施設の充実」が41.1%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、いずれも「高齢者の交通手段の確保」が最も高くなっています。

単位：%		高齢者の生きがいや働く場の充実	高齢者でも安心して利用できる道路づくりや施設づくり	高齢者の交通手段の確保	高齢者と若い世代、子どもたちとの交流機会の充実	高齢者のための学習機会やスポーツの場の充実	寝たきり高齢者や認知症高齢者などを支援する保健・福祉サービスや施設の充実	高齢者を地域で見守るような町民の助け合い活動の育成	その他	不明・無回答
全体(n=761)		29.8	15.8	63.2	6.7	7.4	41.1	18.1	1.6	5.3
年齢別	10・20歳代(n=33)	21.2	39.4	51.5	9.1	18.2	30.3	12.1	3.0	3.0
	30歳代(n=56)	33.9	12.5	55.4	17.9	8.9	37.5	12.5	1.8	5.4
	40歳代(n=108)	43.5	14.8	62.0	6.5	3.7	36.1	18.5	1.9	3.7
	50歳代(n=108)	42.6	12.0	66.7	6.5	7.4	36.1	16.7	1.9	2.8
	60歳代(n=156)	30.1	15.4	67.3	5.8	4.5	51.3	16.0	0.6	2.6
	70歳以上(n=274)	21.5	16.4	62.8	4.4	8.8	41.2	21.2	1.8	7.7

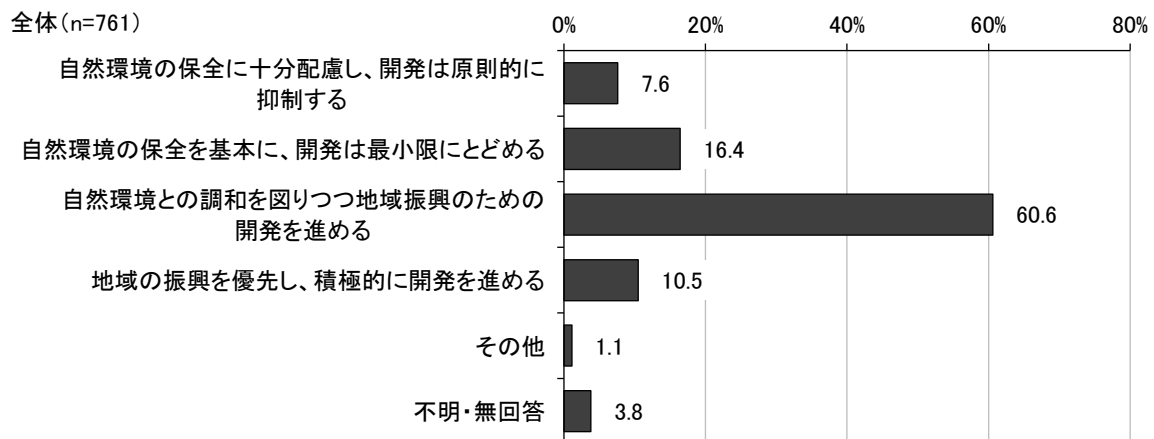
6. 土地利用について

【問 12（一般町民調査）】

これからの地域開発と自然保護のあり方について、基本的にどのような方向で考えていくべきだと思いますか。

一般町民調査

地域開発と自然保護のあり方の方向性についてみると、「自然環境との調和を図りつつ地域振興のための開発を進める」が60.6%と最も高く、次いで「自然環境の保全を基本に、開発は最小限にとどめる」が16.4%となっています。



■年齢別・地区別

年齢別にみると、いずれも「自然環境との調和を図りつつ地域振興のための開発を進める」が最も高くなっています。

地区別にみると、いずれも「自然環境との調和を図りつつ地域振興のための開発を進める」が最も高くなっています。

単位：％		し、自然 開発は 原則的 に十分 抑制す る	発自然 は環境 の保全 に基本 に、開	る地 域自然 振興の ための 調和を 図りつ つめつ	に地 域の開 発を進 めるを 優先し 、積極 的	そ の 他	不 明・ 無回 答
全体 (n=761)		7.6	16.4	60.6	10.5	1.1	3.8
年 齢 別	10・20歳代 (n=33)	12.1	15.2	57.6	12.1	3.0	0.0
	30歳代 (n=56)	3.6	17.9	58.9	12.5	1.8	5.4
	40歳代 (n=108)	11.1	10.2	61.1	13.9	2.8	0.9
	50歳代 (n=108)	12.0	22.2	54.6	8.3	0.0	2.8
	60歳代 (n=156)	7.1	14.1	64.1	10.3	1.3	3.2
	70歳以上 (n=274)	5.1	16.4	63.5	10.2	0.4	4.4
地 区 別	老川地区 (n=89)	5.6	16.9	59.6	13.5	0.0	4.5
	西畑地区 (n=143)	11.9	11.9	61.5	11.2	1.4	2.1
	総元地区 (n=107)	6.5	17.8	66.4	7.5	1.9	0.0
	大多喜地区 (n=248)	7.7	15.7	64.5	8.1	0.4	3.6
	上瀑地区 (n=126)	3.2	20.6	54.8	15.9	1.6	4.0

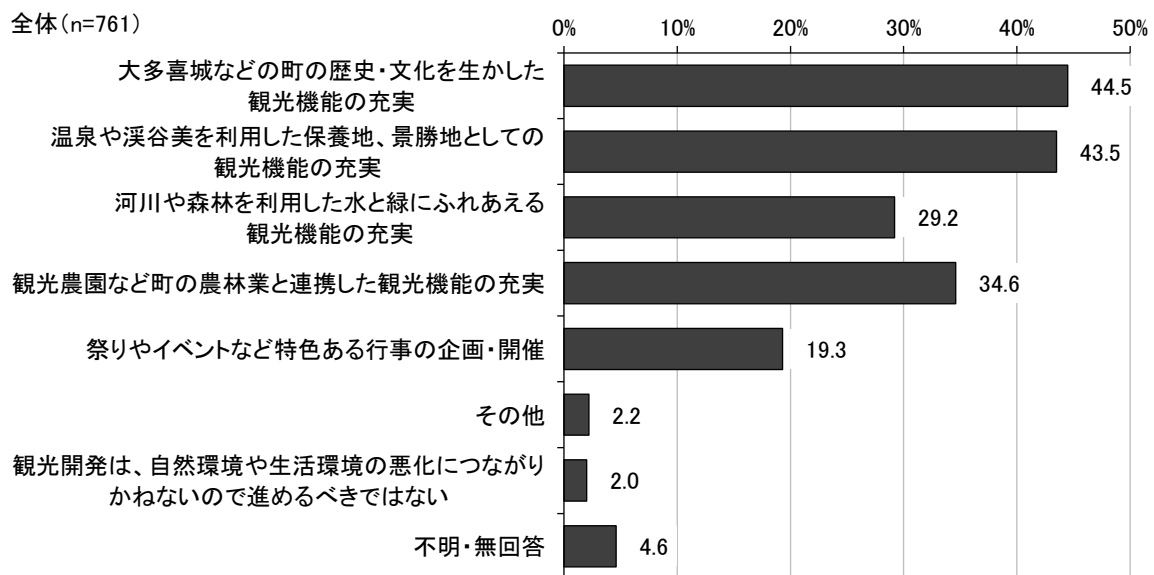
7. 観光振興について

【問 13（一般町民調査）／問 12（中学生・高校生等調査）】

あなたは、町の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

一般町民調査

町の観光・レクリエーション開発・振興のために力を入れるべきことについてみると、「大多喜城などの町の歴史・文化を生かした観光機能の充実」が 44.5%と最も高く、次いで「温泉や溪谷美を利用した保養地、景勝地としての観光機能の充実」が 43.5%となっています。



■年齢別・地区別

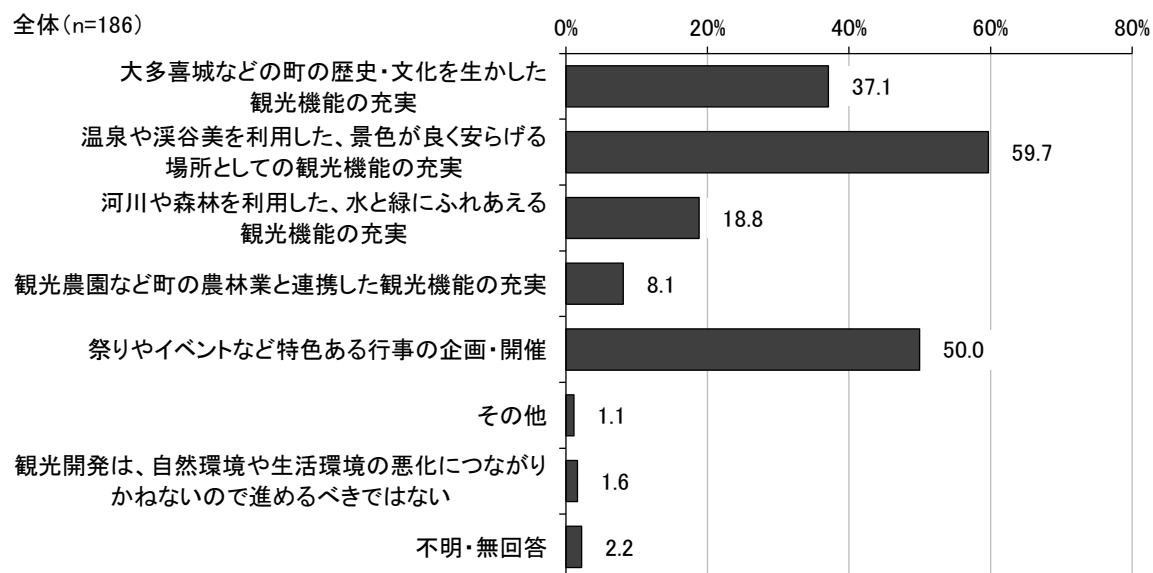
年齢別にみると、10・20 歳代、60 歳代以上では「大多喜城などの町の歴史・文化を生かした観光機能の充実」、30 歳代から 50 歳代では「温泉や溪谷美を利用した保養地、景勝地としての観光機能の充実」が最も高くなっています。また、10・20 歳代では「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」において、その他の年齢に比べて高くなっています。

地区別にみると、老川地区では「温泉や溪谷美を利用した保養地、景勝地としての観光機能の充実」、その他の地区では「大多喜城などの町の歴史・文化を生かした観光機能の充実」が最も高くなっています。

単位：%		大多喜城などの観光機能の充実	温泉や溪谷美を利用した観光機能の充実	河川や森林を利用した水と緑	観光農園などの観光機能の充実	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催	その他	観光開発は、自然環境や生活環境の悪化に、つきが環境はいい	不明・無回答
全体 (n=761)		44.5	43.5	29.2	34.6	19.3	2.2	2.0	4.6
年齢別	10・20歳代 (n=33)	54.5	51.5	24.2	15.2	45.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=56)	41.1	51.8	23.2	25.0	35.7	5.4	0.0	3.6
	40歳代 (n=108)	42.6	51.9	26.9	26.9	31.5	3.7	1.9	0.0
	50歳代 (n=108)	42.6	54.6	25.0	32.4	18.5	3.7	0.0	2.8
	60歳代 (n=156)	44.2	42.9	32.1	42.3	11.5	1.3	1.3	4.5
	70歳以上 (n=274)	45.6	35.4	32.1	39.4	12.4	1.5	4.0	6.2
地区別	老川地区 (n=89)	32.6	59.6	38.2	29.2	9.0	2.2	3.4	3.4
	西畑地区 (n=143)	44.8	42.7	28.0	40.6	15.4	2.8	3.5	2.1
	総元地区 (n=107)	43.0	41.1	35.5	33.6	21.5	0.0	1.9	2.8
	大多喜地区 (n=248)	50.0	44.0	24.6	31.9	22.6	3.6	1.2	3.6
	上瀑地区 (n=126)	47.6	40.5	29.4	37.3	23.0	0.8	0.8	5.6

中学生・高校生等調査

町の観光を盛り上げるために力を入れるべきことについてみると、「温泉や溪谷美を利用した、景色が良く安らげる場所としての観光機能の充実」が 59.7%と最も高く、次いで「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が 50.0%となっています。

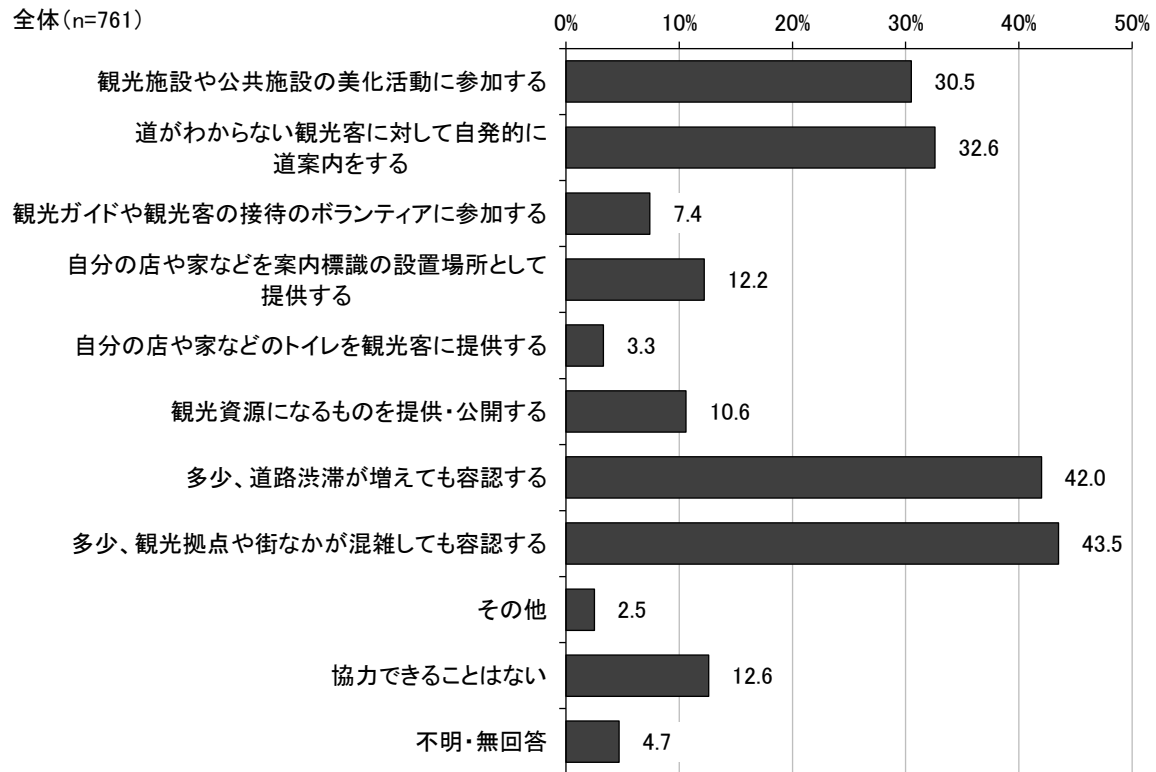


【問 14（一般町民調査）】

あなたは、町の観光振興のために、どのような形で協力できると思いますか。

一般町民調査

町の観光振興のために協力できることについてみると、「多少、観光拠点や街なかが混雑しても容認する」が43.5%と最も高く、次いで「多少、道路渋滞が増えても容認する」が42.0%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、10・20 歳代、70 歳以上では「多少、道路渋滞が増えても容認する」、その他の年齢では「多少、観光拠点や街なか混雑しても容認する」が最も高くなっています。また、10・20 歳代では「道がわからない観光客に対して自発的に道案内をする」において、その他の年齢に比べて高くなっています。

単位：%		観光施設や公共施設の美化活動に参加する	道がわからずに道案内を観光客に対して自発的に道案内をする	観光ガイドや観光客の接遇の向上に観光客の参加を促す	自分の店や家などを案内標識の設置場所として提供する	自分の店や家などのトイレを観光客に提供する	観光資源になるものを提供・公開する	多少、道路渋滞が増えても容認する	多少、観光拠点や街なか混雑しても容認する	その他	協力できることはない	不明・無回答
全体(n=761)		30.5	32.6	7.4	12.2	3.3	10.6	42.0	43.5	2.5	12.6	4.7
年齢別	10・20歳代(n=33)	30.3	45.5	15.2	3.0	3.0	15.2	54.5	39.4	6.1	9.1	0.0
	30歳代(n=56)	21.4	28.6	1.8	8.9	3.6	5.4	46.4	48.2	1.8	12.5	5.4
	40歳代(n=108)	27.8	27.8	3.7	10.2	2.8	9.3	42.6	48.1	5.6	15.7	1.9
	50歳代(n=108)	36.1	29.6	9.3	11.1	1.9	10.2	41.7	51.9	1.9	11.1	1.9
	60歳代(n=156)	34.0	30.8	9.0	14.7	1.9	9.0	44.2	45.5	1.3	9.6	3.8
	70歳以上(n=274)	29.2	36.5	6.9	13.9	4.7	13.1	40.1	38.7	2.2	14.2	5.8

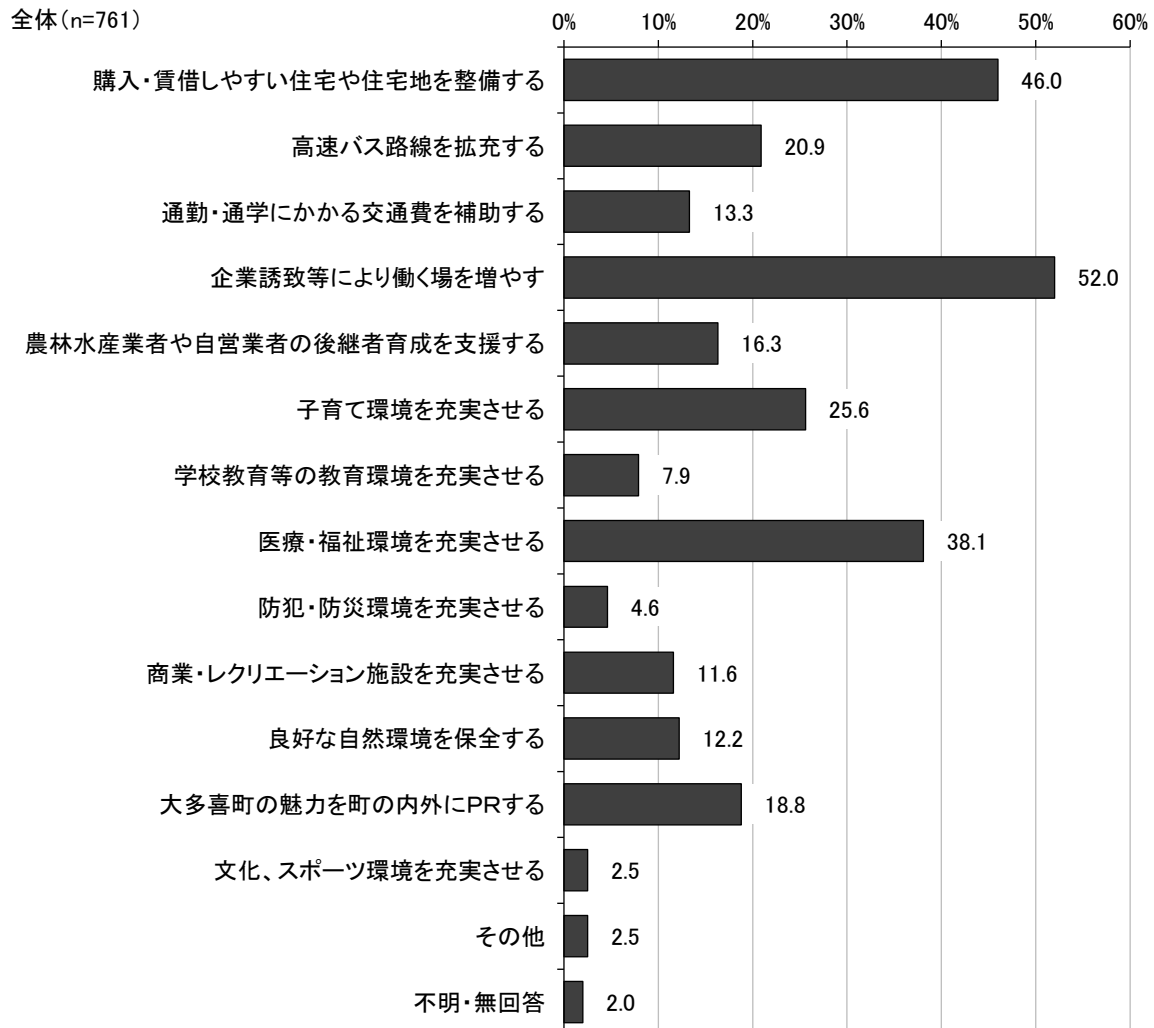
8. 定住の促進について

【問 15（一般町民調査）／問 8（中学生・高校生等調査）】

あなたは、大多喜町に住む人を増やすために、町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

一般町民調査

住む人を増やすために町が力を入れるべきことについてみると、「企業誘致等により働く場を増やす」が 52.0%と最も高く、次いで「購入・賃借しやすい住宅や住宅地を整備する」が 46.0%となっています。



■年齢別・居住経験別

年齢別にみると、10・20歳代では「購入・賃借しやすい住宅や住宅地を整備する」「通勤・通学にかかる交通費を補助する」、30歳代では「医療・福祉環境を充実させる」、40歳代では「購入・賃借しやすい住宅や住宅地を整備する」、50歳代以上では「企業誘致等により働く場を増やす」が最も高くなっています。

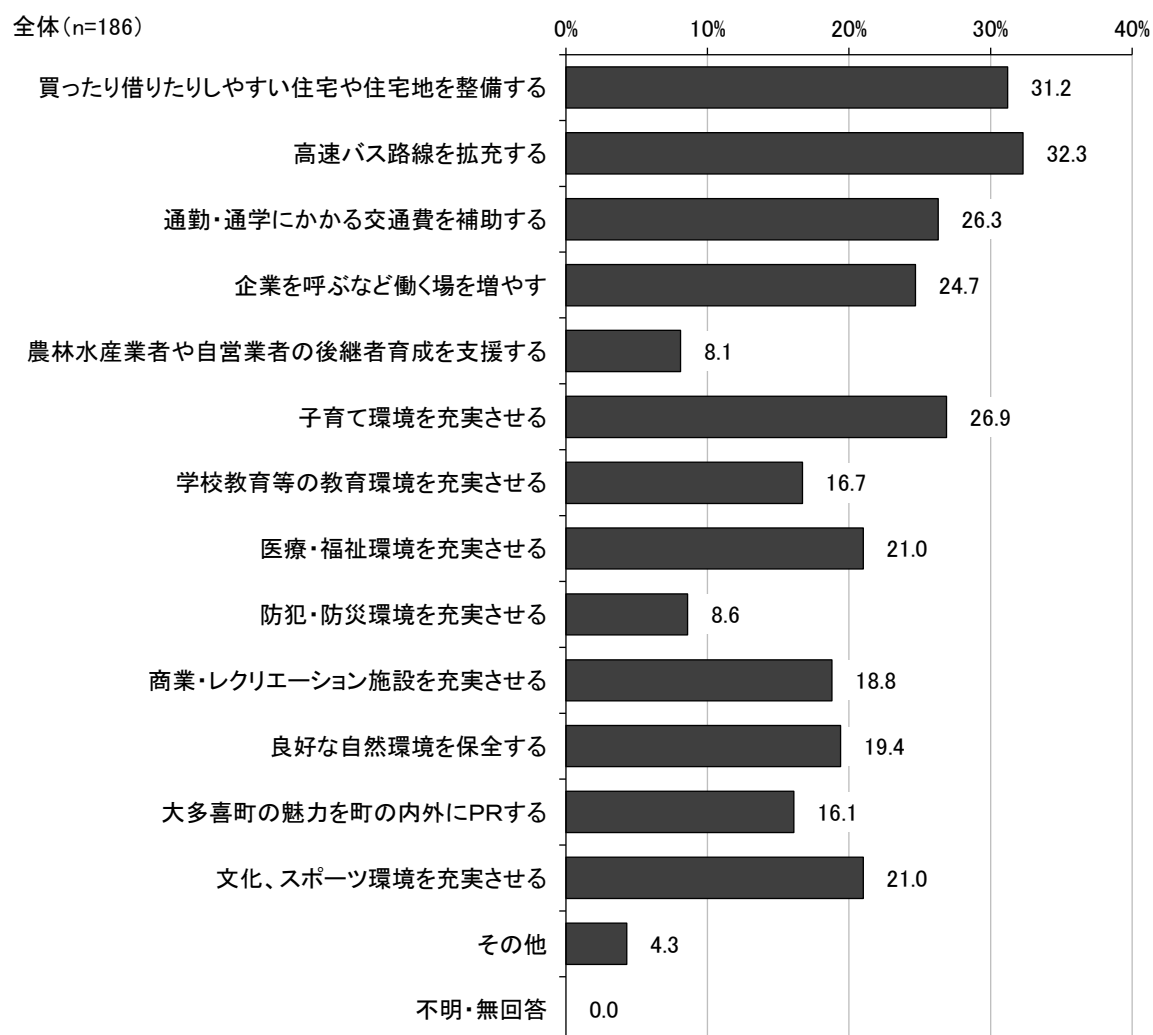
居住経験別にみると、「他の市町村から転入してきた」では「購入・賃借しやすい住宅や住宅地を整備する」「企業誘致等により働く場を増やす」、その他の区分では「企業誘致等により働く場を増やす」が最も高くなっています。

単位：％		や購入・賃借しやすい住宅地を整備する	高速バス路線を拡充する	通勤・通学にかかる交通費を補助する	企業誘致等により働く場を増やす	農林水産業者や自営業者の後継者育成を支援する	子育て環境を充実させる	学校教育等の教育環境を充実させる	医療・福祉環境を充実させる
全体(n=761)		46.0	20.9	13.3	52.0	16.3	25.6	7.9	38.1
年齢別	10・20歳代(n=33)	48.5	33.3	48.5	36.4	6.1	36.4	9.1	18.2
	30歳代(n=56)	44.6	23.2	16.1	46.4	12.5	42.9	3.6	55.4
	40歳代(n=108)	53.7	25.9	25.0	42.6	14.8	28.7	6.5	37.0
	50歳代(n=108)	42.6	27.8	13.9	50.9	13.9	19.4	6.5	42.6
	60歳代(n=156)	53.8	18.6	8.3	59.0	17.9	29.5	6.4	37.8
	70歳以上(n=274)	41.2	16.8	6.9	55.5	19.0	20.1	10.2	35.8
居住経験別	大多喜町に生まれてからずっと住んでいる(n=221)	44.8	16.3	12.2	53.8	19.9	27.6	8.6	36.2
	大多喜町の出身で、今も大多喜町に住んでいるが、町外での居住経験がある(n=187)	52.9	23.0	11.8	61.5	13.4	26.2	7.0	38.5
	他の市町村から転入してきた(n=204)	43.6	24.0	14.7	43.6	15.2	26.0	8.3	42.2

単位：％		防犯・防災環境を充実させる	商業・レクリエーション施設を充実させる	良好な自然環境を保全する	大多喜町の魅力を町の内外にPRする	文化・スポーツ環境を充実させる	その他	不明・無回答
全体(n=761)		4.6	11.6	12.2	18.8	2.5	2.5	2.0
年齢別	10・20歳代(n=33)	3.0	24.2	9.1	15.2	3.0	0.0	0.0
	30歳代(n=56)	3.6	16.1	0.0	8.9	1.8	3.6	1.8
	40歳代(n=108)	3.7	17.6	3.7	9.3	3.7	2.8	0.0
	50歳代(n=108)	2.8	13.9	18.5	15.7	4.6	1.9	0.9
	60歳代(n=156)	3.8	10.9	10.3	18.6	0.6	1.9	0.6
	70歳以上(n=274)	5.5	6.6	17.9	26.6	2.6	2.9	2.9
居住経験別	大多喜町に生まれてからずっと住んでいる(n=221)	6.8	9.5	9.0	20.8	1.8	3.2	1.4
	大多喜町の出身で、今も大多喜町に住んでいるが、町外での居住経験がある(n=187)	2.1	10.2	13.4	12.3	3.2	2.1	1.1
	他の市町村から転入してきた(n=204)	3.9	16.7	12.7	21.1	2.9	2.0	1.5

中学生・高校生等調査

住む人を増やすために町が力を入れるべきことについてみると、「高速バス路線を拡充する」が32.3%と最も高く、次いで「買ったり借りたりしやすい住宅や住宅地を整備する」が31.2%となっています。

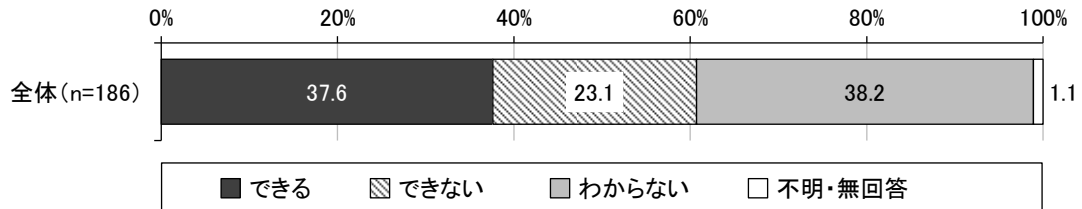


【問 2（中学生・高校生等調査）】

あなたが社会人として働いているところをイメージできますか。

中学生・高校生等調査

社会人として働いているところをイメージできるかについてみると、「わからない」が 38.2%と最も高く、次いで「できる」が 37.6%となっています。

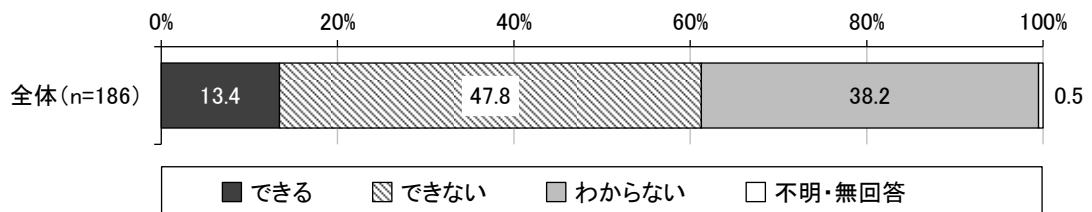


【問 3（中学生・高校生等調査）】

あなたが大多喜町に住みながら働いているところをイメージできますか。

中学生・高校生等調査

大多喜町に住みながら働いているところをイメージできるかについてみると、「できない」が 47.8%と最も高く、次いで「わからない」が 38.2%となっています。



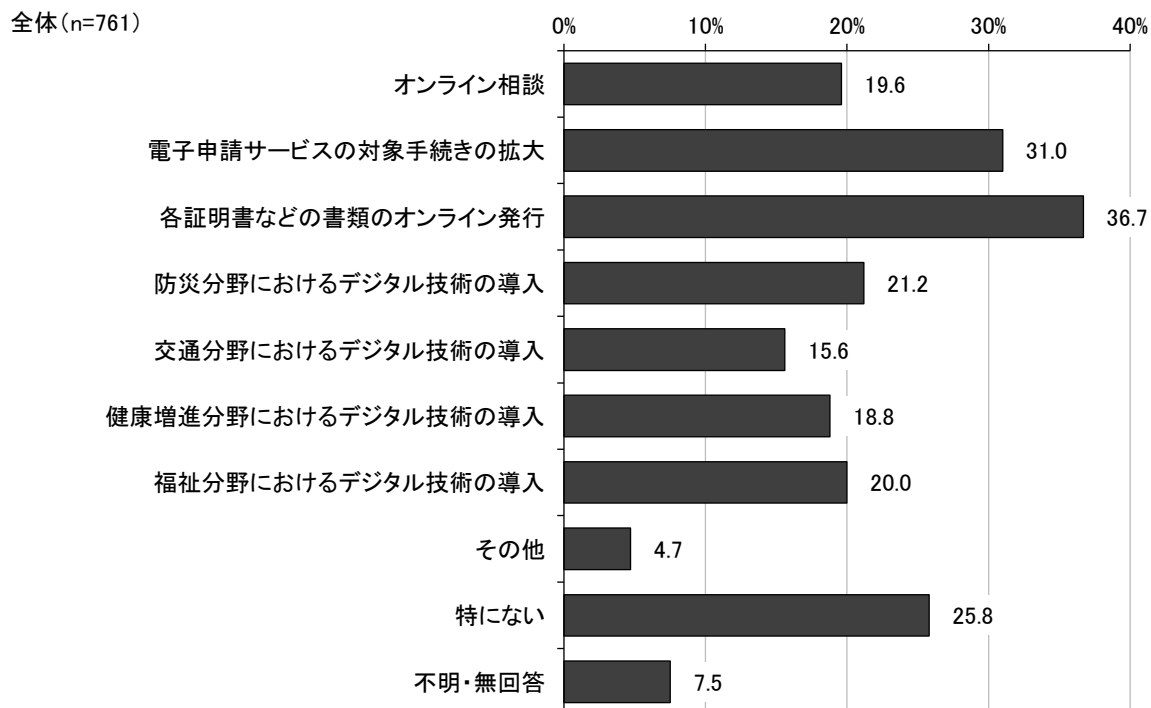
9. 行財政改革について

【問 16（一般町民調査）】

あなたは、デジタル技術の活用について、どのようなサービスを希望しますか。

一般町民調査

デジタル技術の活用で希望するサービスについてみると、「各証明書などの書類のオンライン発行」が36.7%と最も高く、次いで「電子申請サービスの対象手続きの拡大」が31.0%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、70 歳以上では「特にない」、60 歳代以下では「各証明書などの書類のオンライン発行」が最も高くなっています。

単位：%		オンライン相談	電子申請サービスの対象手続きの拡大	各証明書などの書類のオンライン発行	防災分野におけるデジタル技術の導入	交通分野におけるデジタル技術の導入	健康増進分野におけるデジタル技術の導入	福祉分野におけるデジタル技術の導入	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=761)		19.6	31.0	36.7	21.2	15.6	18.8	20.0	4.7	25.8	7.5
年齢別	10・20歳代(n=33)	21.2	48.5	54.5	24.2	33.3	18.2	12.1	0.0	15.2	3.0
	30歳代(n=56)	30.4	42.9	50.0	28.6	19.6	17.9	28.6	1.8	5.4	5.4
	40歳代(n=108)	24.1	51.9	57.4	25.0	23.1	19.4	16.7	1.9	16.7	0.0
	50歳代(n=108)	16.7	45.4	47.2	27.8	24.1	16.7	18.5	6.5	22.2	2.8
	60歳代(n=156)	15.4	29.5	35.3	15.4	11.5	17.9	18.6	5.1	32.1	3.8
	70歳以上(n=274)	18.6	15.3	23.0	19.7	9.5	20.1	22.3	6.2	31.8	13.5

【問 17（一般町民調査）】

大多喜町の公共施設や行政サービス（上下水道、ごみ処理、出産・育児・介護などにかかる費用の補助金制度等、町が行うサービス）に関する次の①～④の各項目について、あなたはどのようにお考えですか。

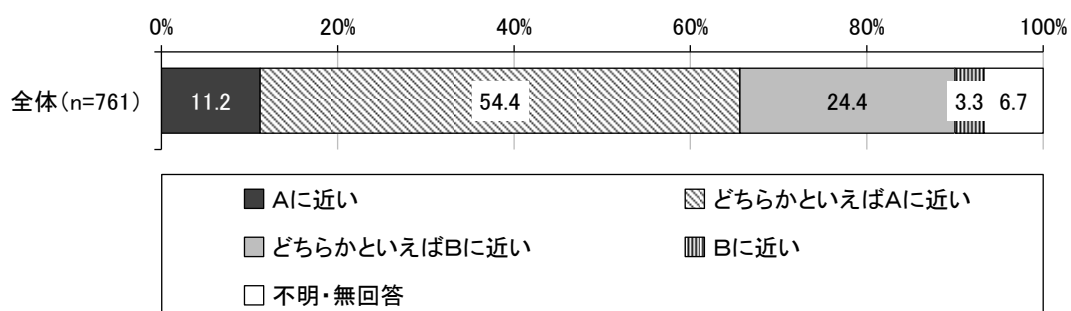
一般町民調査

①公共施設の過不足感

A：公共施設は不足している

⇔ B：公共施設は過剰である

公共施設の過不足感についてみると、「どちらかといえばAに近い」が 54.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばBに近い」が 24.4%となっています。

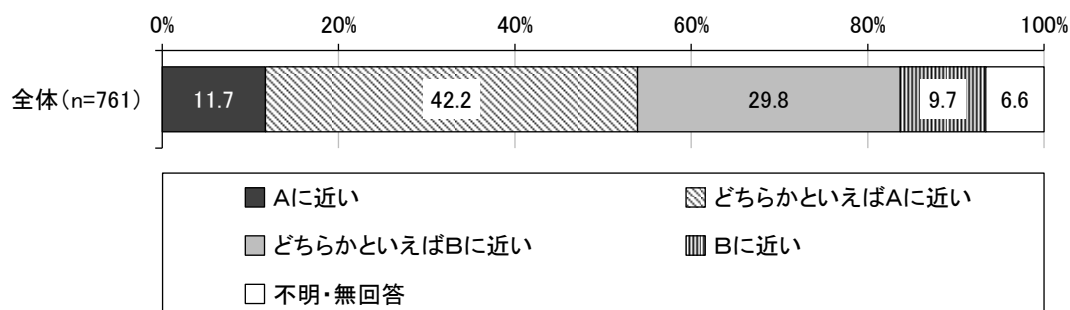


②公共施設の維持・統廃合

A：使用料等の負担が増えても、公共施設は現状のまま維持していくべきである

⇔ B：使用料等の負担を増やしてまで、公共施設を現状のまま維持していく必要はない

公共施設の維持・統廃合についてみると、「どちらかといえばAに近い」が42.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばBに近い」が29.8%となっています。

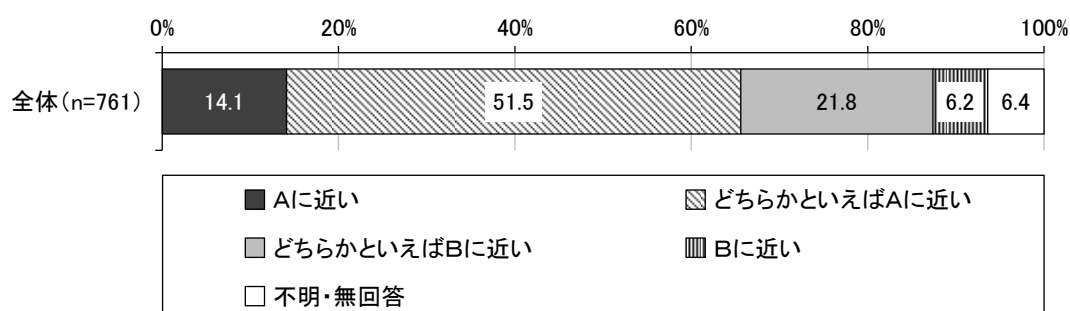


③行政サービスの維持・縮小

A：使用料等の負担が増えても、行政サービスは現状のまま維持していくべきである

⇔ B：使用料等の負担を増やしてまで、行政サービスを現状のまま維持していく必要はない

行政サービスの維持・縮小についてみると、「どちらかといえばAに近い」が51.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばBに近い」が21.8%となっています。

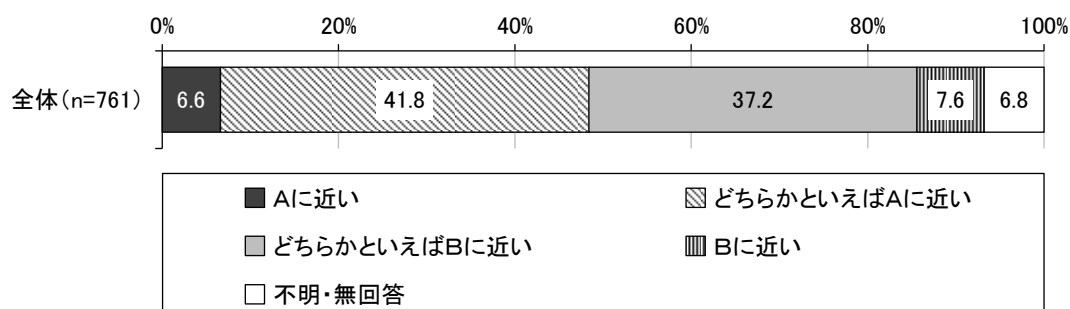


④受益者負担の増減

A：受益者負担の割合は現状よりも増やすべきである

⇔ B：受益者負担の割合は現状よりも減らすべきである

受益者負担の増減についてみると、「どちらかといえばAに近い」が41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばBに近い」が37.2%となっています。

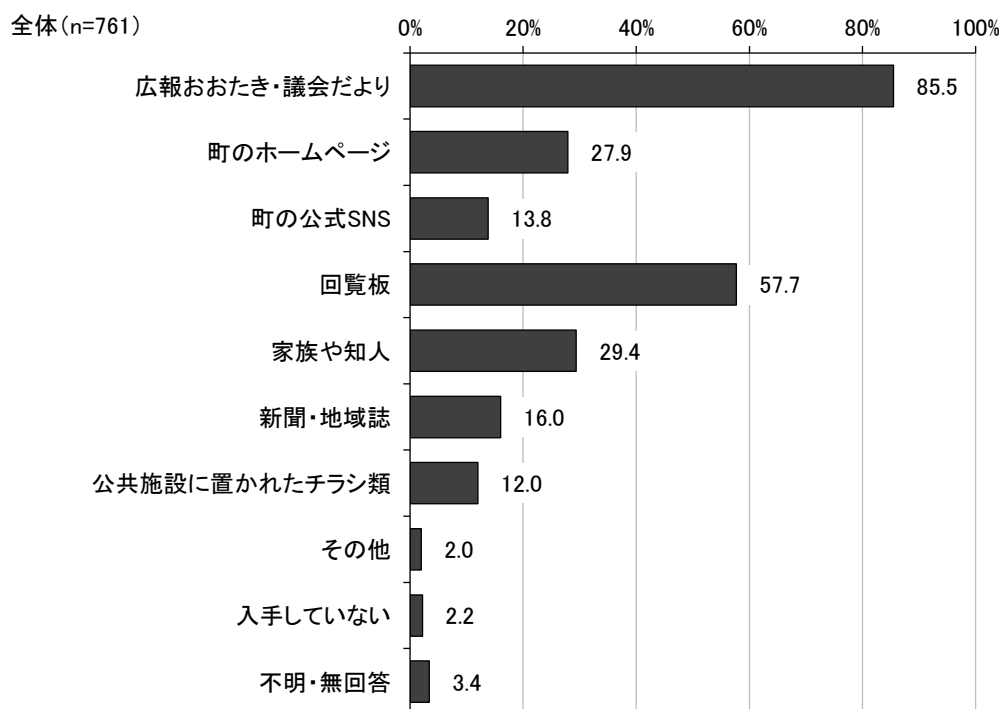


【問 18（一般町民調査）／問 4（中学生・高校生等調査）】

あなたは、現在、町政に関する情報をどのような形で入手していますか。

一般町民調査

町政に関する情報の入手方法についてみると、「広報おおたき・議会だより」が 85.5%と最も高く、次いで「回覧板」が 57.7%となっています。



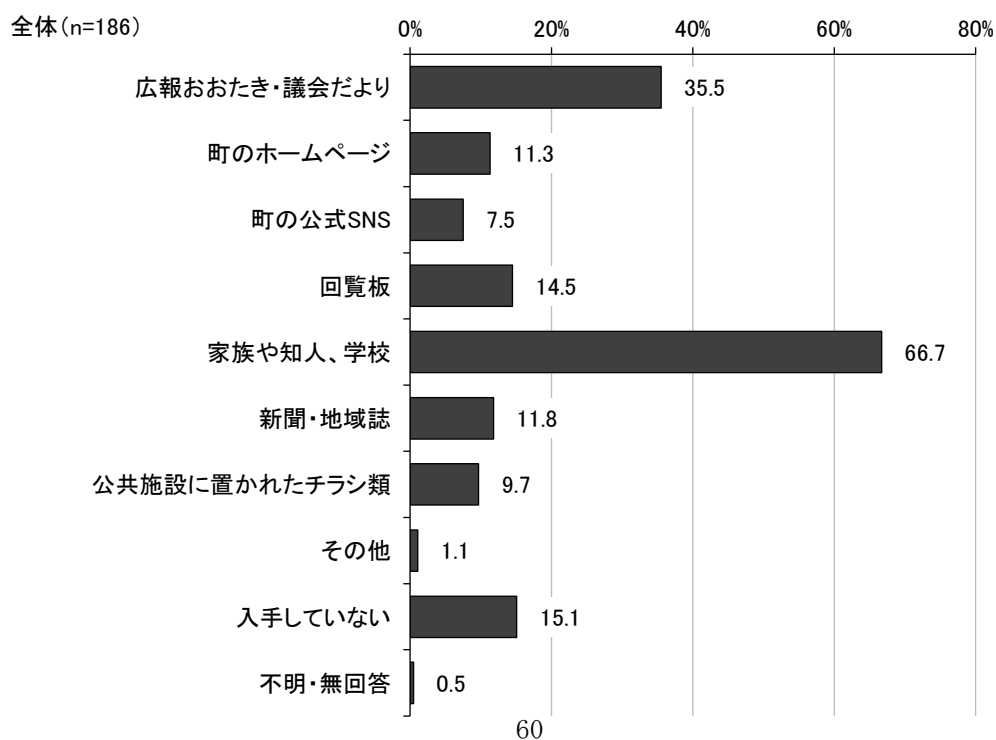
■年齢別

年齢別にみると、いずれも「広報おおたき・議会だより」が最も高くなっています。また、10・20 歳代では「入手していない」において、その他の年齢に比べて高くなっています。

単位：%		広報 おおたき・ 議会だより	町の ホーム ページ	町の 公式 SNS	回 覧 板	家 族 や 知 人	新 聞 ・ 地 域 誌	公 共 施 設 に 置 か れ た チ ラ シ 類	そ の 他	入 手 し て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=761)		85.5	27.9	13.8	57.7	29.4	16.0	12.0	2.0	2.2	3.4
年 齢 別	10・20歳代(n=33)	63.6	21.2	9.1	39.4	48.5	3.0	9.1	0.0	12.1	0.0
	30歳代(n=56)	67.9	41.1	26.8	42.9	37.5	3.6	7.1	1.8	3.6	5.4
	40歳代(n=108)	77.8	40.7	24.1	37.0	33.3	4.6	8.3	0.9	3.7	7.4
	50歳代(n=108)	86.1	38.0	21.3	50.9	28.7	12.0	13.9	3.7	1.9	0.9
	60歳代(n=156)	92.9	28.2	10.9	69.9	19.2	17.3	10.9	3.2	0.0	1.9
	70歳以上(n=274)	91.6	17.9	7.7	67.5	30.7	25.9	15.3	1.5	1.8	2.6

中学生・高校生等調査

町に関する情報の入手方法についてみると、「家族や知人、学校」が 66.7%と最も高く、次いで「広報おおたき・議会だより」が 35.5%となっています。

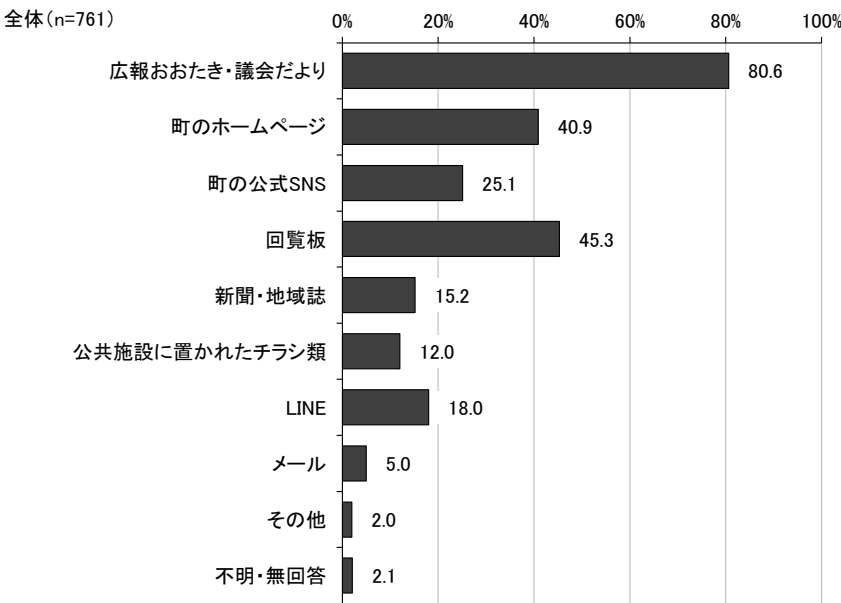


【問 19（一般町民調査）／問 5（中学生・高校生等調査）】

あなたは、町政に関する情報はどのような媒体を通じて発信されると接しやすいと思いますか。

一般町民調査

町政に関する情報の発信方法として接しやすいと思うものについてみると、「広報おおたき・議会だより」が 80.6%と最も高く、次いで「回覧板」が 45.3%となっています。



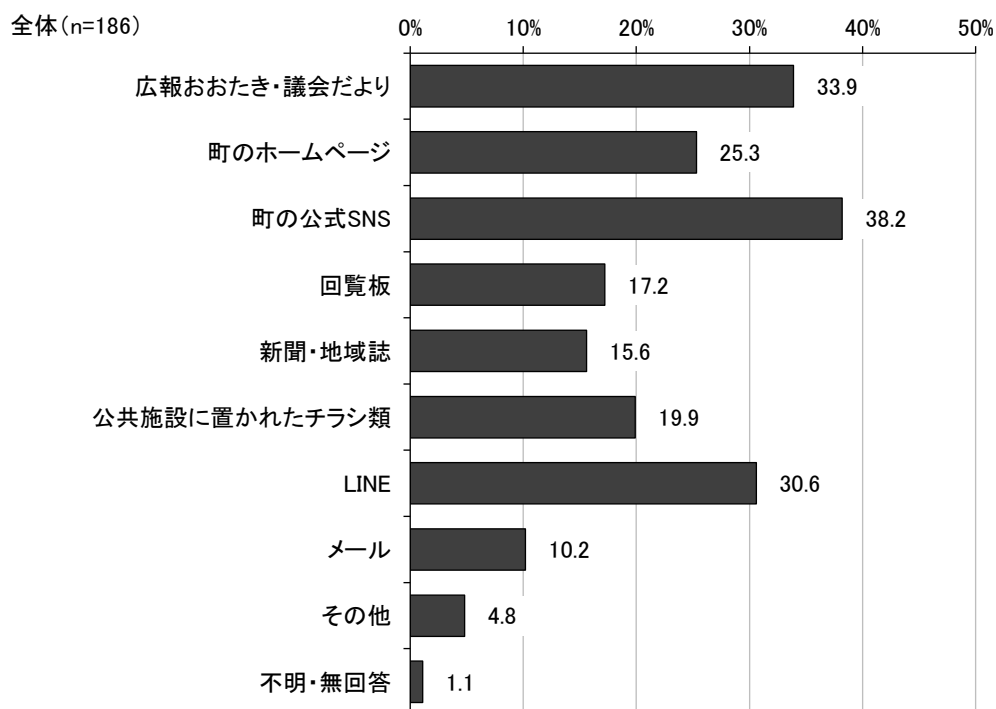
■年齢別

年齢別にみると、10・20 歳代では「広報おおたき・議会だより」「町の公式 SNS」、30 歳代以上では「広報おおたき・議会だより」が最も高くなっています。また、年齢が下がるほど、「町の公式 SNS」「LINE」が高くなっています。

単位: %		広報 おおたき・ 議会だより	町 の ホ ー ム ペ ー ジ	町 の 公 式 S N S	回 覧 板	新 聞 ・ 地 域 誌	公 共 施 設 に 置 か れ た チ ラ シ 類	L I N E	メ ー ル	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=761)		80.6	40.9	25.1	45.3	15.2	12.0	18.0	5.0	2.0	2.1
年 齢 別	10・20 歳代 (n=33)	57.6	39.4	57.6	30.3	12.1	12.1	36.4	3.0	6.1	0.0
	30 歳代 (n=56)	50.0	35.7	44.6	28.6	8.9	14.3	35.7	5.4	0.0	0.0
	40 歳代 (n=108)	71.3	49.1	40.7	23.1	8.3	8.3	30.6	1.9	3.7	1.9
	50 歳代 (n=108)	75.0	55.6	37.0	33.3	13.9	11.1	26.9	11.1	0.9	0.9
	60 歳代 (n=156)	91.0	51.9	20.5	53.8	13.5	9.0	14.7	7.1	1.9	0.0
	70 歳以上 (n=274)	89.8	29.2	10.9	59.1	21.5	14.6	7.3	3.3	1.8	3.3

中学生・高校生等調査

町に関する情報の発信方法として接しやすいと思うものについてみると、「町の公式SNS」が 38.2%と最も高く、次いで「広報おおたき・議会だより」が 33.9%となっています。



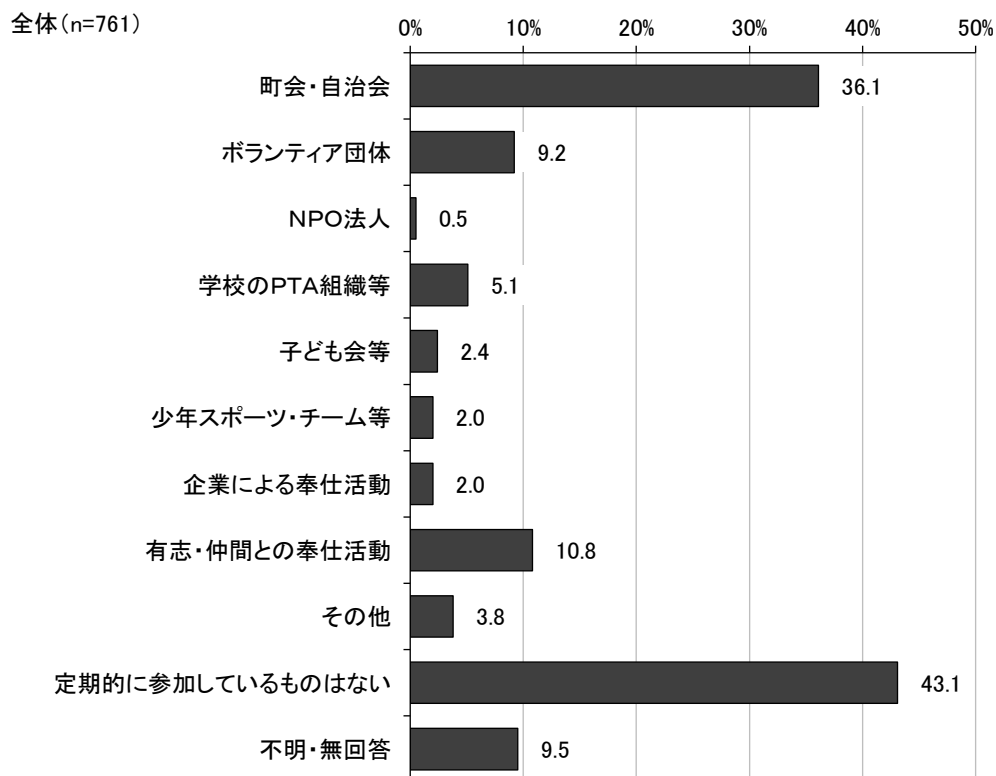
10. 地域活動への参加について

【問 20（一般町民調査）】

あなたは、日頃、地域社会に貢献する活動を行っている団体や組織、グループの活動に定期的に参加していますか。

一般町民調査

定期的に参加している団体や組織、グループの活動についてみると、「定期的に参加しているものはない」が43.1%と最も高く、次いで「町会・自治会」が36.1%となっています。



■年齢別・地区別

年齢別にみると、30 歳代以下、70 歳以上では「定期的に参加しているものはない」、40 歳代から 60 歳代では「町会・自治会」が最も高くなっています。また、40 歳代では「学校の PTA 組織等」において、その他の年齢に比べて高くなっています。

地区別にみると、老川地区、大多喜地区では「町会・自治会」、その他の地区では「定期的に参加しているものはない」が最も高くなっています。

単位：%		町会・自治会	ボランティア団体	NPO 法人	学校の PTA 組織等	子ども会等	少年スポーツ・チーム等	企業による奉仕活動	有志・仲間との奉仕活動	その他	定期的に参加しているものはない	不明・無回答
全体 (n=761)		36.1	9.2	0.5	5.1	2.4	2.0	2.0	10.8	3.8	43.1	9.5
年齢別	10・20 歳代 (n=33)	12.1	6.1	0.0	9.1	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	75.8	3.0
	30 歳代 (n=56)	19.6	1.8	0.0	5.4	0.0	1.8	1.8	5.4	5.4	64.3	7.1
	40 歳代 (n=108)	44.4	3.7	0.0	20.4	11.1	2.8	0.0	3.7	5.6	37.0	0.9
	50 歳代 (n=108)	46.3	12.0	0.9	5.6	1.9	4.6	5.6	10.2	3.7	42.6	1.9
	60 歳代 (n=156)	45.5	10.9	0.6	1.3	1.3	1.9	2.6	10.9	1.3	39.7	5.1
	70 歳以上 (n=274)	31.4	11.7	0.7	1.1	0.4	0.7	1.1	16.1	5.1	38.7	17.5
地区別	老川地区 (n=89)	38.2	20.2	0.0	4.5	1.1	2.2	1.1	16.9	4.5	36.0	11.2
	西畑地区 (n=143)	30.8	7.0	0.7	2.1	0.7	2.1	0.7	11.2	2.8	52.4	6.3
	総元地区 (n=107)	30.8	14.0	0.0	6.5	3.7	1.9	1.9	15.9	5.6	44.9	7.5
	大多喜地区 (n=248)	41.9	8.1	0.4	6.5	3.2	2.8	4.0	8.9	2.8	41.5	6.9
	上瀑地区 (n=126)	38.1	4.8	1.6	7.1	3.2	0.8	0.8	6.3	4.0	38.9	12.7

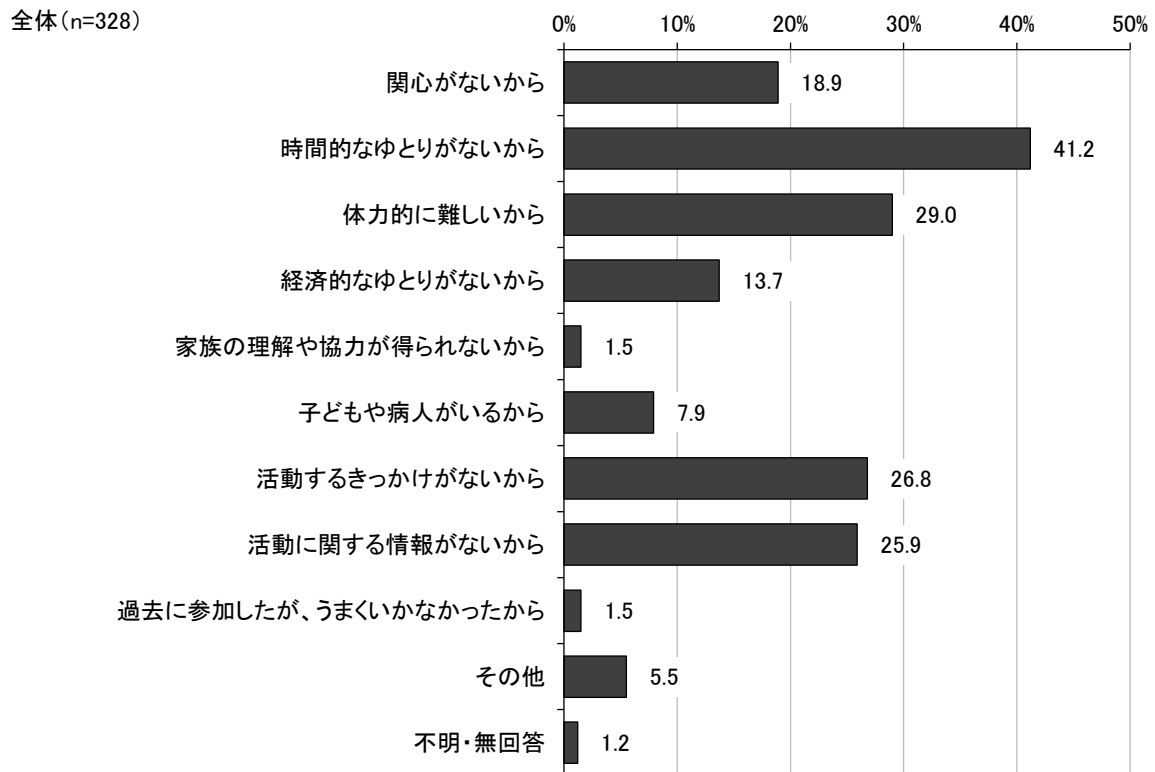
【付問 20- 1 （一般町民調査）】

「定期的に参加しているものはない」と答えた方

あなたが、地域社会に貢献する活動に定期的に参加していない理由は何ですか。

一般町民調査

定期的に参加していない理由についてみると、「時間的なゆとりがないから」が 41.2%と最も高く、次いで「体力的に難しいから」が 29.0%となっています。



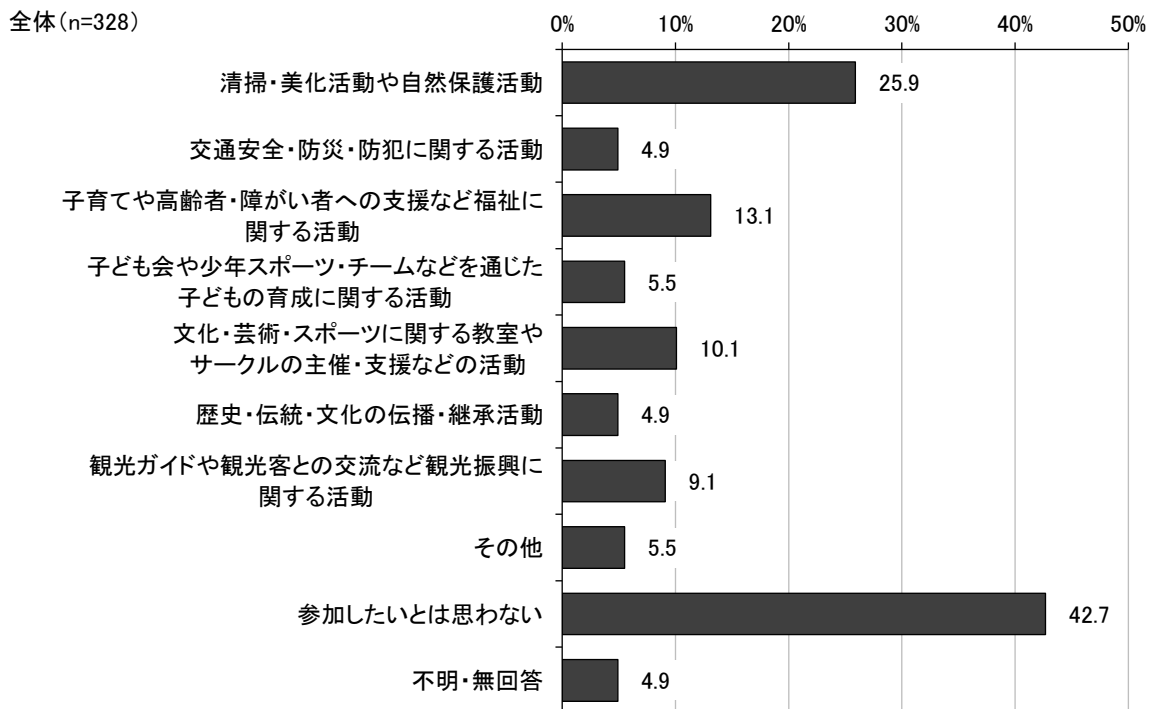
【付問 20- 2（一般町民調査）】

「定期的に参加しているものはない」と答えた方

あなたは、今後地域社会に貢献する活動に定期的に参加したいと思いますか。

一般町民調査

地域社会に貢献する活動への参加意向についてみると、「参加したいとは思わない」が 42.7%と最も高く、次いで「清掃・美化活動や自然保護活動」が 25.9%となっています。

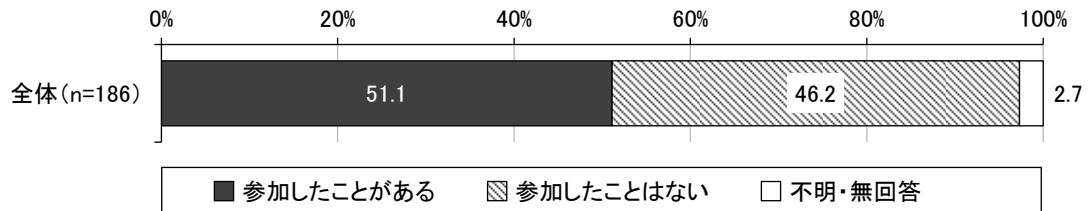


【問 10（中学生・高校生等調査）】

あなたは、これまでに地域活動に参加したことはありますか。

中学生・高校生等調査

地域活動に参加したことがあるかについてみると、「参加したことがある」が51.1%と、「参加したことはない」の46.2%を上回っています。

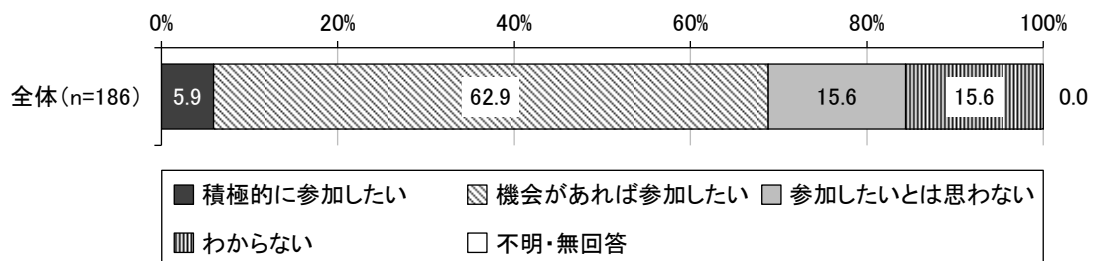


【問 11（中学生・高校生等調査）】

あなたは、今後地域活動に参加したいと思いますか。

中学生・高校生等調査

地域活動への参加意向についてみると、「機会があれば参加したい」が62.9%と最も高く、次いで「参加したいとは思わない」「わからない」が15.6%となっています。

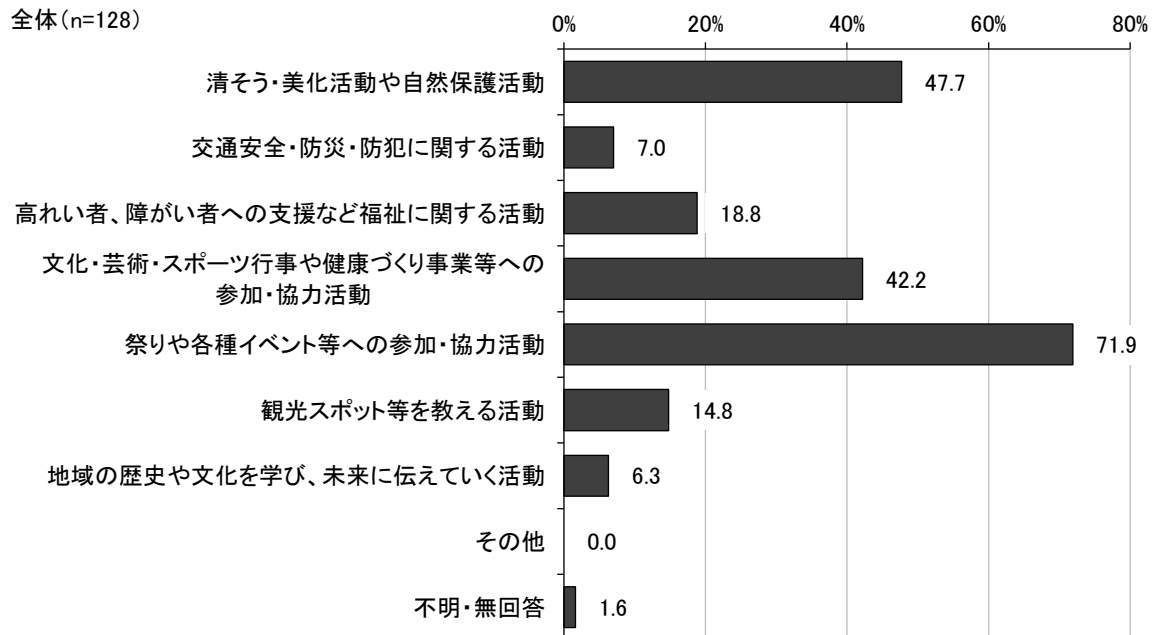


【付問 11- 1 （中学生・高校生等調査）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」と答えた方
あなたが今後参加したい地域活動はどのような内容ですか。

中学生・高校生等調査

今後参加したい地域活動についてみると、「祭りや各種イベント等への参加・協力活動」が 71.9%と最も高く、次いで「清そう・美化活動や自然保護活動」が 47.7%となっています。



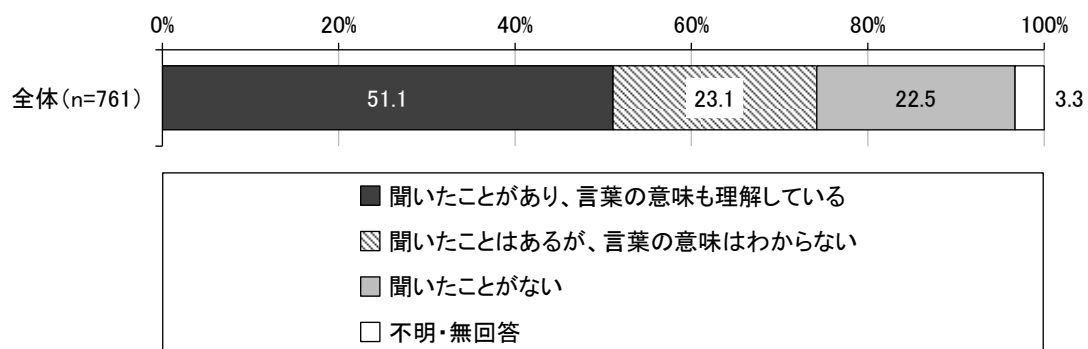
11. 防災について

【問 21（一般町民調査）】

防災に関して「自助」、「共助」、「公助」という言葉を知っていますか。

一般町民調査

「自助」、「共助」、「公助」という言葉を知っているかについてみると、「聞いたことがあり、言葉の意味も理解している」が 51.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない」が 23.1%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、いずれも「聞いたことがあり、言葉の意味も理解している」が最も高くなっています。

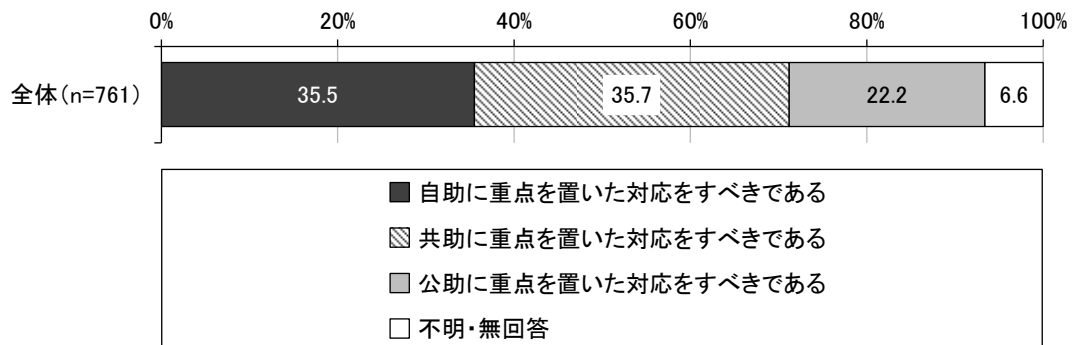
単位：%		聞いたことがあり、言葉の意味も理解している	聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない	聞いたことがない	不明・無回答
全体 (n=761)		51.1	23.1	22.5	3.3
年齢別	10・20歳代 (n=33)	51.5	18.2	30.3	0.0
	30歳代 (n=56)	50.0	23.2	26.8	0.0
	40歳代 (n=108)	58.3	18.5	23.1	0.0
	50歳代 (n=108)	53.7	25.0	21.3	0.0
	60歳代 (n=156)	51.3	22.4	23.7	2.6
	70歳以上 (n=274)	49.3	25.2	19.3	6.2

【問 22（一般町民調査）】

あなたは、災害が発生したときに、その被害を軽減するための対応として、「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点を置くべきとお考えですか。

一般町民調査

災害の被害を軽減するための対応として、「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点を置くべきかについてみると、「共助に重点を置いた対応をすべきである」が 35.7%と最も高く、次いで「自助に重点を置いた対応をすべきである」が 35.5%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、30 歳代以下、70 歳以上では「自助に重点を置いた対応をすべきである」、40 歳代から 60 歳代では「共助に重点を置いた対応をすべきである」が最も高くなっています。

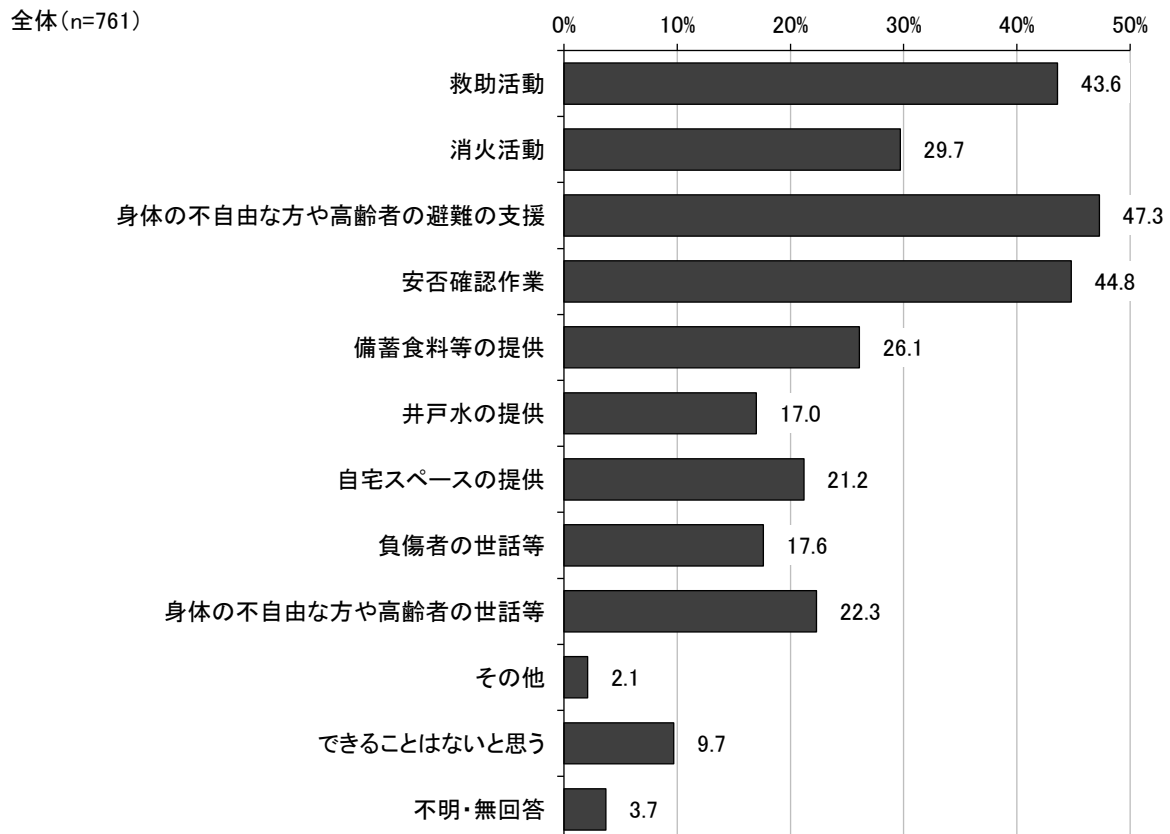
単位：%		自助に重点を置いた対応をすべきである	共助に重点を置いた対応をすべきである	公助に重点を置いた対応をすべきである	不明・無回答
全体 (n=761)		35.5	35.7	22.2	6.6
年齢別	10・20歳代 (n=33)	51.5	21.2	27.3	0.0
	30歳代 (n=56)	41.1	26.8	28.6	3.6
	40歳代 (n=108)	35.2	36.1	27.8	0.9
	50歳代 (n=108)	30.6	43.5	23.1	2.8
	60歳代 (n=156)	28.8	46.8	19.9	4.5
	70歳以上 (n=274)	40.9	30.3	18.6	10.2

【問 23（一般町民調査）】

地域で大規模な災害が発生し、住民どうしの助け合いが必要になった場合、あなたなら何ができると思いますか。

一般町民調査

住民どうしの助け合いが必要になった場合に自分にできることについてみると、「身体の不自由な方や高齢者の避難の支援」が47.3%と最も高く、次いで「安否確認作業」が44.8%となっています。



■年齢別・地区別

年齢別にみると、10・20 歳代では「救助活動」、30 歳代、50 歳代、70 歳以上では「身体の不自由な方や高齢者の避難の支援」、40 歳代、60 歳代では「安否確認作業」が最も高くなっています。

地区別にみると、老川地区では「安否確認作業」、総元地区では「救助活動」「身体の不自由な方や高齢者の避難の支援」、その他の地区では「身体の不自由な方や高齢者の避難の支援」が最も高くなっています。

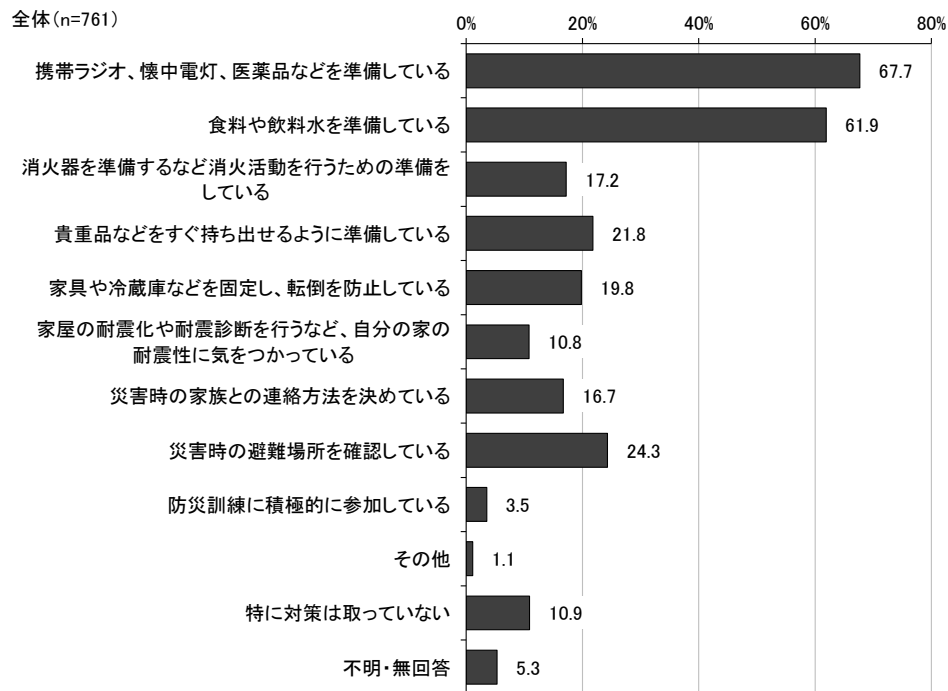
単位：%		救助活動	消火活動	避難の支援 身体の不自由な方や高齢者の	安否確認作業	備蓄食料等の提供	井戸水の提供	自宅スペースの提供	負傷者の世話等	身体の不自由な方や高齢者の世話等	その他	できることはないと思う	不明・無回答
全体(n=761)		43.6	29.7	47.3	44.8	26.1	17.0	21.2	17.6	22.3	2.1	9.7	3.7
年齢別	10・20歳代(n=33)	57.6	30.3	42.4	36.4	27.3	12.1	21.2	24.2	21.2	0.0	9.1	0.0
	30歳代(n=56)	41.1	25.0	55.4	44.6	21.4	12.5	12.5	19.6	21.4	1.8	7.1	0.0
	40歳代(n=108)	51.9	40.7	54.6	55.6	19.4	12.0	13.0	21.3	25.0	3.7	4.6	0.9
	50歳代(n=108)	52.8	36.1	59.3	51.9	17.6	14.8	22.2	27.8	27.8	2.8	5.6	0.9
	60歳代(n=156)	49.4	34.6	51.9	54.5	28.2	21.2	23.7	14.1	22.4	1.3	8.3	0.6
	70歳以上(n=274)	32.8	20.8	36.9	35.0	32.5	19.7	25.2	13.9	20.8	1.8	14.2	6.9
地区別	老川地区(n=89)	44.9	29.2	44.9	46.1	33.7	21.3	27.0	14.6	20.2	2.2	6.7	4.5
	西畑地区(n=143)	40.6	26.6	53.1	44.8	28.0	25.2	25.9	16.1	22.4	2.1	12.6	1.4
	総元地区(n=107)	44.9	38.3	44.9	43.9	30.8	21.5	27.1	19.6	19.6	3.7	8.4	4.7
	大多喜地区(n=248)	44.0	28.6	48.4	45.6	22.2	8.9	12.9	20.2	27.0	1.6	9.3	1.2
	上瀑地区(n=126)	44.4	27.8	46.0	45.2	23.8	19.0	23.8	14.3	18.3	1.6	9.5	3.2

【問 24（一般町民調査）】

あなたやご家族は、災害時に備えてどのような対策をとっていますか。

一般町民調査

災害時に備えての対策についてみると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」が 67.7%と最も高く、次いで「食料や飲料水を準備している」が 61.9%となっています。



■年齢別

年齢別にみると、60 歳代以上では「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」、50 歳代以下では「食料や飲料水を準備している」が最も高くなっています。

単位: %		携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	食料や飲料水を準備している	消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気が付いている	災害時の家族との連絡方法を決めている	災害時の避難場所を確認している	防災訓練に積極的に参加している	その他	特に対策は取っていない	不明・無回答
全体 (n=761)		67.7	61.9	17.2	21.8	19.8	10.8	16.7	24.3	3.5	1.1	10.9	5.3
年齢別	10・20歳代 (n=33)	57.6	60.6	3.0	21.2	24.2	18.2	12.1	21.2	9.1	0.0	6.1	6.1
	30歳代 (n=56)	57.1	62.5	14.3	21.4	19.6	16.1	16.1	21.4	3.6	1.8	10.7	5.4
	40歳代 (n=108)	62.0	66.7	14.8	11.1	19.4	13.0	12.0	22.2	0.9	1.9	13.0	1.9
	50歳代 (n=108)	64.8	68.5	15.7	20.4	22.2	11.1	18.5	29.6	8.3	0.0	11.1	0.0
	60歳代 (n=156)	73.7	60.9	17.9	21.8	14.1	6.4	13.5	18.6	3.2	0.6	12.8	1.9
	70歳以上 (n=274)	72.3	59.1	20.4	26.3	21.2	9.9	19.7	27.4	2.2	1.5	9.1	8.8

12. 結婚・出産・子育てについて

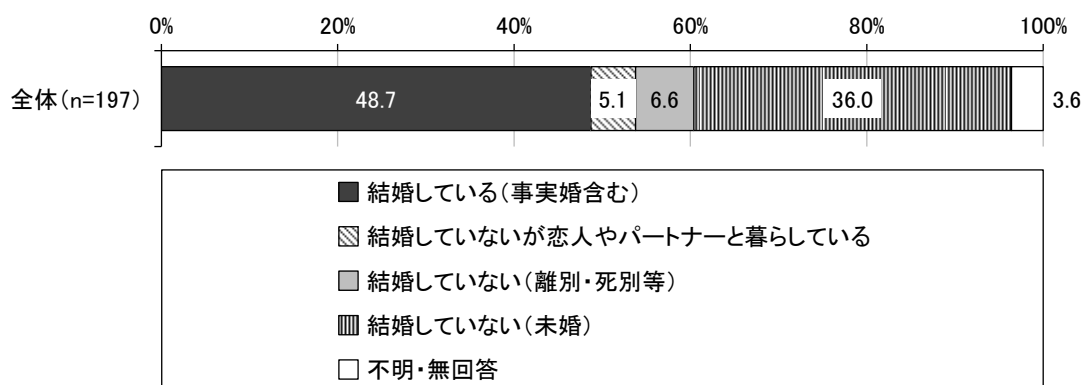
【問 25（一般町民調査）】

49 歳以下の方

あなたの婚姻状況について、次の中から 1 つに○印をつけてください。

一般町民調査

婚姻状況についてみると、「結婚している（事実婚含む）」が 48.7%と最も高く、次いで「結婚していない（未婚）」が 36.0%となっています。

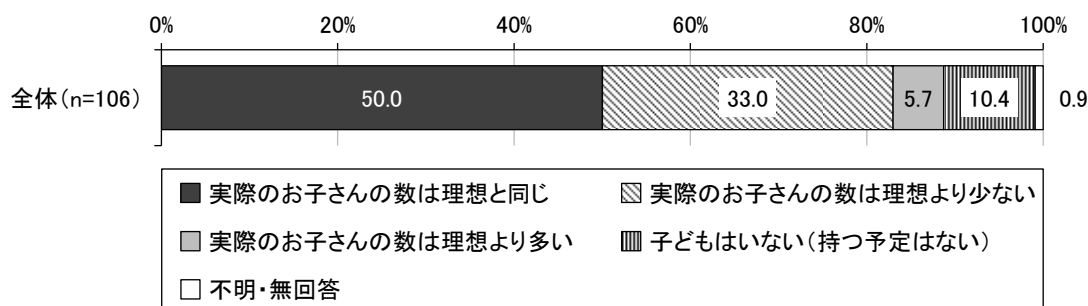


【付問 25- 1（一般町民調査）】

「結婚している（事実婚含む）」「結婚していないが恋人やパートナーと暮らしている」と答えた方
実際のお子さんの数（持つ予定を含む）と理想のお子さんの数について、次の中から 1 つに○印をつけてください。

一般町民調査

実際のお子さんの数と理想のお子さんの数についてみると、「実際のお子さんの数は理想と同じ」が 50.0%と最も高く、次いで「実際のお子さんの数は理想より少ない」が 33.0%となっています。



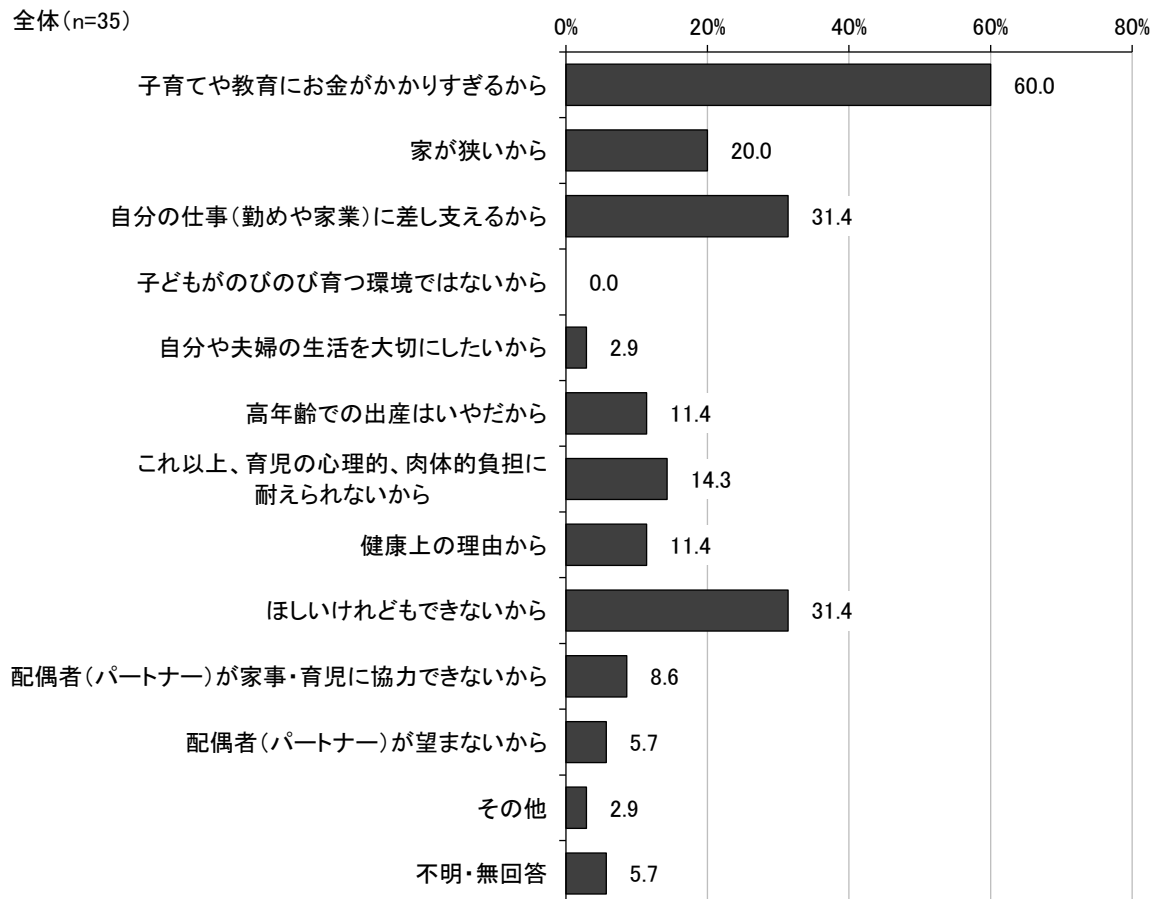
【付問 25- 2（一般町民調査）】

「実際のお子さんの数は理想より少ない」と答えた方

実際のお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはなぜですか。

一般町民調査

実際のお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ない理由についてみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 60.0%と最も高く、次いで「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」「ほしいけれどもできないから」が 31.4%となっています。



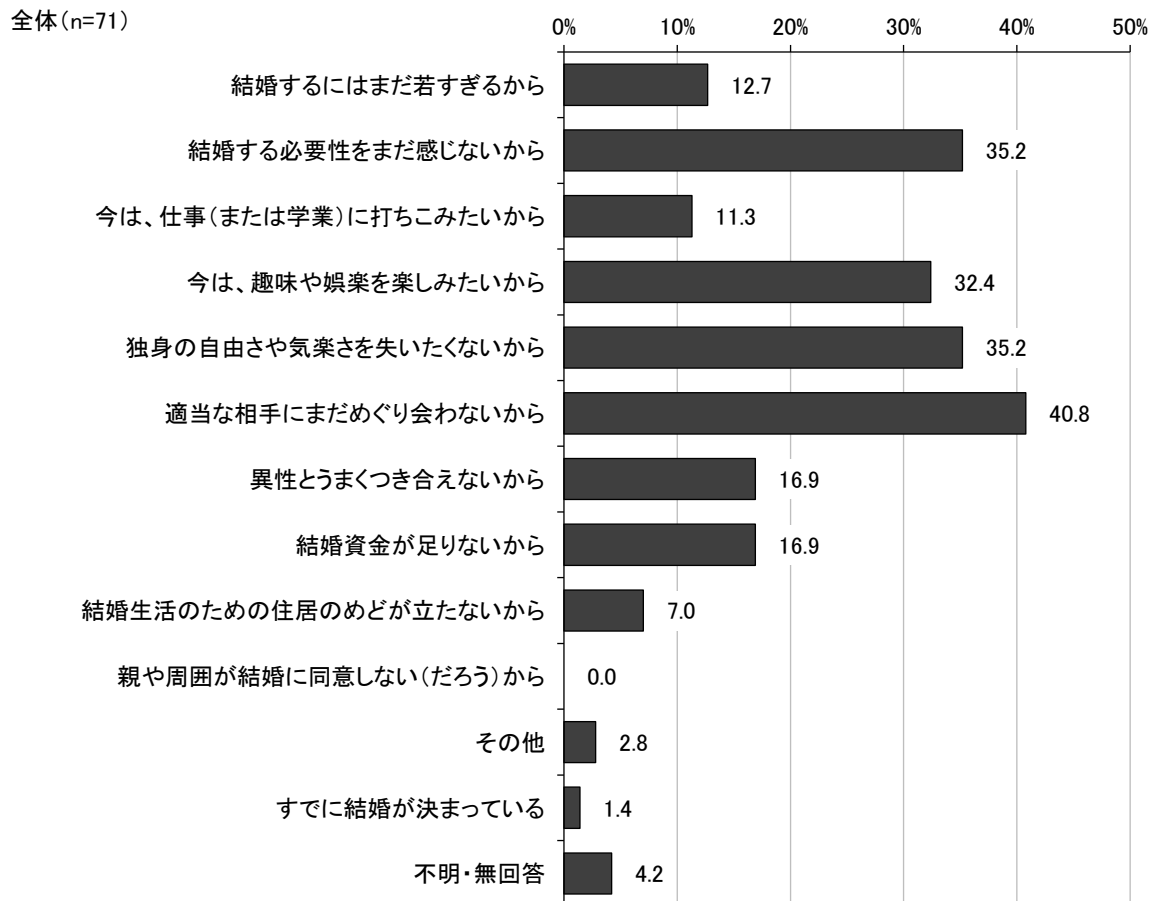
【付問 25- 3（一般町民調査）】

「結婚していない（未婚）」と答えた方

現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。

一般町民調査

現在独身でいる理由についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が 40.8%と最も高く、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が 35.2%となっています。



13. 自由意見

【問 26（一般町民調査）／問 14（中学生・高校生等調査）】

大多喜町のまちづくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由回答については、一般町民調査では、187 人から 213 件の回答がありました。

また、中学生・高校生等調査では、47 人から 56 件の回答がありました。

なお、1人に複数の分野について意見を記入いただいている場合は、それぞれを1件として集計しています。

意見の内訳については、以下の通りです。

(件)

分類	項目	一般町民調査	中学生・ 高校生等調査
生活基盤	道路・交通網(鉄道・バス)整備	31	19
	土地利用	0	0
	消防・防災	8	0
	交通安全・防犯	5	6
生活環境	環境・景観保全・廃棄物処理	20	4
	住宅・宅地・公園・緑地・水辺	4	0
	上・下水道	2	0
	有害鳥獣対策	4	0
健康・福祉	地域福祉	3	0
	高齢者福祉・障がい者福祉	8	0
	児童福祉・子育て	8	0
	保健・医療	9	0
教育・文化	生涯学習・スポーツ	2	3
	学校教育・青少年健全育成	0	5
	歴史・文化	3	0
定住促進	雇用対策	9	0
	その他定住促進	17	0
産業・経済	農林業振興	7	0
	商工業振興	13	10
	観光振興	21	5
行政経営・ 地域自治	行政・財政	36	4
	地域自治	3	0

意見内容は要約して、それぞれの分野ごとに主なものを掲載しています。

生活基盤

■道路・交通網(鉄道・バス)整備

- ・千葉市への直通バスを整備してほしい。
- ・高速バスの運行時間を夜間まで延長してほしい。
- ・交通の選択肢を増やし、マイカーがなくても移動しやすくしてほしい。
- ・小型タクシーや送迎バスの導入で高齢者や住民の外出を支援してほしい。
- ・いすみ鉄道の料金が高く利用しづらい。
- ・いすみ鉄道の廃線を回避する工夫をしてほしい。
- ・いすみ鉄道の廃止を検討し、跡地を高速道路として活用してはどうか。
- ・山間部や道幅が狭い道路を整備してほしい。
- ・台風で損壊した道路の早期復旧を求める。

■消防・防災

- ・水害に脆弱な地形であり、地震対策だけでなく水害への備えが必要。
- ・山間部や孤立しそうな集落を事前に把握し、迅速な救助対応のための準備が必要。
- ・災害危険区域の住民を安全な場所へ移住させる対策を検討してほしい。
- ・避難所への道が危険なため、安全な避難ルートを整備してほしい。
- ・災害時の作業や復旧工事を迅速に行う体制を整備してほしい。
- ・防災意識が他市町村と比べて低いと感じるため、町全体の防災力を向上させるべき。

■交通安全・防犯

- ・子どもたちの通学や歩行者の安全を守るため、道路や歩道の改善が必要。
- ・紅葉シーズンなど観光客が増える時期に事故防止のための整備が必要。
- ・歩道の草木が多く、見通しが悪いため危険箇所が多い。
- ・草刈りが必要な箇所について、町で対応してほしい。
- ・側溝に蓋をしてほしい。

生活環境

■環境・景観保全・廃棄物処理

- ・バイパスの歩道の草刈りや公衆トイレの美化を含む環境整備をしてほしい。
- ・農村地域の住民の生活環境改善にも注力してほしい。
- ・荒地に菜の花やコスモスを植える活動をしてはどうか。
- ・ゴミの分別方法の周知徹底や、不燃ゴミの回収日を増やしてほしい。
- ・道路沿いへのゴミ投棄や不法投棄に対する取り締まりの強化が必要。
- ・豊かな自然環境や城下町らしさを生かし、歴史や景観に配慮したまちづくりを目指すべき。

■住宅・宅地・公園・緑地・水辺

- ・若い世代が購入しやすい価格帯の住宅地や住宅を整備してほしい。
- ・アパートや町営住宅の家賃が高いため、家賃の見直しをしてほしい。
- ・高齢者専用のシェアハウスを設置してほしい。
- ・個人では対応が難しい空き家や荒廃地対策に取り組んでほしい。
- ・子どもが安心して遊べる公園を設置してほしい。

■上・下水道

- ・山間地域の道路や水道の整備をしてほしい。
- ・下水路の清掃をしてほしい。

■有害鳥獣対策

- ・自然の魅力がある反面、害獣による迷惑も多い。
- ・キョン(特定外来生物)の増加が深刻なので、対策してほしい。
- ・筍が町のシンボルだが、後継者不足や環境悪化(イノシシ、キョン)により危機感を覚える。

健康・福祉

■地域福祉

- ・住民が気軽に集まれる場所や施設を増やしてほしい。
- ・災害対策コーディネーターを中心とした情報提供やイベントを行ってほしい。
- ・役場を通じて便利屋や専門業者(片付けや高所の掃除など)の紹介をしてほしい。
- ・シルバー人材では対応が難しいニーズに応える仕組みが必要。

■高齢者福祉・障がい者福祉

- ・医療、買い物、交通等、高齢者が生活しやすい環境づくりが急務。
- ・高齢者が移動や買い物、生活介助を受けられる仕組みが必要。
- ・学力やコミュニケーションにハンデがある人も働ける職場が必要。
- ・体作りや脳トレ体験後も続けられるようなフォロー体制や送迎を整備してほしい。

■児童福祉・子育て

- ・ボールプールや滑り台を備えた屋内施設など雨天でも遊べる施設がほしい。
- ・不妊治療や子育て支援が助かっており、引き続き支援を継続してほしい。
- ・子ども3人以上の世帯への支援を充実させてほしい。
- ・ひとり親だけでなく支援の対象を拡大してほしい。
- ・幼児期の支援は手厚いが、小学校以上の支援に不足を感じる。
- ・中学校について、他地域の学校を参考に教育方針の見直しをしてほしい。
- ・高校・大学等町外への通学にかかる交通費の補助がほしい。
- ・保育園の活動内容などを含め、SNS を活用して情報発信をしてほしい。

■保健・医療

- ・休日・夜間等の急病時に診療可能な病院がないため、早急に体制整備をしてほしい。
- ・産婦人科・小児科を整備してほしい。
- ・医療と商業施設がまとまった、1日ゆっくり過ごせる場所をつくってほしい。
- ・带状疱疹ワクチン補助金の対象拡大(令和6年4月以前に接種した人にも適用してほしい)。
- ・車を持たない住民にとって夜間タクシーが利用できない現状が不便。急病時には特に対応が必要。
- ・高齢者が通院の際に不便を感じないような移動手段や施設を整備してほしい。

教育・文化

■生涯学習・スポーツ

- ・生涯学習、文化、歴史等の講演、講座を町内で実施してほしい。
- ・スポーツ施設がほしい。

■歴史・文化

- ・大多喜町の歴史や文化財を広く多くの人に知ってもらうような活動があるとよい。
- ・文化的・芸術的施設がほしい。
- ・城下町をもっと上手く活用したほうがよい。

定住促進

■雇用対策

- ・企業を誘致して働く場所を増やしてほしい。
- ・地域活性化、仕事を生み出し、町で起業家を増やすのがよい。
- ・企業誘致に向けて、大きな地震が少ない点を大いにPRしたり、5G導入を進めたりするべき。
- ・町内企業内等のパワーハラスメント対策を推進してほしい。

■その他定住促進

- ・若者が移住してくれる子育てがしやすいまちづくり、シニア世代も第二の人生として移住できる魅力あるまちづくりができればよい。
- ・若者、子育て世代等の移住者と昔からの住人がうまくいくように、そのバランスが重要。
- ・観光事業から脱却し、定住者の生活向上と、若者世帯の新規定住者を増やすことに重点を置くべき。

産業・経済

■農林業振興

- ・農林業に対する支援をしてほしい(農業従事者の高齢化、跡継ぎ問題、耕作放棄地の増加)。
- ・高齢で農地(水田)を自力で守れないため、水田を減らさないためのしくみを考えてほしい。
- ・個人での農業継続が難しいため、協同組合を設立してほしい。
- ・年々増加する休耕地への対策をしてほしい。

■商工業振興

- ・町に活気、明るさがほしい。店舗の種類が少ない。
- ・発展していない地域にも商業を発展させ、地域や観光での不自由をなくすべき。
- ・商業施設や飲食店が少なく不便なので、商業施設、飲食店を増やしてほしい。

■観光振興

- ・町一番の観光資源であるお城を活用し、以前のように内覧、展示してほしい。
- ・町の仲介による、山野や田畑、空き家や空き地の所有者と利用者のマッチングをしてほしい。
- ・車での観光客のために、町中心部だけでなく山道の整備や外灯設置など隅々にも目を配ってほしい。
- ・土地はあるのでサイクリングコースがほしい。城まつり、神輿、山車、お囃子、踊りは続けてほしい。
- ・自然を観光の目玉にするのなら、森の整備、川の整備、害獣駆除を考えてほしい。
- ・大多喜町特産物の情報発信をもっとやるべき。
- ・観光客のための食事処や手軽に食べられるもの(タケノコロッケ等)を充実させてほしい。
- ・古民家カフェやグランピング等、自然を生かした事業を増やし、SNS を活用していくとよい。

行政経営・地域自治

■行政・財政

- ・観光客や移住者に対する支援が多く、高齢者が安心して住み続けるための施策が少ない。後継者問題を大きなテーマにして取り組むべき。
- ・意見を町民に聞く努力をし、もっと町民を巻き込み、未来の方向性を高めていくのがよい。
- ・行政サービスは近隣市町村より充実しているが、PR が上手くできていない(特に子育て支援)。
- ・インフラの維持費が大きいように思うので、コンパクトシティに向けて進んでほしい。
- ・アンケートの結果を町民に開示し、より具体的なまちづくり施策を考える機会を設けてほしい。
- ・消滅可能性都市として何か目に見える対策が必要。

■地域自治

- ・区長の仕事(区長会)、地域のしがらみ(消防)、PTAなどを減らすことを願う。
- ・集団の中では話しづらい問題が多いため、区長を通じて地域の意見を聞き取る方法を活用すべき。
- ・昔の青年会(団)のような町全体の会があったら、若い男女の出会いの場ができるのではないかな。

意見内容は要約して、それぞれの分野ごとに主なものを掲載しています。

生活基盤

■道路・交通網(鉄道・バス)整備

- ・交通の便を良くしてほしい(交通手段、駅やバス停の数、電車の本数など)。
- ・JRの駅へ行きやすいバスや町内の巡回バスを導入してほしい。
- ・交通を整えて、町内外からの移動をしやすくしてほしい。
- ・町に住みながら通学・通勤ができるように、高速・路線バスの運賃を下げるか、補助してほしい。
- ・バスで Suica が使えるようにしてほしい。

■交通安全・防犯

- ・道路に垂れ下がっている葉っぱや木が車にぶつかって危ない。
- ・道路や歩道に木などが生い茂っているので、定期的に切って欲しい。西畑方面からの山道、国道沿い等の草刈りをお願いしたい。
- ・街灯が少ない。

生活環境

■環境・景観保全・廃棄物処理

- ・川に油を流さないようにしてほしい。
- ・町全体のゴミ拾いをお願いしたい。
- ・動物に優しく自然豊かなゴミ1つない町にほしい。
- ・歴史や自然環境を生かし、町並や散歩道等の整備をお願いしたい。

教育・文化

■生涯学習・スポーツ

- ・中高サッカー大会をしてほしい。
- ・ボルダリング等の運動ができる施設をもっと増やしてほしい。

■学校教育・青少年健全育成

- ・大多喜町と三育の学校の交流を増やしてほしい。
- ・学校間の交流等、若者が活動しやすいまちづくりをしてほしい。
- ・大学などの教育機関がもっとあったらよい。
- ・大学進学や社会人になることを考えると、町に住むことは想像できない。

産業・経済

■商工業振興

- ・町に活気がなくさみしい。買い物するにも店がない。
- ・コンビニや買い物する場所を増やしてほしい。
- ・カフェなどを学校の近くにつくってほしい。
- ・若い人が楽しめるレジャー施設、テーマパークがあるといい。

■観光振興

- ・城下町の商店街を活用し、活気あふれる“城下町”にしてはどうか。
- ・城下町をうたっているわりには、現代的な建物が入り混じっていて中途半端だと思う。
- ・城下町を盛り上げてほしい。
- ・子どもから大人までが楽しめるようなイベント等を計画してほしい。
- ・町のイベントに、住民が参加しやすいよう、広報や案内をお願いしたい。

行政経営・地域自治

■行政・財政

- ・少子高齢化が進んでいるため、高齢者が住みよく、子どもも楽しめるまちづくりをしてほしい。
- ・教育、医療サービスが優れているのは町の強みなので、さらに子育て支援の幅を広げてほしい。
- ・アンケートは自分の意見が反映されている実感がわくので続けてほしい。
- ・Wi-Fi(無料)がある場所をつくってほしい。

【問 13（中学生・高校生等調査）】

「わたしが町長になったら」どんなまちづくりを行いたいのか、ご自由にお書きください。

町長になったらどんなまちづくりを行いたいのかについては、94 人から 107 件の回答がありました。

なお、1人に複数の分野について意見を記入いただいている場合は、それぞれを1件として集計しています。

意見の内訳については、以下の通りです。

		(件)	
分類	件数	分類	件数
観光・PR	19	文化・芸術・スポーツ	5
産業・商業	12	高齢者・障がい者支援	2
交通	10	活性化・イベント開催	10
自然環境	20	安全安心	3
医療	2	楽しい・幸せ	9
子育て支援	4	その他	6
学校・教育	5		

中学生・高校生等調査

意見内容は要約して、それぞれの分野ごとに主なものを掲載しています。

■観光・PR

- ・地元民が住みやすく、観光客や移住者が増えるまちづくり。
- ・企業誘致は難しいため、観光を基軸としたまちづくりに注力する。
- ・他市町村や他県から訪れたい町にする。
- ・地元の穴場スポットを発掘し、PR する。
- ・大多喜町の自然や文化、観光資源を積極的に発信する。
- ・「温泉しかない町」ではなく、多面的な魅力を発信する。
- ・城下町の統一感を高め、タイムスリップ体験を提供する。
- ・ジブリ風のまちづくりを目指す。
- ・いすみ鉄道を活用した観光を促進する。

■産業・商業

- ・娯楽施設(カラオケ、ゲームセンター、映画館、テーマパークなど)を増やす。
- ・商業施設(スーパー、レストラン、カフェなど)を増やす。
- ・子どもが快適に過ごせる遊び場を増やす。
- ・フリーWi-Fi スポットを増設する。
- ・若い人が住みたいような娯楽施設や働く場所を整備する。
- ・空き地や施設を活用して企業の誘致や働ける場所の創出をする。
- ・商業エリアの発展を図り、地元経済を活性化する。
- ・町を「生活エリア」と「観光エリア」に分け、明確な差別化を図る。

■交通

- ・通勤・観光に適した移動手段を整備し、交通利便性を向上させる。
- ・東京直通や隣接市町村へのアクセス向上のための交通網を整備する。
- ・いすみ鉄道を活用し、地域活性化に貢献する。
- ・小湊バスや日東交通と連携し、東京・大多喜間の路線を活用する。
- ・交通網の充実により、生活エリアと観光エリアの双方を発展させる。

■自然環境

- ・緑を増やし、自然豊かで環境が整った町を目指す。
- ・自然豊かで交通の便がよい、暮らしやすい町を実現する。
- ・自然に触れ合える施設や場所を整備し、住民や観光客が楽しめる町にする。
- ・自然環境の保護・保全を重視し、持続可能なまちづくりを推進する。
- ・ゴミの野焼きを防止し、道にゴミがない清潔な町を維持する。
- ・環境に配慮した ECO な町を目指す。
- ・環境に優しい都市化を進め、自然を守りながら町の発展を図る。

■医療

- ・小児科、内科、整形外科など多様な診療科目を整備し、医療体制を充実させる。
- ・医療や福祉面でのサポートを強化し、住民の生活の質を向上させる。
- ・医療機関への移動をスムーズにする交通インフラを構築する。
- ・交通や医療の充実と連携して、定住環境を整備する。

■子育て支援

- ・子育て世代への経済的支援(お金の支給など)を行う。
- ・子どもたちが安全に遊べる公園や遊び場、屋内施設を整備する。
- ・子育て世代が住みやすい環境を整え、定住を促進する。
- ・子育て支援を通じて、町全体の魅力を向上し、人口増加を目指す。

■学校・教育

- ・学校との共同計画を策定し、地域との連携を強化する。
- ・新しい学校の誘致を行い、若い世代を増やす。
- ・既存の学校設備を改善し、快適で魅力的な教育環境を整備する。
- ・学費の補助を行い、教育にかかる経済的負担を軽減する。
- ・子どもたちが通いやすい学校づくりを目指す。

■文化・芸術・スポーツ

- ・歴史が感じられるまちづくりを推進する。
- ・歴史的な魅力を広く発信する。
- ・若者が集まるようなスポーツがしやすい環境を整備する。
- ・スポーツを通じて地域の魅力を発信し、若い世代を増やす。

■高齢者・障がい者支援

- ・高齢者の免許返納後の交通手段を増やし、交通費補助制度をつくる。
- ・高齢者や障がいのある人が暮らしやすいまちづくり(周囲の理解や生活環境)。

■活性化・イベント開催

- ・若者から高齢者まで楽しめるイベントを企画・実施する。
- ・お祭りや特別なイベントの開催を増やし、地域を活性化する。
- ・廃校を有効活用し、さまざまな行事や催しを開催する。
- ・平日も人が集まり賑わうようなまちづくりを目指す。
- ・行事を通じて町民が長く住み続けたいと思える環境を整備する。

■安全安心

- ・高齢者や小さい子どもも安心して住めるように、道や施設を改善する。
- ・防災、ポイ捨てを減らす。
- ・みんなが不安なく安心して暮らせるまちづくり。

■楽しい・幸せ

- ・みんながニコニコして楽しめる町を目指す。
- ・町の人々が笑顔で過ごし、家族にも優しい町をつくる。
- ・町全体を楽しさと活気で溢れさせる。
- ・地域の人々が協力し、共に助け合いながら過ごす社会づくり。
- ・町内外の人々が協力し、助け合いながら幸せに過ごせる環境を整備する。

■その他

- ・町民が主体になるまちづくり。アンケートを活用し、町民の多くの意見を取り入れる。
- ・みんなが住んでみたいと思うまちづくり。
- ・動物にも人にも優しい人が増える働きをしたい。
- ・発展した町をつくりたい。
- ・平和にあまり欲を出さない。

第3章 参考資料

一般町民

●●●●● 大多喜町まちづくりアンケート ●●●●●

皆さまの声をお聞かせください

町民の皆さまには、日頃から町政へのご理解、ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

現在、町では、令和8年度からスタートする「大多喜町第4次総合計画」「大多喜町人口ビジョン・第3期総合戦略」の策定を進めています。

策定にあたり、町民の皆さまのご意見やご要望をうかがい、今後のまちづくりに役立てることを目的に、アンケート調査を実施することとしました。

このアンケート票は、町内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に抽出した1,800人の方にお送りしています。調査は無記名で行い、結果は統計的に処理されます。個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることはありません。

皆さまの声をお聞かせください。ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年9月 大多喜町長 平林 昇

ご記入にあたってのお願い

- あて名に書かれたご本人がお答えください。(代筆可)
- 氏名は記入しないでください。
- お答えは、各設問の指示にしたがって記入してください。
- ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、10月9日(水)までに投函してください(切手は不要です)。

【この調査はスマートフォンやパソコン等からも回答できます】

右の二次元コードまたは下記のURLから専用のページにアクセスしてください。WEBで回答した場合、調査票の返信は不要です。
https://questant.jp/q/otakitown_soukei



【お問い合わせ先】

大多喜町役場 企画課 企画政策係
〒298-0292 大多喜町大多喜 93 番地
TEL:0470-82-2112 FAX:0470-82-4461
E-mail:kikaku@town.otaki.lg.jp

※本調査は、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所が大多喜町から委託を受け、実施するものです。

大多喜町の現状について

【問1】あなたは、大多喜町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。次の中から 1つに○印をつけてください。

1. とても愛着を感じている
2. どちらかという愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない

【問2】あなたは、これからも大多喜町に住み続けたいと思いますか。次の中から 1つに○印をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. これからもずっと住み続けたい 2. どちらかといえば住み続けたい | <ol style="list-style-type: none"> 3. どちらかといえば住み続けたくない 4. 住み続けたくない |
|--|--|

★付問2-1をご回答ください

★付問2-2をご回答ください

【付問2-1】住み続けたい理由は何ですか。次の中から 2つまで○印をつけてください。

1. 自然が豊かで環境が良いから
2. 日常の買物が便利だから
3. 道路事情や交通の便が良いから
4. 近所づきあいが良好だから
5. 子育てに対する支援（施設含む）が充実しているから
6. 子どもの教育環境が良いから
7. 近隣に適当な雇用の場が多いから
8. 保健・医療分野のサービスや施設が整っているから
9. 福祉分野のサービスや施設が整っているから
10. スポーツ・レジャー施設や文化施設が整っているから
11. 上下水道などの生活環境施設が整っているから
12. 住宅・宅地が確保しやすいから
13. その他

()

【付問2-2】住み続けたくない理由は何ですか。次の中から 2つまで○印をつけてください。

1. 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから
2. 日常の買物が不便だから
3. 道路事情や交通の便が悪いから
4. 地域の行事や近所づきあいが面倒だから
5. 子育てに対する支援（施設含む）が不十分だから
6. 子どもの教育環境が不十分だから
7. 近隣に適当な雇用の場が少ないから
8. 保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから
9. 福祉分野のサービスや施設が不十分だから
10. スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから
11. 上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから
12. 住宅・宅地が確保しにくいから
13. その他

()

【問3】あなたは、次の1～35の各項目について、現状に対する「満足度」と、これからまちづくりを進めていく上での「重要度」をどのように考えますか。それぞれ1つに○印をつけてください。

※以下のすべての項目について、「満足度」・「重要度」とも、それぞれ1～4の中から1つずつ選んで○印をつけてください。		満 足 度				重 要 度			
		満足	やや満足	やや不満	不満	(優先すべき) 重要である	やや重要 ではない	(縮小すべき) 重要ではない	
《回答例》○○の整備		1	②	3	4	1	2	③	4
1	道路の整備(舗装、拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等)	1	2	3	4	1	2	3	4
2	交通の便の充実(鉄道、バス路線の充実等)	1	2	3	4	1	2	3	4
3	安全施設の整備充実(交通安全施設や消防・防災体制の充実)	1	2	3	4	1	2	3	4
4	水道施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
5	下水道・排水処理施設の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
6	ごみ処理体制やリサイクル体制の強化及び施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
7	住民のいこいの場の整備充実(公園、遊歩道等)	1	2	3	4	1	2	3	4
8	自然保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
9	保健・医療体制や施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
10	高齢者や障がい者等の福祉施策や施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
11	子育て支援施策や児童のための施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
12	生涯学習、芸術・文化振興施策や施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
13	スポーツ振興施策や施設の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
14	小・中学校における教育内容の充実や施設の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
15	青少年の健全育成施策の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
16	女性の社会参画の促進と男女共同参画社会づくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
17	若者の定住化促進のための住宅施策	1	2	3	4	1	2	3	4
18	結婚問題対策	1	2	3	4	1	2	3	4

問3の続き

※以下のすべての項目について、「満足度」・「重要度」とも、それぞれ1～4の中から1つずつ選んで○印をつけてください。		満足度				重要度			
		満足	やや満足	やや不満	不満	(優先すべき) 重要である	やや重要	あまり重要ではない	(縮小すべき) 重要ではない
《回答例》〇〇の整備		1	②	3	4	1	2	③	4
19	移住者の受入れ施策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
20	空家や空農地を活用した移住促進施策	1	2	3	4	1	2	3	4
21	農業の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
22	林業の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
23	工業の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
24	商業の振興	1	2	3	4	1	2	3	4
25	観光・レクリエーションの開発・振興	1	2	3	4	1	2	3	4
26	国際交流や地域間交流の促進・充実	1	2	3	4	1	2	3	4
27	地域情報化の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
28	中心市街地の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
29	色彩・デザインなどを考えた景観づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
30	周辺市町村と連携した広域的事業の一層の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
31	地区コミュニティ施設(集会所、広場等)の充実や地域活動の促進	1	2	3	4	1	2	3	4
32	広報・広聴の充実や町民参加行政の一層の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
33	有害鳥獣対策の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
34	一般ごみや産業廃棄物等の不法投棄の監視強化	1	2	3	4	1	2	3	4
35	荒廃を防ぎ水源かんよう機能を保全する山林の整備	1	2	3	4	1	2	3	4

今後のまちづくりの方向について

【問4】あなたは今後のまちづくりにおいて大多喜町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。次の中から2つまで○印をつけてください。

1. 自然や環境の保護・保全を優先する環境保全のまち
2. 農業を中心として発展する農業のまち
3. 企業誘致や地場産業の振興による工業のまち
4. 地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち
5. 人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康福祉のまち
6. 子育て・教育環境が充実したまち
7. 快適で安全な居住環境の整備を優先する快適環境のまち
8. 生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発なまち
9. 歴史的遺産を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち
10. 住民が自発的にまちづくりを行う住民参加のまち
11. その他()

【問5】町民や企業、団体と行政が協働してまちづくりを行う上で必要だと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 町民等と行政の交流や意見交換する機会の充実
2. 企業など事業者との連携の強化
3. まちづくりの中心となる担い手、人材の育成
4. まちづくりや計画づくりに町民等が参加する機会の充実
5. 町民活動のための財源の確保
6. 町民活動に関するサポートの充実
7. 町民等が活動するための拠点施設の整備
8. その他()

【問6】あなたは「SDGs」を知っていますか。次の中から1つに○印をつけてください。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 知らない

SDGs とは？

貧困、食料・エネルギー・資源の不足、気候変動など、多くの不安要素を抱えた将来へむけて、すべての人がこれからもずっと平和で豊かな生活を送れるようにするための目標のことです。17の目標と169のターゲットで構成されています。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されています。

生活環境整備のあり方について

【問7】あなたのまわりの身近な生活環境を改善しようとする場合、特にどのような施設整備が必要だと思いますか。次の中から3つまで○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 地区内道路の拡幅・舗装 | 2. 地区内道路の側溝の整備 |
| 3. 歩道や自転車道の整備 | 4. カーブミラーなどの交通安全施設 |
| 5. 水道施設 | 6. 下水道や排水処理施設 |
| 7. 公園や子どもの遊び場 | 8. 街路灯・防犯灯 |
| 9. 身近な医療施設 | 10. 高齢者憩いの家 |
| 11. 地区の集会施設 | 12. 運動広場 |
| 13. 商店・スーパー | 14. 駐車場 |
| 15. 防火水槽などの防火施設 | 16. ごみ集積場 |
| 17. その他() | |

【問8】あなたは、地域の自然環境や生活環境を美しくするためのまちづくりとして、特に何が必要だと考えますか。次の中から2つまで○印をつけてください。

1. 自然保護運動の支援や自然環境の調査・監視体制の強化
2. 荒廃した森林や農地の再生支援
3. 環境教育や啓発活動の推進による環境保全意識の啓発
4. 地区の清掃活動やごみの減量化・リサイクル活動の支援
5. ごみの不法投棄などの取り締まりの強化
6. 水質改善のための河川の浄化対策の推進や下水道の整備
7. 花いっぱい運動や緑化運動など緑あふれる景観づくりの支援
8. 屋外広告物の規制やデザインの統一など街並み景観づくりの支援
9. 騒音や悪臭等の規制の強化
10. その他()
11. わからない



保健・医療・福祉について

【問 9】あなたは、保健・医療施策について特にどのようなことを望めますか。次の中から 2 つまで ○印をつけてください。

1. 町内医療施設の診療内容や設備の充実
2. 救急・休日・夜間医療の充実
3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実
4. 健康診査やがん検診などの各種検診の充実
5. 予防接種など感染症対策の充実
6. 健康教育や健康相談の機会の充実
7. 家庭における健康に関する知識の普及
8. 保健師などの訪問活動の積極的推進
9. 町ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進
10. その他()

【問 10】福祉施策をさらに充実させるためには、どのような施策が特に重要だと思いますか。次の中から 2 つまで ○印をつけてください。

1. 保育所や学童保育、児童遊園などの施設整備やサービスの充実
2. ひとり親家庭への支援の充実
3. 高齢者の介護予防・介護保険サービスの充実
4. 介護保険サービス以外の町高齢者福祉施策の充実
5. グループホームや通所施設、一時預かりなど障がい者（児）の自立を促進する環境づくり
6. 生活困窮世帯への支援の充実
7. 町民の幅広い福祉ボランティア活動の育成
8. 社会福祉協議会など各種福祉団体の充実強化
9. その他()

【問 11】これからの本格的な高齢化社会に対応していくため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から 2 つまで ○印をつけてください。

1. 高齢者の生きがいや働く場の充実
2. 高齢者でも安心して利用できる道路づくりや施設づくり
3. 高齢者の交通手段の確保
4. 高齢者と若い世代、子どもたちとの交流機会の充実
5. 高齢者のための学習機会やスポーツの場の充実
6. 寝たきり高齢者や認知症高齢者などを支援する保健・福祉サービスや施設の充実
7. 高齢者を地域で見守るような町民の助け合い活動の育成
8. その他()

土地利用について

【問 12】これからの地域開発と自然保護のあり方について、基本的にどのような方向で考えていくべきだと思いますか。次の中から1つに○印をつけてください。

1. 自然環境の保全に十分配慮し、開発は原則的に抑制する
2. 自然環境の保全を基本に、開発は最小限にとどめる
3. 自然環境との調和を図りつつ地域振興のための開発を進める
4. 地域の振興を優先し、積極的に開発を進める
5. その他()

観光振興について

【問 13】人口が減少しても、町の活力を維持していくためには、観光客を増加させることが一つの方法となります。あなたは、町の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで○印をつけてください。

1. 大多喜城などの町の歴史・文化を生かした観光機能の充実
2. 温泉や溪谷美を利用した保養地、景勝地としての観光機能の充実
3. 河川や森林を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実
4. 観光農園など町の農林業と連携した観光機能の充実
5. 祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催
6. その他()
7. 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない

【問 14】あなたは、町の観光振興のために、どのような形で協力できると思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 観光施設や公共施設の美化活動に参加する
2. 道がわからない観光客に対して自発的に道案内をする
3. 観光ガイドや観光客の接待のボランティアに参加する
4. 自分の店や家などを案内標識の設置場所として提供する
5. 自分の店や家などのトイレを観光客に提供する
6. 観光資源になるものを提供・公開する
7. 多少、道路渋滞が増えても容認する
8. 多少、観光拠点や街なかが混雑しても容認する
9. その他()
10. 協力できることはない

【参考】大多喜町の観光入込客数の推移



出典:千葉県観光入込調査報告書

	Aに近い	どちらかと いえば Aに近い	どちらかと いえば Bに近い	Bに近い	
①公共施設（※）の過不足感					
< A > 公共施設は不足している	1	2	3	4	< B > 公共施設は過剰である
②公共施設の維持・統廃合					
< A > 使用料等の負担が増えても、 公共施設は現状のまま維持 していくべきである	1	2	3	4	< B > 使用料等の負担を増やして まで、公共施設を現状のまま 維持していく必要はない （公共施設の統廃合はやむ を得ない）
③行政サービスの維持・縮小					
< A > 使用料等の負担が増えても、 行政サービスは現状のまま 維持していくべきである	1	2	3	4	< B > 使用料等の負担を増やして まで、行政サービスを現状の まま維持していく必要はな い（行政サービスの縮小はや むを得ない）
④受益者負担（※）の増減					
< A > 受益者負担の割合は現状よ りも増やすべきである	1	2	3	4	< B > 受益者負担の割合は現状よ りも減らすべきである

【問 18】あなたは、現在、町政に関する情報をどのような形で入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 広報おたき・議会だより
2. 町のホームページ
3. 町の公式 SNS
4. 回覧板
5. 家族や知人
6. 新聞・地域誌
7. 公共施設に置かれたチラシ類
8. その他()
9. 入手していない

1. 広報おたき・議会だより	2. 町のホームページ
3. 町の公式 SNS	4. 回覧板
5. 新聞・地域誌	6. 公共施設に置かれたチラシ類
7. LINE	8. メール
9. その他()	

【問 20】あなたは、日頃、地域社会に貢献する活動を行っている団体や組織、グループの活動に定期的に参加していますか。次の中で参加しているものがあれば、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- ★問 20 で「10. 定期的に参加しているものはない」と答えた方にうかがいます。

1. 関心がないから
3. 体力的に難しいから
5. 家族の理解や協力が得られないから
7. 活動するきっかけがないから
9. 過去に参加したが、うまくいかなかったから
2. 時間的なゆとりがないから
4. 経済的なゆとりがないから
6. 子どもや病人がいるから
8. 活動に関する情報がないから
10. その他()

1. 清掃・美化活動や自然保護活動
2. 交通安全・防災・防犯に関する活動
3. 子育てや高齢者・障がい者への支援など福祉に関する活動
4. 子ども会や少年スポーツ・チームなどを通じた子どもの育成に関する活動
5. 文化・芸術・スポーツに関する教室やサークルの主催・支援などの活動
6. 歴史・伝統・文化の伝播・継承活動
7. 観光ガイドや観光客との交流など観光振興に関する活動
8. その他（ ）
9. 参加したいとは思わない

防災について

1. 聞いたことがあり、言葉の意味も理解している
2. 聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない
3. 聞いたことがない

自助：自分や家族の身は自ら守る（災害に備え、普段から一人ひとりが準備・用意）
共助：地域や近隣の人が、お互いに協力し助け合い、地域を守る
（自主防災組織、ボランティア、企業による連携など）
公助：行政機関、ライフライン各社をはじめとする公共企業による救助
（国・県・町、警察、消防、自衛隊など）

1. 自助に重点を置いた対応をすべきである
2. 共助に重点を置いた対応をすべきである
3. 公助に重点を置いた対応をすべきである

1. 救助活動
2. 消火活動
3. 身体の不自由な方や高齢者の避難の支援
4. 安否確認作業
5. 備蓄食料等の提供
6. 井戸水の提供
7. 自宅スペースの提供
8. 負傷者の世話等
9. 身体の不自由な方や高齢者の世話等
10. その他（
11. できることはないと思う

【問 24】あなたやご家族は、災害時に備えてどのような対策をとっていますか。次の中からあてはまるものをすべてに○印をつけてください。

1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
2. 食料や飲料水を準備している
3. 消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている
4. 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
5. 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
6. 家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気をつけている
7. 災害時の家族との連絡方法を決めている
8. 災害時の避難場所を確認している
9. 防災訓練に積極的に参加している
10. その他()
11. 特に対策は取っていない

★49 歳以下の方にうかがいます。50 歳以上の方は 14 ページ問 26 へ
結婚・出産・子育てについて

【問 25】あなたの婚姻状況について、次の中から 1 つに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 結婚している（事実婚含む） | ⇒付問 25-1 へ |
| 2. 結婚していないが恋人やパートナーと暮らしている | ⇒付問 25-1 へ |
| 3. 結婚していない（離別・死別等） | ⇒14 ページ問 26 へ |
| 4. 結婚していない（未婚） | ⇒付問 25-3 へ |

★問 25 で「1. 結婚している（事実婚含む）」「2. 結婚していないが恋人やパートナーと暮らしている」と答えた方にうかがいます。

【付問 25-1】実際のお子さんの数（持つ予定を含む）と理想のお子さんの数について、次の中から 1 つに○印をつけてください。

1. 実際のお子さんの数は理想と同じ
2. 実際のお子さんの数は理想より少ない ⇒付問 25-2 へ
3. 実際のお子さんの数は理想より多い
4. 子どもはいない（持つ予定はない）

あなた自身について

【問 27】あなた自身に関する次の①～⑧について、それぞれ該当する番号 1 つ に○印をつけてください。

①性別	1. 男	2. 女	3. その他
②年代	1. 10・20 歳代 4. 50 歳代	2. 30 歳代 5. 60 歳代	3. 40 歳代 6. 70 歳以上
③家族構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子（子は単身） 4. 親と息子夫婦、娘夫婦 5. 三世代同居（夫婦とその親、子） 6. その他（ ）		
④職業	自営	1. 農林水産業 2. 製造業・建設業 3. 卸・小売業 4. 飲食業・宿泊業 5. その他の業種	
	おつとめ	6. 農林水産業 7. 製造業・建設業 8. 卸・小売業 9. 飲食業・宿泊業 10. その他の業種 11. 公務員・団体職員 12. 派遣社員・アルバイト	
	その他	13. 主婦・主夫（パートタイムを含む） 14. 無職 15. 学生	
⑤勤務地・就学地	1. 町内 2. 茂原市・長生郡 3. 勝浦市・いすみ市・御宿町 4. 鴨川市（安房郡市） 5. 市原市・袖ヶ浦市・君津市・木更津市 6. 千葉市 7. その他県内 8. 県外 9. 勤務・就学していない		
⑥居住地区	1. 老川地区 2. 西畑地区 3. 総元地区 4. 大多喜地区 5. 上瀑地区		

【⑥参考】

老川地区	栗又／小沢又／面白／大田代／筒森／小田代／葛藤／会所
西畑地区	伊保田／板谷／市川／中野本村／中野新町／堀切／三条／田代／弓木／平沢／宇筒原／押沼／笛倉／小内／川畑／平塚／湯倉／小苗／紙敷／松尾／庄司／弥喜用／百鉢
総元地区	黒原／三又／久我原／石神／大戸／部田／堀之内／八声／小谷松
大多喜地区	大多喜／柳原／新丁／桜台／久保／猿稻／田丁／紺屋／鍛冶／泉水／西部田／上原／船子／外廻／森宮／栗山
上瀑地区	伊藤／横山／小土呂／峯之越／台／高谷／田代

⑦居住経験	1. 大多喜町に生まれてからずっと住んでいる 2. 大多喜町の出身で、今も大多喜町に住んでいるが、 町外での居住経験がある ⇒⑧へ 【町外の居住地】	
	都道府県	市区町村
⑧町外に居住したきっかけ又は転入のきっかけ	3. 他の市町村から転入してきた ⇒⑧へ 【転入前の居住地】	
	都道府県	市区町村
	1. 転勤・転職・就職 2. 進学 3. 結婚 4. 退職 5. 子どもの学校の都合 6. 住宅の都合 7. 親などの介護 8. その他()	

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
 ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、
 10月9日（水）までに投函してください（切手は不要です）。

／ いっしょに大多喜町の未来を考えてみませんか？ ／

■ 大多喜町住民ワークショップ ■



大多喜町では10年後のまちの未来をえがく、新しい総合計画をつくっています。
 「まちの良さがなんだろう？」「じゃあ課題は？」「どうしたらもっと住みやすいまちになるかな？」
 あなたのアイデアを、他の人と話し合っ
 大多喜町が未来に光り続けるための取り組みを考えてみませんか？

地区	日時	場所
総元地区	10月3日（木）19：00～	総元体育館
大多喜地区	10月5日（土）17：00～	大多喜町役場 大会議室
上瀑地区	10月6日（日）17：00～	上瀑ふれあいセンター 体育館
老川地区	10月8日（火）19：00～	基幹集落センター 会議室・研修室
西畑地区	10月10日（木）19：00～	農村コミュニティセンター 体育館

詳しくはこちら！

<https://www.town.otaki.chiba.jp/soshiki/kikaku/1/1/3/1/2002.html>

二次元コードからも
読み取り可能です⇒



●●●●● 大多喜町まちづくりアンケート ●●●●●

みなさんの声をお聞かせください

現在、町では、令和8年度からスタートする「大多喜町第4次総合計画」「大多喜町人口ビジョン・第3期総合戦略」をつくっています。「総合計画・総合戦略」は、私たちが暮らす大多喜町を将来どのような「まち」にしていくのか、そのためにどのようなことをしていくのかをまとめた重要な計画です。

計画をつくるにあたり、これからの大多喜町を担う若い方のご意見をうかがい、今後のまちづくりに役立てるために、町内にお住まいの中学生・高校生（高校生と同年代の専門学校生・社会人）を対象としたアンケート調査を行うこととしました。

調査は無記名で行い、お答えいただいた内容は他の人にはわからないようになっていますので、率直なご意見をお聞かせください。

ご協力をお願いします。

令和6年9月 大多喜町長 平林 昇

ご記入にあたってのお願い

- あて名に書かれたご本人がお答えください。（代筆可）
- 氏名は記入しないでください。
- お答えは、各設問の指示にしたがって記入してください。
- ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒^{どうふう}に入れ、10月9日(水)までに^{ふうとう}ポストに入れてください（切手は不要です）。

【この調査はスマートフォンやパソコン等からも回答できます】

右の二次元コードまたは下記のURLから専用のページにアクセスしてください。WEBで回答した場合、調査票の返信は不要です。

https://questant.jp/q/otakitown_soukei_u18



【お問い合わせ先】

大多喜町役場 企画課 企画政策係

〒298-0292 大多喜町大多喜 93 番地

TEL:0470-82-2112 FAX:0470-82-4461

E-mail:kikaku@town.otaki.lg.jp

※本調査は、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所が大多喜町から委託を受け、実施するものです。

大多喜町の現状について

【問1】あなたは、大多喜町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。次の中から1つに○印をつけてください。

- 1. とても愛着を感じている
- 2. どちらかというと愛着を感じている
- 3. あまり愛着を感じていない
- 4. 愛着を感じていない

【問2】あなたが社会人として働いているところをイメージできますか。次の中から1つに○印をつけてください。

- 1. できる
- 2. できない
- 3. わからない

【問3】あなたが大多喜町に住みながら働いているところをイメージできますか。次の中から1つに○印をつけてください。

- 1. できる
- 2. できない
- 3. わからない

【問4】あなたは、現在、町に関する情報をどのような形で入手していますか。次の中からあてはまるものをすべてに○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 広報おおたき・議会だより | 2. 町のホームページ |
| 3. 町の公式 SNS | 4. 回覧板 |
| 5. 家族や知人、学校 | 6. 新聞・地域誌 |
| 7. 公共施設 <small>しせつ</small> に置かれたチラシ類 | 8. その他() |
| 9. 入手していない | |

【問5】あなたは、町に関する情報はどのように発信されると接しやすいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 1. 広報おおたき・議会だより | 2. 町のホームページ |
| 3. 町の公式 SNS | 4. 回覧板 |
| 5. 新聞・地域誌 | 6. 公共施設 <small>しせつ</small> に置かれたチラシ類 |
| 7. LINE | 8. メール |
| 9. その他() | |

【問6】あなたは、これからも大多喜町に住み続けたいと思いますか。次の中から 1つに○印をつけてください。

1. これからもずっと住み続けたい	3. どちらかといえば住み続けたくない
2. どちらかといえば住み続けたい	4. 住み続けたくない

★付問6-1をご回答ください

★付問6-2をご回答ください

【付問6-1】住み続けたい理由は何ですか。次の中から <u>2つまで</u> ○印をつけてください。 1. 自然が豊かで環境が良いから 2. 買物が便利だから 3. 交通の便が良いから(鉄道・バス・道路など) 4. 親が住んでいるから 5. 友人が住んでいるから 6. 親の仕事^つを継ぐから 7. 就職したい会社などが近くにあるから 8. 学校などの教育施設^{しせつ}が整っているから 9. 病院などの医療・福祉分野^{いりょう ふくし}の施設やサービスが整っているから 10. スポーツ・レジャー施設や文化施設^{しせつ}が整っているから 11. 上下水道などの生活環境施設^{かんきようしせつ}が整っているから 12. まちの発展が期待できるから 13. その他 ()	【付問6-2】住み続けたくない理由は何ですか。次の中から <u>2つまで</u> ○印をつけてください。 1. 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから 2. 買物が不便だから 3. 交通の便が悪いから(鉄道・バス・道路など) 4. 都会で生活してみたいから 5. ひとり暮らしがしたいから 6. 就職したい会社などが近くにないから 7. 学校などの教育施設^{しせつ}が不十分だから 8. 病院などの医療・福祉分野^{いりょう ふくし}の施設やサービスが不十分だから 9. スポーツ・レジャー施設や文化施設^{しせつ}が不十分だから 10. 上下水道などの生活環境施設^{かんきようしせつ}の整備が遅れているから 11. まちの発展が期待できないから 12. その他 ()
---	--

★付問6-3をご回答ください

★問6で「3. どちらかといえば住み続けたくない」「4. 住み続けたくない」と答えた方にうかがいます。

【付問6-3】あなたは、将来どこに住みたいと考えていますか。次の中から 1つに○印をつけてください。

1. 近くの市町村 2. 千葉県内の東京に近い市町村 3. 東京都や神奈川県^{しずおか}の市区町村 4. その他の市町村 5. 住みたいと考えている場所は特にな	具体的に住みたいと考えている市区町村がありましたら <u>1つだけ</u> 記入してください。
---	---

今後のまちづくりの方向について

【問7】あなたは今後のまちづくりにおいて大多喜町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。次の中から2つまで○印をつけてください。

1. 自然や環境^{かんきよう}の保護・保全を優先する環境保全のまち
2. 農業を中心として発展する農業のまち
3. 企業^{きぎよう}を呼んだり、地域の特色を活かした産業が発展する工業のまち
4. 地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち
5. 人にやさしい保健・医療・福祉^{いりよう ふくし じゅうじつ}の充実した健康福祉^{ふくし}のまち
6. 子育て・教育環境^{かんきよう じゅうじつ}が充実したまち
7. 快適で安全な居住環境^{かんきよう}の整備を優先する快適環境^{かんきよう}のまち
8. 生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発なまち
9. 歴史的遺産を大切に、まちづくりに生かす歴史のまち
10. 住民が自発的にまちづくりを行う住民参加のまち
11. その他()

【問8】あなたは、大多喜町に住む人を増やすためには、町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで○印をつけてください。

1. 買ったり借りたりしやすい住宅や住宅地を整備する
2. 高速バス路線^{かくじゅう}を拡充する
3. 通勤・通学にかかる交通費を補助する
4. 企業^{きぎよう}を呼ぶなど働く場を増やす
5. 農林水産業者や自営業者の後継者^{こうけいしゃ}育成を支援する
6. 子育て環境^{かんきよう じゅうじつ}を充実させる
7. 学校教育等の教育環境^{かんきよう じゅうじつ}を充実させる
8. 医療・福祉^{いりよう ふくし}環境^{かんきよう じゅうじつ}を充実させる
9. 防犯・防災環境^{かんきよう じゅうじつ}を充実させる
10. 商業・レクリエーション施設^{しせつ じゅうじつ}を充実させる
11. 良好な自然環境^{かんきよう}を保全する
12. 大多喜町の魅力^{みりょく}を町の内外にPRする
13. 文化、スポーツ環境^{かんきよう じゅうじつ}を充実させる
14. その他()



1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 知らない

貧困、食料・エネルギー・資源の不足、気候変動など、多くの不安要素^{かか}を抱えた将来へむけて、すべての人がこれからもずっと平和で豊かな生活を送れるようにするための目標のことです。

17 の目標と 169 のターゲットでできており、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」^{さいたく}にあります。

【問 10】あなたは、これまでに付問 11-1（本ページ下部）で示したような地域活動に参加したことはありますか。次の中から 1 つに○印をつけてください。

- 【問 11】あなたは、今後付問 11-1（本ページ下部）で示したような地域活動に参加したいと思いますか。次の中から 1 つに○印をつけてください。

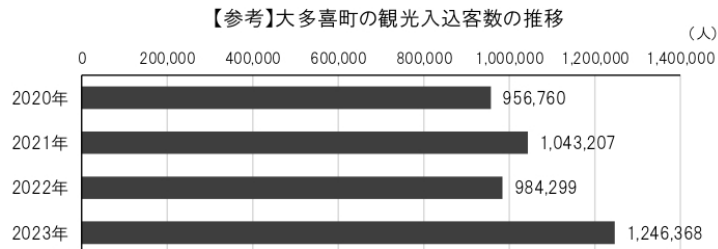
- ★問 11 で「1. 積極的に参加したい」「2. 機会があれば参加したい」と答えた方にうかがいます。

1. 清そう・美化活動や自然保護活動
2. 交通安全・防災・防犯に関する活動
3. 高れい者、障がい者への支援など福祉に関する活動
4. 文化・芸術・スポーツ行事や健康づくり事業等への参加・協力活動
5. 祭りや各種イベント等への参加・協力活動
6. 観光スポット等を教える活動
7. 地域の歴史や文化を学び、未来に伝えていく活動
8. その他（ ）

観光について

【問 12】人口が減少しても、町の活力を保つためには、観光客を増加させることが一つの方法となります。あなたは、町の観光を盛り上げるために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで○印をつけてください。

1. 大多喜城などの町の歴史・文化を生かした観光機能の充実
2. 温泉や溪谷美を利用した、景色が良く安らげる場所としての観光機能の充実
3. 河川や森林を利用した、水と緑にふれあえる観光機能の充実
4. 観光農園など町の農林業と連携した観光機能の充実
5. 祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催
6. その他()
7. 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない



出典：千葉県観光入込調査報告書

自由意見

【問 13】「わたしが町長になったら」どんなまちづくりを行いたいのか、ご自由にお書きください。

【問 14】大多喜町のまちづくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

あなた自身について

【問 15】あなた自身に関する次の①～⑤について、それぞれあてはまる番号 1 つに○印をつけてください。

①性別	1. 男	2. 女	3. その他
②年齢(学年) * 年齢は来年の 4月1日時点	1. 13 歳(中学 1 年生) 3. 15 歳(中学 3 年生) 5. 17 歳(高校 2 年生)	2. 14 歳(中学 2 年生) 4. 16 歳(高校 1 年生) 6. 18 歳(高校 3 年生)	
③通学先・ 勤務地	1. 町内 2. 茂原市・長生郡(一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町) 3. 勝浦市・いすみ市・御宿町 4. 市原市・袖ヶ浦市・君津市・木更津市 5. 千葉市 6. その他県内 7. 県外 8. 就学・勤務していない		
④居住地区	1. 老川地区 3. 総元地区 5. 上瀑地区	2. 西畑地区 4. 大多喜地区	
⑤居住経験	1. 大多喜町に生まれてからずっと住んでいる 2. 大多喜町の出身で、今も大多喜町に住んでいるが、過去に町外に住んでいたことがある 【町外の居住地】 都 道 府 県 市 区 町 村 3. 他の市町村から転入してきた 【転入前に住んでいた場所】 都 道 府 県 市 区 町 村		

【④参考】

老川地区	栗又／小沢又／面白／大田代／筒森／小田代／葛藤／会所
西畑地区	伊保田／板谷／市川／中野本村／中野新町／堀切／三条／田代／弓木／平沢／宇筒原／押沼／笛倉／小内／川畑／平塚／湯倉／小苗／紙敷／松尾／庄司／弥喜用／百鉢
総元地区	黒原／三又／久我原／石神／大戸／部田／堀之内／八声／小谷松
大多喜地区	大多喜／柳原／新丁／桜台／久保／猿稻／田丁／紺屋／鍛冶／泉水／西部田／上原／船子／外廻／森宮／栗山
上瀑地区	伊藤／横山／小土呂／峯之越／台／高谷／田代

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

10月9日（水）までにポストに入れてください（切手は不要です）。

／ いっしょに大多喜町の未来を考えてみませんか？ ／

■ ■ 大多喜町住民ワークショップ ■ ■

大多喜町では10年後のまちの未来をえがく、新しい総合計画をつくっています。

「まちの良さってなんだろう？」「じゃあ課題は？」「どうしたらもっと住みやすいまちになるかな？」

あなたのアイデアを、他の人と話し合って、

大多喜町が未来に光り続けるための取り組みを考えてみませんか？

地区	日時	場所
総元地区	10月3日（木）19：00～	総元体育館
大多喜地区	10月5日（土）17：00～	大多喜町役場 大会議室
上瀑地区	10月6日（日）17：00～	上瀑ふれあいセンター 体育館
老川地区	10月8日（火）19：00～	基幹集落センター 会議室・研修室
西畑地区	10月10日（木）19：00～	農村コミュニティーセンター 体育館

くわ
詳しくはこちら！

<https://www.town.otaki.chiba.jp/soshiki/kikaku/1/1/3/1/2002.html>

二次元コードからも
読み取り可能です⇒



10代のみんなの想いをききたいな！
未来の大多喜町についていっしょに話そう☆
オトモダチとの参加も大かンげだよっ(^^)



大多喜町 住民意識調査
結果報告書

令和 7 年 3 月

発行：大多喜町

編集：大多喜町 企画課

〒298-0292 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 93 番地

TEL：0470-82-2112

FAX：0470-82-4461